

北海道議会時報

平成4年第2回定例会
決算特別委員会(2年度決算)



北海道議会事務局

北海道議会時報第44巻第2号(平成4年第2回定例会)

(表紙写真)

美馬牛小学校 (美瑛町)

昭和59年に建て替えられる際、地域の要望を取り入れ夢のある校舎として現在の形となった。

これと前後して、美瑛町の畑作丘陵風景がヨーロッパを思わせる景観として多くのメディアにより広く紹介され、多くの観光客が訪れ周辺に「民宿」「YH」「ペンション」等の立地もあり、以前は閑静であった美馬牛駅に降り立つ人も増加している。

町、地域としては予想外の反響に驚きと喜びが相半ばといったところであるが、地域の活性化に果たしている役割は大きいものがある。

(美瑛町提供)

—北海道まちづくり100選から—



桜田正明議員逝去

議員桜田正明氏（自民、北見市選出）は、5月22日午後6時40分、急性心不全のため、北見赤十字病院において逝去され、6月6日、北見市民会館において、告別式が執り行われた。

享年58歳。

なお、6月16日第2回定例会本会議において、柏倉勝雄議員（社会、北見市選出）から、追悼演説が行われ、次いで、全員起立のうえ黙禱がささげられた。

追 悼 演 説

私は、ここにこうして桜田正明先生の追悼の言葉を述べるようになるとうとは、よもや思っておりませんでした。余りにも突然で、いまだにあなたの御逝去が信じられない思いであります。

去る5月22日、桜田先生が急逝されたとの知らせを聞き、私は、一瞬耳を疑い、言うべき言葉を知りませんでした。

前日、地元の行事で御一緒し、しばし言葉を交わした際には、ふだんと全く変わらず、いつもどおりの元気そうなお姿を拝見したばかりでした。

そのあなたが入浴中に倒れられ、奥様を初め、御家族の皆様方の願いもむなしく、そのまま帰らぬ人となろうとは、世の無常が余りにも無念であり、まことに痛惜のきわみでございます。

ここに、あなたの面影をしのびながら、北海道議會を代表して謹んで追悼の言葉をささげます。

あなたと私は同一選挙区であり、地元の問題でたびたび相談する機会がありましたが、動きだすのは必ずあなたからでした。ズボンのポケットに片手を差し込み、「柏倉さん、ちょっと」と言っておの部屋からでてきたあの姿が、つい先日のように思い出されます。

そして、今もこの本会議場で元気な桜田先生のお姿を思い浮かべるとともに、頼もしい同僚議員を失った無念さと悲しみをかみしめずにはおられません。

あなたは、昭和9年、常呂郡野付牛町にお生まれになり、昭和31年、北海道大学農学部を卒業後、北見市役所に奉職をされましたが、議員としての活躍を見るまでもなく、あなたは、その能力を遺憾なく発揮され、45歳という若さで北見市役所の企画部長となり、その後、商工部長、農務部長を歴任することとなりました。

そして、そのすぐれた手腕と常にみずから行動するその実行力が地域住民の心を動かすところとなり、昭和62年4月、北見市民の衆望を担って北海道議會に見事議席を得られ、自來、連続2期5年にわたり、高邁な政治理念とすぐれた政治手腕をもって道政の発展に尽くされてまいりました。

その間、あなたは豊かな行政経験と卓越した識見をもって道政に参画され、その御活躍は枚挙にいとまがありません。

道議会にあっては、文教委員を初め、石炭対策特別委員、エネルギー問題調査特別委員、予算及び企業会計決算特別委員、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員として活躍されたほか、自民党内にあっては、政策審議委員長の要職を歴任されるなど、道政の発展に大きく貢献されたのであります。

特に、昭和62年の第2回定例道議会予算特別委員会においてローカル線の存続に関する問題を取り上げ、知事の政治的解決へ向けての努力を導き、地元北見一池田間を「ふるさと銀河線」として存続させることができたのは、ひとえにあなたの努力のたまものであります。

また、農業政策を初め、道税条例の改正問題、国立大学獣医学科の再編整備などの教育問題、行財政改革問題などについて、本会議あるいは委員会における質疑を通じて常に道政に問題を提起し、その解決に尽力されてまいりました。

そして、あなたの最後の仕事となった地元工業高校や北見高等技術専門学院の全面改築、さらには食品加工技術センターの設置、そして北見日赤病院の救命救急センターの指定の実現など、その功績は末長く地域の皆さんの記憶にとどまるものと思います。

また、あなたが特段の勉強家でありましたことは広く人の知るところであり、あなたの本会議や委員会における政策論議は、常に透徹、理路整然として核心をつき、理事者側の積極的な取り組みを促したことがしばしばであり、時には理事者を立ち往生させたこともありました。

しかし一方、あなたは、広く人を入れる雅量に富み、相手の立場にも深い理解を示された方でありました。

いつのことでしたか、あなたと道政にかかわって論議したことがありますが、その際、「与党は言いたいことも言えず大変だろうけど、野党は言いたくないことも時には言わなければならない、お互いに立場はつらいね」とおっしゃっていたことがありました。

私は、そうしたあなたの姿勢を知るにつけ、いつも深い感銘を受け、与野党の立場を超えて友情と畏敬の念を抱き続けてまいりました。

また、あなたは、政治活動を支え献身的に尽くされていた奥様への愛情や、社会人として成長されることを楽しみにしておられた二人のお子様への慈しみや、家庭にあってはよく夫であり父親であることの姿もかいま見せていただきました。そうしたあなたの懐かしい面影は、いつまでも敬愛の念とともに私の思い出の中に生き続けることと思います。

今日、社会経済情勢の著しい変動の中で、本道は道政の各般にわたり多くの課題を抱えており、その解決には、あなたのすぐれた識見とその活躍に多大な期待が寄せられていたのであります。

この重要なときにあなたを失ったことは、道議会にとっては申すに及ばず、北海道にとってまことにかけがえのない損失であると申さなければなりません。

私も、道政発展のために貢献された先生のとうとい信念を継承し、改めて21世紀にふさわしい北海道づくりに邁進する決意を固め、ここにお誓い申し上げるものであります。

奥様を初め、御家族の皆様の前途に限りない御加護を賜りますようお願いし、今はただただ、こよなく愛されたふるさと北見の発展を願い、さらには、網走地域の振興と北海道の発展のためにいちずに情熱を傾けられました桜田先生の御功績を重ねてたたえますとともに、謹んで哀悼の意を表し、ひたすら御冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

平成4年6月16日

北海道議会議員 柏 倉 勝 雄

…… も く じ ……

第2回定例会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	16
意 見 案	19
請 願・陳 情	23

委員会 の 動 き

議会運営委員会	26
常 任 委 員 会	30
特 別 委 員 会	38
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
過疎地域振興対策特別委員会	
道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会	
予算特別委員会	
決算特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	75
10都道府県議会議長会	75

資 料

第16回参議院議員通常選挙結果	77
-----------------	----

4・5・6・7月のメモ

議 会 日 誌

▶ 4 月

- 7 日（火） 各常任委員会
 8 日（水） 総合開発 調査特別、石炭 対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会
 17 日（金） 決算特別委員会
 21 日（火） }
 22 日（水） } 決算特別委員会
 23 日（木） }
 24 日（金） }

▶ 5 月

- 12 日（火） 議会運営、常任各委員会
 13 日（水） 総合開発 調査特別、石炭 対策特別、北方領土対策特別、交通安全対策特別、過疎地域振興対策特別各委員会
 14 日（木） }
 15 日（金） } 決算特別委員会
 19 日（火） 決算特別委員会

▶ 6 月

- 2 日（火） 各常任委員会
 3 日（水） 石炭 対策特別、北方領土対策特別、エネルギー問題調査特別、交通安全対策特別、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別各委員会
 8 日（月） 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会
 9 日（火） 議会運営、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別各委員会
 10 日（水） 総合開発調査特別委員会
 15 日（月） 議会運営、各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対策特別各委員会
 16 日（火） （第 2 回定例会開会）
 議会運営委員会

本会議（追悼演説、会期決定＜18 日間＞、提案説明、前会より継続審査の平成 2 年度各会計 歳入歳出決算認定、意見案 1 件可決及び 1 件否決）

19 日（金） 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会

22 日（月） 議会運営委員会

本会議（代表質問＜1 人＞）

23 日（火） 議会運営委員会

本会議（代表質問＜1 人＞）

24 日（水） 議会運営委員会

本会議（日程延期）

25 日（木） 議会運営委員会

本会議（代表質問）

26 日（金） 議会運営委員会

本会議（代表質問＜2 人＞、追加提案説明）

29 日（月） 議会運営委員会

本会議（一般質問＜7 人＞）

30 日（火） 議会運営、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別各委員会

本会議（一般質問＜4 人＞、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員長報告、同委員会調査終了議決、予算・企業会計決算特別両委員会設置及び各委員選任）

予算・企業会計決算特別各委員会（正副委員長の互選、予算第 1・第 2 各分科会設置）

予算第 1・第 2 各分科会（正副委員長の互選）

▶ 7 月

2 日（木） 予算第 1・第 2 各分科会（各部所管審査）

3 日（金） 議会運営委員会

予算第 1・第 2 各分科会（各部所管審査）

予算特別・各常任、総合開発調査特別、石炭対策特別、北方領土対

策特別、過疎地域振興対策特別各
委員会

本会議（各委員長報告、補正予算等可
決、追加提案説明、公安委員会委員・
方面公安委員会委員、収用委員会委員、
収用委員会予備委員及び公害審査会委
員選任同意、意見案1件否決及び2件
可決、報告37号ないし41号の閉会中継
続審査の決定、請願・陳情審査）

（第2回定例会閉会）

第2回定例会

道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会、 － 事実解明調査に結論－ 調査終了

概 要

- ① 平成4年度補正予算等を審議する第2回定例会は、6月15日招集され、会期を7月3日までの18日間と決定の後、5億4,800万円余の平成4年度補正予算等25件の案件が提出され、知事から提案説明。

次に、前会より継続審査中の平成2年度各会計歳入歳出決算について、決算特別委員長報告の後、討論、採決の結果、意見を付し認定議決。

次に、共産党提出に係る再生産を保障する生産者米価実現に関する意見案を否決し、農政委員会所属議員の提出に係る稲作経営の安定に関する意見案を原案可決。議案調査のため6月17日から20日まで休会することに決定した。

- ② 6月22日から、代表質問に入り自民党の代表質問に係る千歳川放水路問題、教職員の週休2日制に関する問題等で審議が中断したが、25日に審議再開、26日に一切の代表質問を終え、同日、平成3年度病院事業会計決算ほか4事業会計決算が追加提案され、知事から提案説明。

29日から30日にかけて一般質問を行い、30日に延べ11人の質問を終了し、議事を一旦中止し、前会から継続調査中の道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する調査の件を上程し、委員長報告の後、共産党から、本件調査の終了に関する反対討論があり、採決の結果、本報告書をもって調査終了とすることに決定、次いで、知事から、特に、道営競馬札幌場外発売所開設問題に関する発言を行った。

次に、予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会を設置し、各委員会付託議案審査のため、7月1日から2日まで本会議を休会した。

- ③ 予算特別委員会は、6月30日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、7月2日から平成4年度補正予算等に対する各部所管の審査に入り、3日に質疑を終結。同日、各分科委員長報告の後、付託案件を採決により、可決した。

- ④ 本会議最終日の7月3日は、道営競馬札幌場外発売所開設問題に関し、知事の給料の減額に係る条例改正案が提出され、提案説明の後、本件を直ちに総務委員会に付託し、本会議は一旦休憩。

再開後の本会議は、付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決を行い、議案は原案可決、報告は承認議決した。

次に、公安委員会委員ほか2件の人事案件が追加提案され、知事から提案説明の後、いずれも同意議決（公安委員のみ起立採決）。

次に、国連平和維持活動への自衛隊派遣に反対する意見案を否決、精神障害者の社会復帰・福祉施策の充実に係る意見案を可決の後、平成3年度病院事業会計決算ほか4事業会計決算、請願・

陳情及び所管事務調査の件をそれぞれ継続審査又は調査に付することに決定して、開会以来18日目の7月3日夜閉会した。

⑤ 提出案件の議決状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況							
		原案可決	承認議決	意見を付し 認定議決	同意議決	報告のみ	継続審査	否 決	計
知 事	60	16	10	(1)	3	26	5	—	60 (1)
議 員	5	3	—	—	—	—	—	2	5
計	65	19	10	(1)	3	26	5	2	65 (1)

注 () 内は、継続審査に係る議決件数を示し外数である。

本 会 議

○6月16日（火） 午前10時開議、若狭 靖議長、平成4年第2回定例会の開会を宣し、直ちに会議を開き、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

議長から、桜田正明議員（自民）の逝去（5月22日）について弔意を表した旨報告の後、柏倉勝雄議員（社会）から追悼演説が行われ、次いで、全員起立し、黙禱をささげた後、議事進行の都合により、午前10時16分休憩、午前11時10分再開、

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月3日までの18日間と決定。次に、

日程第3 議案第1号ないし第15号及び報告第1号ないし第10号を議題とし、知事から提案説明。

日程第4 前会より継続審査の報告第1号を議題とし、決算特別委員長から、委員会における審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から反対討論があって、討論終結。直ちに採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり意見を付し認定議決。次に、

日程第5 意見案第1号及び第2号を議題とし、意見案第2号は提出者の説明を省略し、意見案第2号について、大橋 晃議員（共産）から提案説明の後、まず、意見案第2号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもってこれを否決、次に、意見案第1号については、異議なく原案可決。次に、議案調査のため、6月17日から6月20日まで休会することに決定して、午前11時35分散会。

決算特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました平成3年第4回定例会から継続審査中の報告第1号平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件につきまし

て、その審査の経過と結果について御報告を申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、昨年12月19日設置され、21日には、本件に関するその後の審査方法を決定するとともに、理事者から決算概要について、監査委員から決算審査意見について、それぞれ説明を聴取し、その後、決算内容の審査に入った次第であります。

この間、審査の必要上、20項目の資料要求を行い、理事者から資料の提出を受け、本年4月17日、総体質疑を行った後、4月21日から各部所管の審査を行い、5月19日をもって一切の質疑を終結した次第であります。

以下、総体質疑において論議の対象となりました主な事項を申し上げますと、

公約の達成状況と戦プロ推進費の執行に伴う行政効果に対する認識。

食の祭典の債務処理に当たっての経費節減と今後の財源見通し。

不用額に対する見解と圧縮への取り組み状況。

道税の収入未済額の多額な理由と解消に対する取り組み状況。

申告納税制度及び納税者権利に対する見解。

道営住宅使用料の滞納整理についての所見及び徴収体制の検討状況。

冬期増高経費措置事業に関し、道内労働者の現状に対する認識、経済・雇用効果の状況、冬期工事の拡大に対する見解、試験研究体制整備に対する見解など。

道立社会福祉施設の定員割れの理由と職員配置の適正化に対する見解。

平成2年度決算についての評価と見解。

八幡元道顧問の札幌地裁での証言の確認の有無及び見解。

JRの不採用等に関し、地方労働委員会の救済命令の内容と履行義務についての法的見解及びJRに対する道の指導状況。

幌延町浜里地区における砂利採取等の状況と一般廃棄物の処理計画。

リゾート開発に関し、開発に対する道の責任、リゾート指針についての見解と指導状況、ゴルフ場の開発行為許可状況、トマム開発における村有地不法占拠の実態と指導状況。

ゴルフ場開発をアセスメント条例の対象とすることに對する見解。

国立・国定公園内でのゴルフ場開発規制に對する考え方。

ウラウス・リゾートに関し、保安林解除の状況、開発の妥当性、道有林貸付契約違反に對する見解、道に對する政治家及び全日販からの働きかけの有無。

石狩川地区民有林直轄治山事業予定地域の除外の理由と民有林直轄治山事業の全国の状況。

新千歳空港ビルの利用方法。

漁船漁業の経営実態と負債の原因、固定化負債対策推進の考え、漁業制度資金活用に向けての関係機関への指導強化に對する見解。

佐川急便事件に對する認識及び道路交通法上の捜査状況。

民間委託事業での労働者賃金に對する委託会社への指導と業務委託事務取扱要綱の改正についての見解。

地方交付税に関し、地方財政余裕論についての認識、教育・医療・福祉の決算と基準財政需要額との比較実態、衛生費の基準財政需要額の算定と改善、地方交付税制度に對する見解。

警察行政費、教育施設、福祉施設等の超過負担の理由と認識及び国への改善要望に對する見解。

など、決算にかかわる基本的な問題について活発な論議が交わされた次第であります。

なお、各部所管ごとの質疑を通じ論議の対象となりました主な事項につきましては、別紙お手元に配付の審査概要により御承知願います。

質疑終結後、各派代表者間におきまして意見の調整を図りましたが、意見の一致を見るに至らず、5月19日の委員会におきまして、採決の結果、賛成者多数をもって、次に申し上げる意見、すなわち、

1. 道税、道営住宅使用料等の収入未済額については、滞納の実態に応じて適切な措置を講ずるとともに、徴収体制を整備充実し、その解消に一層努力すべきである。
2. 予算編成時において的確な見積もりを行うことはもとより、執行過程において不用額が生ずる場合にあっては適時補正に努め、財源の有効活用に一層配慮すべきである。

3. 道立社会福祉施設の利用については、その実態を十分把握し、効率的な施設運営とマンパワーの有効活用に努めるべきである。

4. 職員の交通事故防止については、さらに指導を強化するとともに、交通安全意識の徹底を図り、事故防止に万全を期すべきである。

以上の意見を付し、報告第1号平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件は、これを認定すべきものと決定いたしました次第であります。

この間、委員各位におかれましては、終始、慎重かつ御熱心に審議を尽くされたところであり、その御労苦に對し、衷心より敬意を表する次第であります。

以上をもって、私の報告を終わります。

○6月22日(月) 午後2時6分開議、諸般の報告の後、

議長から、元議員作田政次氏の逝去(6月15日)について、弔意を表した旨、報告の後、

日程第1 請願第56号を議題とし、異議なく総合開発調査特別委員会へ付託することに決定。

日程第2 議案第1号ないし第15号及び報告第1号ないし第10号を議題とし、代表質問に入り、



經谷 忠議員(社会)から、

1 千歳川放水路問題について

・知事意見に對する開発局の受け止め

・放水路事業に對する知

事の協力の内容

・美々川流域の自然環境の保全対策

2 北海道新幹線について

・新幹線建設促進期成会の検討結果の受け止め

・期成会の検討結果とこれまでの運動との関連及び今後の道の取り組み

3 北海道開発予算について

・景気対策を中心とする開発予算に對する国への働きかけ

・超過負担の解消に對する取組み、廃棄物処理施設整備の国庫補助金増額要求について

の対処策

4 地方拠点都市構想について

- ・地域指定に当たっての知事の基本的考え方
- ・国に対する取り組み
- ・地域指定に向けた道としての取り組み方

5 北方領土問題について

- ・北方四島とのビザなし交流の効果
- ・北方四島との交流事業における財源措置
- ・北方四島からの受入れ事業の内容

6 ハイメックス構想について

- ・ハイメックス構想推進に当たっての理念
- ・ハイメックス協議会からの要請に対する検討の進め方

7 脱スパイクタイヤ問題について

- ・追加指定時期の明示
- ・道路環境の整備対策

8 農業問題について

- ・新農業政策の内容の評価とポスト後期対策に向けた取り組み
- ・農村の活性化に関連した農業経営の多角化の推進方策

9 漁港の整備について

- ・第8次漁港整備長期計画における漁港整備
- ・次期漁港整備計画の策定に向けた考え方
- ・今後の漁港整備の推進方策

10 学校5日制について

- ・学校5日制の導入に伴う指導内容
- ・学校解放事業の推進
- ・推進会議の今後の推進方策

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、午後3時15分延会。

○6月23日（火） 午前10時26分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号及び報告第1号ないし第10号を議題とし、代表質問を継続、



永井 利幸議員（自民）

から、

1 千歳川放水路計画の推進について

- ・開発局が示した方式に対する見解
- ・湧水の保全に関する意

見についての認識

・「必要な協力」の姿勢の明確化

・遊水地の設置等の検討

2 新千歳空港の24時間運用について

・24時間運用問題の進捗状況

3 ハイメックス構想について

- ・ハイメックス構想の実現の認識
- ・医療産業研究都市づくり構想との関連についての見解
- ・共同利用型研究施設構想の明示
- ・医療産業研究都市づくり構想の明確化

4 スハイクタイヤ規制地域指定の拡大について

- ・冬期交通における事故防止対策の具体策
- ・道路整備計画への対応と展望
- ・指定要件に達しない町村幹線道路等の対策
- ・指定先延ばしを要望していた市町を指定することになった理由

5 平成5年度開発予算への取り組みについて

- ・開発予算のシェア落込みに対する認識
- ・新長期総合計画に示されている事業の要望
- ・公共事業特別枠などへの取り組み

6 国の新農政プランについて

- ・地域農業のガイドポストとの整合性に対する見解
- ・本道の実態を踏まえた施策の実現に向けての考え方

7 公共事業用地の確保について

- ・公共事業用地の取得に対する認識
- ・公共事業用地確保の実態の明確化と見通し
- ・民間能力の活用に対する成果
- ・用地の先行取得への取り組み

8 道立寒地住宅都市研究所改築問題について

- ・研究所の研究機能の充実強化の具体策
- ・研究所の改築問題の検討状況

9 農協合併の促進について

- ・農協合併の推進状況と展望
- ・農協合併の今後の対応と認識

10 日本海地域漁業振興対策について

- ・日本海地域の漁業振興の成果と認識
- ・「磯焼け」の現状と今後の取り組み
- ・日本海地域の漁業協同組合対策についての考え方と具体策

11 国旗・国歌の取扱いについて

- ・国旗の掲揚率・国歌の斉唱率の改善の状況

- ・実施率の低い地域の指導についての具体策
- ・指導主事の学校訪問による指導の徹底
- ・適切な実施の明確な認識
- ・教職員の共通理解の内容
- ・北教組と道教委の「確認」の状況と「確認」を破棄することに対する見解
- ・国旗持ち去り事件の処分の見通し

12 学校職員の週休2日制について

- ・週休2日制の条例改正案の意義の認識
- ・文部省通知に基づく措置についての認識
- ・4分の1土曜計画年休行使闘争の実態把握の明確化

13 暴対法施行後の暴力団対策について

- ・道内暴力団の動きに対する認識
- ・広域暴力団の法指定と本道における二次的団体の関連
- ・法施行後の銃砲類の摘発、取締りの状況
- ・「法による指定」逃がれへの対応と見解
- ・民事介入暴力への対応策

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁、同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後零時15分休憩、午後4時21分再開。本日の会議は議事進行の都合によりこの程度にとどめ、延会することに決定し、午後4時22分延会。

○6月24日（水） 午後4時22分開議、諸般の報告の後、本日の会議は、議事進行の都合により日程を延期し、延会することに決定し、午後4時23分延会。

○6月25日（木） 午後2時23分開議、諸般の報告の後、6月23日の永井利幸議員（自民）の再質問に対し、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁、教育長から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後3時休憩、午後4時19分再開、本日の会議は議事進行の都合により延会することに決定し、午後4時20分延会。

○6月26日（金） 午後3時12分開議、諸般の報告の後、6月25日の永井利幸議員（自民）の再々質問に対し、教育長から答弁。同議員から発言。



風早 俊男議員（民政）

から、

1 自然環境の保全と開発問題等について

- ・自然の再生についての基本的考え方
- ・国の環境政策重視の姿勢

勢についての考え方

- ・治水対策についての所見
- ・土地利用計画の市町村における策定状況
- ・国土利用計画法の適切な運用に向けた道の指導
- ・道自然環境等保全条例に対する基本姿勢及び条例改正の考え方
- ・同条例の今後の適切な運用
- ・野生動物保存法の道における指定対象動物及び道として同法施行に向けての対処方針

2 自然環境の保全と千歳川放水路との関連について

- ・美々川源流部の現地調査の印象
- ・道の調査結果を踏まえた自然の保全についての認識
- ・自然環境保全地域の指定
- ・美々川流域保全の「自然の再生」の観点からの積極的施策
- ・環境白書との関わり
- ・開発局に対する要請書の取りまとめに当たっての配慮
- ・要請書に対する開発局の受け止め
- ・アセスメントに係る建設省要綱の考え方
- ・アセスメントについての開発局との協議及び道としての対処方針
- ・道の今後の取組みについての知事の決意

3 空港問題について

- ・新千歳空港の24時間運用と道総合開発計画との関連及び国に対する取組状況
- ・24時間運用問題についての現状の運輸省に対する説明状況
- ・丘珠空港のあり方についての考え

4 ワールドカップサッカー大会の招致について

- ・大会を開催するに当たっての「政府の保証」の現状

- ・招致についての知事の所見
- 5 教育問題について
 - ・自然環境の保全にかかわる教育の推進状況
 - ・40人学級の実現の所要期間の見込み
 - ・40人学級の実現に伴う札幌圏における高等学校新設の検討についての所見
- 6 公安問題について
 - ・道央自動車道における玉突き衝突事故の全容解明作業の進展状況
 - ・再発防止のための安全対策
 - ・警報の適切な発令や事前予知方法の研究等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から発言。



伊藤 武一議員（公明）

から、

- 1 対ロシア交流について
 - ・対ロシア交流の展望
 - ・サハリン州における対話集会の受止めと今後の取り組み
- 2 千歳川放水路計画について
 - ・千歳川放水路計画に係る知事要請書と自然環境への影響に向けた対策との関連
 - ・要請書において具体的に期待する内容
 - ・今後の地域住民及び関係者の合意形成に向けての取り組み
- 3 ハイメックス構想について
 - ・構想変更の背景についての認識
 - ・実現に向けての見通しとスケジュール
 - ・国立代用臓器開発研究センターの誘致見通し
- 4 経済の活性化について
 - ・本道における景気見通しと景気テコ入れ策
 - ・道の推進計画と国の新経済計画との整合性
 - ・地方拠点都市整備法の成立を受けての道としての今後の取り組み及び地域指定についての所見
 - ・特定中小企業集積の活性化に関する臨時措置法の制定に係る中小企業の育成・振興についての展望
 - ・同法の立法趣旨及び施策の内容等についての認識
 - ・同法の適用を受けるための「集積」に係る地域指定に向けての取り組み
- 5 農業問題について
 - ・本道農業が置かれている情勢の認識及び新農政プランを受けての今後の取り組み
 - ・近年における野菜の生産動向及び今後の道産野菜の生産振興方策
 - ・道立農業試験場における野菜の生産拡大に向けた技術開発、普及体制の整備についての所見
- 6 水産問題について
 - ・サケ・マス漁業の違反操業問題についての知事の所見
 - ・いか流し網漁業の一時停止についての認識及び今後の取り組み
 - ・北転船の減船、いか流し網漁業の撤退が漁業協同組合へ及ぼす影響
- 7 医療問題について
 - ・病院事業の健全化計画のこれまでの5年間の実績と計画の実現見通し
 - ・道立の地域センター病院の機能充実に向けた積極的な取り組みについての所見
 - ・救急医療体制の拡充整備についての取り組み
 - ・道内市町村と一体となったエイズ予防対策の推進に向けた取り組み
 - ・道立保健所等におけるエイズの検査体制及び相談体制の早急な整備
- 8 脱スパイクタイヤ対策について
 - ・地域指定の拡大についての認識及び今後の見通し
 - ・道路環境の整備と国に対する財政支援を要請するなどの積極的な取り組みについての所見
 - ・総合的な研究機関の設置についての所見
- 9 教育問題について
 - ・学校週5日制の導入に伴う子供たちへの対応
 - ・学校外教育活動の充実を図るための推進会議で検討・推進する具体的内容
 - ・学校週5日制の導入に伴う道立施設の無料解放についての所見
 - ・養護学校高等部の整備についての今後の取り組みを含めた所見
- 10 公安問題について
 - ・道警における今後の組織体制の整備充実に

向けた取り組み

- ・交通巡視員を警察官に切り替えることについて
の所見

等について質問の後、あらかじめ会議時間を延長し、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事、教育長及び警察本部長から答弁。

日程第1の議事中止し、

追加日程 報告第37号ないし第41号を議題とし、知事から提案説明があって、午後5時22分延会。

○6月29日（月） 午前10時21分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号、報告第1号ないし第10号及び第37号ないし第41号を議題とし、一般質問に入り、

高橋 定敏議員（自民）から、

1 農業問題について

- ・優良農家の実態
- ・土とのふれあいを通じた農業認識の向上
- ・有機質資材活用による土づくり及び各種試験研究の取り組み
- ・農産物に対する消費者ニーズの把握状況

2 女性が働きやすい環境の整備について

- ・女性労働者の福祉増進や地位向上のための取り組み
- ・女性の再就職促進への取り組み
- ・男女の固定的な役割意識の改革への取り組み

3 教育問題について

- ・登校拒否の実態及び情操教育との関係
- ・エネルギー教育の必要性及び現状
- ・女性管理職登用に対する考え

4 高等学校教育について

- ・特色ある高校教育実現のための取り組み

5 学校5日制について

- ・学校5日制に関する北教組との対応

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

高橋 由紀雄議員（社会）から、

1 石炭・産炭地域対策について

- ・国内炭生産の確保に対する見解
- ・石炭会社の新分野開拓計画の国の承認及び石炭会社への指導に対する見解
- ・基金拡充への対応及び支援事業に対する考

え方

- ・産炭地域振興実施計画の推進体制の強化

2 若者定着対策について

- ・若年労働力確保対策
- ・高校生の地元定着対策
- ・技術系卒業生確保対策
- ・Uターン促進に向けての対応
- ・高卒就職者の意識調査の必要性

3 高齢者用住宅対策について

- ・高齢者向け住宅整備に対する考え方
- ・既設公営住宅の高齢者向け改善
- ・住宅整備と老人保健福祉計画との関連

等について質問があり、知事から答弁。

加藤 和久議員（自民）から、

1 リゾートについて

- ・リゾート開発の計画数及び形態
- ・リゾート開発の効果
- ・国際リゾート連担都市構想の進捗状況
- ・新タイプのリゾート計画の進捗度及び実現の見通し
- ・知事のふるさと訪問における発言の根拠及び観光振興基本計画の整合性
- ・ゴルフ場開発の規制に関する要綱中の規制適用除外の基準

2 農業改良普及事業の問題について

- ・園芸担当普及員の資質向上
- ・普及所の情報システムの整備
- ・巡回指導用車両の必要性及び現地診断指導車両の整備
- ・普及所の庁舎整備

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後零時23分休憩、午後2時1分再開。

段坂 繁美議員（社会）から、

1 リサイクルの推進について

- ・廃タイヤのリサイクル対策及び保管状況
- ・古紙回収の実態及び取り組み

2 エキノコックス症対策について

- ・飲料水対策
- ・キツネ対策
- ・健康診断実施への対策

3 野生大麻などの撲滅対策の推進について

- ・本道で野生大麻が多い理由及び除去状況
- ・道民に対するPRの推進状況

・野生大麻除去のための対策

・野生大麻撲滅対策の強化

等について質問があり、知事から答弁。

清水 誠一議員（自民）から、

1 農業問題について

- ・農業地域産業複合拠点形成への取り組み
- ・農業農村整備事業の基本的考え方及び事業予算
- ・負債対策の実施状況
- ・農産物流通の対策

2 道道整備について

- ・未供用区間の整備状況及び解消策
- ・士幌然別湖線完成へ向けての考え

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後3時2分休憩。午後3時38分再開。

石井 孝一議員（自民）から、

産業廃棄物対策について

- ・適正処理、排出抑制及び再利用推進への取り組み
- ・医療系廃棄物の不法投棄例
- ・医療系廃棄物の処理体制及び管理体制
- ・死亡獣畜の処理施設数
- ・家畜死体処理業者への財政支援
- ・家畜死体処理施設の整備

等について質問があり、知事から答弁。

高橋 一史議員（自民）から、

環境行政について

- ・地球環境問題に道が取り組むことについての意義及びその施策
- ・地球環境問題に対する体制・組織及び人材育成
- ・リゾート等の開発と本道発展の関係
- ・環境保全基金の活用及び実績
- ・環境問題に関する公益法人設立に対する考え方

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後4時19分延会。

○6月30日（火） 午前10時47分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第15号、報告第1号ないし第10号及び第37号ないし第41号を議題とし、一般質問を継続。

乙川 節郎議員（公明）から、

1 医療問題について

- ・小児慢性特定疾患の患者の実態及び対応
- ・乳幼児医療費の助成に対する取り組み

2 食品の安全性確保の問題について

- ・道内産農産物の残留農薬等の検査方法
- ・輸入農産物に係る残留農薬基準改正案の内容及びその作業スケジュール
- ・輸入食品の安全性確保への取り組み

3 土木行政について

- ・高速道路整備に対する見解
- ・第二次急傾斜地崩壊対策事業5箇年計画の進捗状況及び次期5箇年計画での取り組み
- ・危険箇所及び人工崖の危険防止対策

4 道立中島スポーツセンターの整備について

- ・中島体育センター別館改築に対するこれまでの取り組み
- ・改築に向けた基本的な考え方
- ・改築の場所及びスケジュール

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。

藤沢 一雄議員（民政）から、

1 農業問題について

- ・新農業政策への対応及び見解
- ・野菜新政策の内容及びその対応
- ・花き生産振興方針の見直し
- ・花きのリレー栽培に対する認識
- ・新たな花き生産の取り組みへの支援

2 福祉環境の整備について

- ・北海道福祉環境整備要綱の普及啓発の成果
- ・障害者に配慮した施設整備指導への考え
- ・車椅子用トイレ及び視覚障害者用誘導ブロック整備に向けた指導に対する見解
- ・道の施設における福祉環境整備のための改善に向けての見解

3 河川問題について

- ・北海道の川づくりについての提言に対する見解及び認識
- ・第8次治水事業5箇年計画への取り組み
- ・諸外国の治水の事例を参考とすることへの見解
- ・北海道の河川の現状及び川づくりに対する考え

4 天売島における海鳥類の保護について

- ・ウミガラスの生息実態

- ・ウミガラスの増加と保護対策との関連
- ・ウミガラスの人工増殖への取り組み
- ・海鳥類保護の取り組み

等について質問があり、知事から答弁があって、午前11時59分休憩、午後2時22分再開。

萩原 信宏議員（共産）から、

- 1 知事の政治姿勢について
 - ・北方機動演習に対する考え
 - ・覇権主義に対する考え
 - ・軍縮問題に対する考え
 - ・20世紀の歴史認識
 - ・PKO法の違憲性及びPKOへの対応についての見解
- 2 千歳川放水路計画について
 - ・知事意見書提出に対する見解
 - ・アセス着手に対する見解
 - ・開発局への協力及び資料公開要求に対する見解
 - ・美々川流域の自然環境保全地域指定に対する見解
- 3 ロシア極東地域との航空路について
 - ・道内と極東地域との定期航空路開設に向けての取り組み
- 4 リゾート開発について
 - ・占冠村のゴミ処理に対する企業の対応
 - ・サホロリゾートにおける事業者責任指導に対する考え
 - ・トマムの小規模ダム設置の根拠
 - ・新得町の水調査の実施主体
 - ・占冠の農業生産法人に対する考え
 - ・アセス条例見直し及びトマムのアセス再提出に対する考え
- 5 ラムサール条約と湿原保全について
 - ・湿原条例及び保全指針策定に対する考え
 - ・鳥獣保護区及び登録湿地指定に対する考え
- 6 新農政プランについて
 - ・新農政プラン撤回に対する考え
 - ・新農政プランの本道農業への影響
- 7 医療法改正による老人病院増加の影響について
 - ・診療報酬改定により老人病院に変更する病院数
 - ・老人病院への変更による地域医療確保への影響

- ・老人病院認定除外規定の活用に対する見解
- 8 飲用水対策について
 - ・エキノコックス症対策重点地域の学校の水道整備に対する見解
 - ・水道整備のための市町村への指導

9 教育問題について

- ・障害児高等部及び精薄高等部の新増設に対する考え
- ・高体連等全国大会参加費用等の援助

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。会議規則第57条ただし書きの規定による発言許可の後、同議員から発言。

石川 十四夫議員（道政）から、

- 1 産炭地域の振興について
 - ・産炭地域における企業誘致等の取り組み
 - ・企業に対する融資制度拡大への対応
 - ・産炭市町村に対する財政支援策
 - ・炭鉱跡地活用に向けての取り組み
- 2 脱スパイクタイヤ問題について
 - ・自動車製造に対する国への要望状況及び国の動向
 - ・脱スパイクタイヤ推進のための施策
 - ・スパイクタイヤ規制追加地域の道路環境の整備内容及び今後の規制追加指定の進め方
- 3 千歳川放水路問題について
 - ・放水路の必要性に対する認識
 - ・美々川流域の自然環境の保全についての開発局との対応

等について質問があり、知事から答弁。

日程第1の議事を中止し、

追加日程 道営競馬札幌場外発売所開設計画問題に関する調査の件を議題とし、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員長から、調査の経過と結果について報告の後、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から反対討論があって討論終結。次いで、採決に入り、起立採決の結果、起立多数をもって、道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会の本件調査を終了することに決定。

次いで、知事から、道営競馬札幌場外発売所開設計画問題に関し発言の後、

日程第1の議事を継続し、質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び企業会計決算に関する案件について、本議会に31人の委員をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上、審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

小原 葉子（社会）	伊藤 条一（自民）
上田 茂（自民）	釣部 勲（自民）
山口幸太郎（自民）	乙川 節郎（公明）
風早 俊男（民政）	高橋由紀雄（社会）
段坂 繁美（社会）	平出 陽子（社会）
佐々木隆博（社会）	佐藤 寛一（社会）
菅原 功一（自民）	高橋 文明（自民）
伊達 忠一（自民）	野呂 善市（自民）
和田 敬友（自民）	畠山 博（自民）
湯佐 利夫（自民）	綿貫 健輔（自民）
工藤万砂美（自民）	桜井 外治（自民）
深田 義勝（社会）	森 敏捷（社会）
大平 盛雄（社会）	菊地 芳郎（社会）
石川十四夫（道政）	樫林 巖（社会）
神本 三也（社会）	工藤 啓二（公明）
古川 靖晃（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

萩原 信宏（共産）	岡本 修（社会）
明田 辰義（自民）	加藤 和久（自民）
山崎 正隆（自民）	風早 俊男（民政）
段坂 繁美（社会）	鰐谷 忠（社会）
小池 昌（社会）	菅原 功一（自民）
和田 敬友（自民）	酒井 芳秀（自民）
山口 真人（自民）	高橋 康之（自民）
大平 盛雄（社会）	柏倉 勝雄（社会）
谷川 英雅（社会）	工藤 啓二（公明）
高木 繁光（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、7月1日から7月2日まで休会することに決定して、午後4時24分散会。

道営競馬札幌場外発売所問題 調査特別委員長報告

私は、ただいま議題となりました道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する調査の件につき、本委員会における調査の経過並びに結果について、その概要を御報告申し上げます。

御承知のとおり、道は、昭和58年以降、道営競馬の運営が厳しい状況に置かれていたことから、その運営の早期健全化と安定的な発展を図り、馬産地の生産振興に寄与していく上で場外発売体制の充実強化が必要であることから、道内主要都市において場外発売所の開設を順次進めてきたところであります。

とりわけ、札幌専用場外発売所の早期開設が重要な課題であるとして、平成2年1月25日に、開設場所を札幌市中央区南6条西5丁目、開設方式を賃借方式などとする札幌都心部場外発売所開設計画案を策定するとともに、その推進を図ってきたところでありますが、この開設をめぐるまして、地元町内会会などの理解は得られたものの、近隣町内会等からは強い反対があり、その理解を得ることが困難になったこと、このような状況では札幌市の同意を得る見通しが立たないこと、また、当該地を候補地にしてから相当の期間を経過しており、これ以上結論を先送りできないことなどを総合的に判断し、道は、平成3年9月、この開設計画を断念したのであります。

この開設計画案の策定から断念に至るまでの経緯について、本会議、農政委員会及び予算特別委員会において種々論議が行われ、多くの問題点が指摘され、その問題の解明のため、昨年の第3回定例会において、議長の措置により、予算特別委員会の延長的性格を持つ特別委員会として道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会が設置されたのであります。

委員会といたしましては、設置日の10月23日に委員会を開き、正・副委員長互選を行うとともに、委員会の運営等について協議を行いました。

また、11月21日の委員会において、理事者から本問題に関する経過報告を受けるとともに、本問題にかかわる具体的な事実解明の調査に入り、

本日の委員会において調査終了を決定するまで、2回の定例会を中に挟み、約8カ月間の長期にわたり、

1. 知事及び理事者に対する質疑

1. 参考人に対する質疑

などを行い、事実解明や必要な調査を実施してきたのでありますが、去る6月19日の委員会におきまして、一切の質疑の終了を採決により決定し、その後、委員会調査報告書及び調査案件の終了について、各派間の意見の調整を図ってまいりましたが、意見の一致を見るに至らず、本日の委員会において、採決の結果、いずれも賛成者多数をもってこれを決定した次第であります。

次に、本委員会において問題となった主な事項を申し上げますと、

1. 開設計画案策定までの経緯

1. 北海道地方競馬運営委員会に対する諮問

1. 札幌市との関係

1. 地域住民との関係

1. 地権者及び競馬協力会関係者との関係

1. 仲介者との関係

などであります。

かいつまんで申し上げます。

まず、開設計画案策定までの経緯についてであります。

道は、61年5月に、場外発売体制の充実強化等を内容とする道営競馬運営改善方策を策定し、この改善方策に基づき、旭川市、岩見沢市、室蘭市と開設を順次推進してまいりましたが、札幌市内専用場外発売所については、交通の便がよくファンが集まりやすいこと、周辺対策に関し地域の協力が得られること、また、地域の活性化が地域住民によって望まれていることなどを基本として、61年6月以降、都心部及び郊外の候補地のリストアップを行ってきました。その後、狸小路周辺や大谷地での開設を検討しましたが、地域環境等から設置するに至らなかったものであります。

道は、平成元年2月、道営競馬札幌市内専用場外発売所の開設に関し、北海道地方競馬運営委員会の答申を受け、2年1月に、開設場所を南6条西5丁目、開設方式を賃借方式とする開設計画案を策定し、自来、その推進を図ってきたのであります。

本来、道政上の重要な施策を進める場合には、

庁内において十分な検討を行い、かつ、最高責任者である知事と協議の上、明確な方針のもとに取り組むことが大事であります。にもかかわらず、この開設計画策定作業の進め方は、幹部会議での協議は一回のみ、また、庁議には一度も諮られたことがなく、しかも、重要事項の意思決定に当たっては、知事了解を得たもの、担当副知事あるいは担当部限りで判断したものなど、一貫性を全く欠いていたと指摘せざるを得ないのであります。

次に、北海道地方競馬運営委員会に対する諮問についてであります。

諮問の段階で候補地が一カ所しかなかったこと及び63年12月時点でその場所について内部検討資料が取りまとめられていたことが明らかになり、諮問の必要性に疑問が持たれたのであります。

また、諮問に当たって、口頭で諮問を行うなどその方法に適正を欠き、運営委員会における審議についても結論を誘導したと誤解されるような対応が見られたこと、さらには、十分な意見の聴取や集約などを行わないまま終了するなど、行政執行上、甚だ不適切であると言わざるを得ません。

次に、札幌市との関係についてであります。

札幌市内場外発売所の開設に当たっては、地元札幌市の同意を得ることが不可欠の要件であります。専用場外発売所開設に向けて取り組む段階において、事前の協議を行う必要があったにもかかわらず、札幌市との話し合いは、62年11月になって大谷地を候補地とする郊外型場外発売所の計画に対する協力要請が最初でありまして、開設計画案の策定以前から札幌市の理解を得るための周到な努力をしていたとは到底認められないのであります。

また、道は、開設計画案策定後、札幌市に事前協議の申し入れを行うとともに、関係町内会等に対し開設計画案等の説明を行い、地元町内会の同意は得たものの、近隣町内会及び一部の団体からは強い反対の意向が示されました。行き詰まった状態になり、このような状況のもとでは札幌市の同意を得る見通しが持てないと判断し、本件に関する札幌市議会の実質的な審議の動向を見きわめることなく、計画案を断念し事前協議を取り下げたことは、それまでの札幌市の協力と信頼に背くものであって、不適切な対応であったと申し上げなければなりません。

さらにまた、本問題のような社会的影響の大きい施策の推進に当たっては、知事みずからが札幌市に対し理解と協力を得る努力をいたすべきであって、知事の取り組み姿勢が問われるところであります。

次に、地域住民との関係について申し上げます。

道は、開設計画案策定後、計画の説明や協力要請を行ってまいりましたが、反対側との交渉経過においては、状況の受けとめ方や対応について慎重さが足りなかったし、また、薄野地域における情報を幅広く収集するという努力に欠けていた点も強く指摘されたところであります。

道は、反対側との交渉が行き詰まった状態に至ったとはいえ、札幌市との連携を密にするなどして、道みずからが誠意を持って地域住民と交渉を行う努力を続けるべきであったにもかかわらず、安易に第三者を介して局面の打開を図ろうとしたことは、反対側住民に不信感を与えたばかりか、決裂状態の修復が不可能になり、今回の計画案断念の要因につながったのでありまして、行政を推進する上で極めて適切を欠いたものと言わざるを得ないのであります。

次に、地権者及び競馬協力会関係者との関係についてであります。

行政がこの種の計画を進める場合に、関係者と事前の折衝を行う必要性は認められますが、その対応については、おのずから節度を持って当たるべきものでありまして、一連の経緯から見て道の対応は甚だ慎重さを欠いていたものと認められます。

さらには、反対側との交渉が決裂して以来、道は、早期解決に向けて何ら対策を講じないまま推移し、断念に至ってしまったことは、関係者に迷惑をかけることとなり、問題であります。このような道の対応と姿勢は、地権者側からの申入書の提出とか、競馬協力会関係者からの訴訟提起というような後の諸問題の要因となったことは否めません。甚だ遺憾であります。

なお、調査の過程で参考人が述べられた同僚議員3名の関与の問題については、所属会派の御尽力を煩わした結果、協力文書は出したけれども、それ以外の点については一切関係はないとの御報告をいただきました。しかし、一時期ではありま

すが、疑念を持たれるような報道が一部にありましたことはまことに残念であります。

次に、仲介者との関係についてであります。

第三者を仲介者としたことが、反対側との交渉を複雑困難にし、さらに不信感を招き、結果的に計画を断念する要因となったと認められるのであり、この種の問題の解決に当たっては、道みずからが当事者として誠意を持って対応すべきであり、このような行政の進め方は強く批判されるものであります。

また、交渉過程において出された三文書、つまり、場外発売所に特定の第三者が関与することはないという文書、反対運動の中止・撤回に関する協定書、その協定内容の履行を確認するための文書は、いずれも職務権限にかかわる公文書であるとの認識もないまま、仲介者の求めに応じ安易に担当副知事らの私印を押して交付したことは、行政の責任者としてまことに軽率であったと指摘せざるを得ません。

また、これらの文書はその後道に返還されておりますが、返還に当たって、仲介者と競馬協力会関係者の間に不透明な部分があったとされる点については、残念ながら十分に解明するには至らなかったものであります。

なお、本問題の調査に関連して、事実解明に対する理事者の姿勢について申し上げます。

本問題について、平成2年9月から、新聞・雑誌などで各種報道がなされ、3年1月中旬以降、担当副知事以下、関係職員が道警の事情聴取を受けており、しかも、本委員会設置以前から本会議や所管の農政委員会、予算特別委員会等において種々論議が行われ、多くの問題点などが指摘されていたにもかかわらず、事実解明について知事からは具体的な指示もなく、また、本委員会の調査に当たっては資料の提出や答弁などにおいても、自発的に解明する姿勢が不十分であったことは否めません。

最後に、本委員会として事実解明にかかわる調査の結論につきましては配付の報告書に記載のとおりであります。本委員会において、責任を明らかにすべしとの指摘を受け、知事は、行政の最高責任者として関係者に迷惑をかけたことは申しわけないとし、近く責任を明らかにすると表明されたことは当然であります。ここに深い反省を

求めるとともに、適切に 対処されるよう 望みます。

以上、本委員会に付託された案件の調査経過とその 結果について 概要を御報告 申し上げましたが、詳細につきましては、お手元に配付の委員会調査報告書により 御承知 いただきたいと存じます。

最後になりましたが、本特別委員会の設置趣旨から、問題解明にはいろいろと制約がありましたものの、行政事務の執行や対応などについて、議会としての監視機能を発揮し得たものと思料いたしております。

また、委員各位におかれましては、約 8 カ月の長期にわたり、しかも、間を置き置き、飛び飛びの審議でございましたけれども、精力的かつ御熱心に調査に努められたところでありまして、ここに心から敬意を表しますとともに、委員会の運営に当たっては、副委員長を初め、各理事の皆様御協力をたくさんいただきましたことに対し、深く感謝申し上げる次第であります。

以上をもって、私の報告を終わります。

○ 7 月 3 日（金） 午後 4 時 33 分開議、あらかじめ会議時間を延長し、午後 4 時 34 分休憩、午後 7 時 56 分再開。諸般の報告の後、

日程第 1 議案第 16 号を議題とし、知事から提案説明の後、総務委員会に付託することを決定。午後 7 時 59 分休憩、午後 9 時 22 分再開。

追加日程 議案第 1 号ないし第 16 号及び報告第 1 号ないし第 10 号を議題とし、予算特別、総務、文教、建設、保健環境、水産林務各委員長から、それぞれ各委員会における付託案件の審査の経過と 結果について 報告の後、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、議案第 1 号、第 4 号及び第 7 号に関する反対討論があって、討論終結。

採決に入り、議案第 1 号、第 4 号及び第 7 号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり可決。

次に、議案第 2 号、第 3 号、第 5 号、第 6 号、第 8 号ないし第 16 号及び報告第 1 号ないし第 10 号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり可決。

追加日程 議案第 17 号ないし第 19 号を議題と

し、追加提出案件に関する知事の説明。

採決に入り、議案第 17 号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり同意議決。

次に、議案第 18 号及び第 19 号を問題とし、異議なく原案のとおり可決。

追加日程 意見案第 3 号を議題とし、大橋 晃議員（共産）から提案説明の後、委員会付託を省略の上、採決に入り、起立採決の結果、起立少数をもって否決。

追加日程 意見案第 4 号及び第 5 号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上、採決に入り、異議なくいずれも原案のとおり可決。

追加日程 請願審査の件を議題とし、委員長報告を省略の上、異議なく請願審査報告書のとおりに決定。

次に、報告第 37 号ないし第 41 号について、企業会計決算特別委員長から申出のとおり閉会中の継続審査に付することを決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務調査の件について、各関係委員長から申出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に提案された案件は、報告第 37 号ないし第 41 号を除きすべて議了。

議長から閉会のあいさつがあって、午後 9 時 58 分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は、6 月 30 日設置され、平成 4 年度北海道一般会計補正予算案が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに、正・副委員長の互選を行いますとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに 2 分科会を設置し、案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第 1 分科会は、委員長に 佐藤寛一君
副委員長に 菅原功一君

第2分科会は、委員長に 野呂浩市君
副委員長に 深田義勝君
を選任するとともに、審査の方法等について協議
を行い、7月2日から各部所管の審査に入り、7
月3日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、
同日の委員会において、各分科委員長より分科会
における審査経過の報告書が提出された次第であ
ります。

御承知のとおり、今回付託されました案件は、
総額5億4,890万円余に及ぶ補正予算でありまし
て、本件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑
が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきまし
ては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願
いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、各派代
表者間におきまして議案第1号について意見の調
整を図りました結果、全会一致、原案可決と決定
した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査経
過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

〈知 事 提 出〉

第2回定例会において提出のあった案件

議 案

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 16	1	平成4年度北海道一般会計補正予算（第1号）	予算特別	7. 3	原案可決
同	2	北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び北海道の休日に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	3	北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案	同	同	同
同	4	北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	5	北海道学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	文 教	同	同
同	6	北海道警察組織条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	7	空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件	建 設	同	同
同	8	工事請負契約の締結（浦河ダム建設工事）に関する件	同	同	同
同	9	工事請負契約の締結（道道岩内洞爺線ニセコ大橋新設〔架設〕工事）に関する件	同	同	同
同	10	工事請負契約の締結（十勝川流域 下水道浄化センター 三系水処理 施設工事）に関する件	同	同	同
同	11	財産の取得（物品・ガンマカメラ一式）に関する件	総 務	同	同
同	12	財産の取得（物品・磁気共鳴診断装置一式）に関する件	保健環境	同	同
同	13	財産の取得（物品・化学消防ポンプ自動車一台）に関する件	建 設	同	同
同	14	財産の処分（建物・札幌市中央区南9条14丁目1398番地7）に関する件	総 務	同	同
同	15	損害賠償の額の決定に関する件	同	同	同
7. 3	16	北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	17	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件	同	同	同意議決
同	18	北海道収用委員会委員及び北海道収用委員会予備委員の選任につき同意を求める件	同	同	同
同	19	北海道公害審査会委員の選任につき同意を求める件	同	同	同

報 告

提出月日	番号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 16	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例、3月31日専決処分）	総 務	7. 3	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道留萌合同庁舎改築第3期工事〕5月25日専決処分）	同	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道立中央水産試験場改築工事〕5月25日専決処分）	水産林務	同	同
同	4	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道中標津高等学校改築第2期工事〕5月15日専決処分）	文 教	同	同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 16	5	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道士別商業高等学校改築工事〕5月15日専決処分）	文教	7. 3	承認議決
同	6	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道訓子府高等学校改築工事〕5月15日専決処分）	同	同	同
同	7	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道稚内高等学校改築第2期工事〕5月25日専決処分）	同	同	同
同	8	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道本別高等学校改築工事〕5月25日専決処分）	同	同	同
同	9	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道函館中部高等学校改築第3期工事〕5月25日専決処分）	同	同	同
同	10	専決処分報告につき承認を求める件（工事委託契約の締結〔函館湾流域下水道浄化センター建設工事〕5月25日専決処分）	建設	同	同
同	11	平成3年度北海道緑越明許費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	12	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	13	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	14	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	15	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	16	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	17	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	18	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	19	社団法人北海道産炭地域振興センターの経営状況に関する件			同
同	20	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	21	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	22	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	23	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	24	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	25	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	26	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	27	北炭真谷地炭鉱株式会社の経営状況に関する件			同
同	28	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	29	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	30	財団法人食の祭典委員会の経営状況に関する件			同
同	31	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			同
同	32	財団法人テクノボリス函館技術振興協会の経営状況に関する件			同
同	33	財団法人北海道長寿社会振興財団の経営状況に関する件			同
同	34	財団法人道民活動振興センターの経営状況に関する件			同
同	35	土地信託の事務処理状況に関する件			同
同	36	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成4年4月14日1件、平成4年4月16日1件、平成4年4月24日1件、平成4年5月22日1件、平成4年5月29日2件、平成4年6月4日1件、平成4年6月6日1件専決処分）			同
6. 25	37	平成3年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 3	継続審査

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
6. 25	38	平成3年度北海道有林野事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7. 3	継続審査
同	39	平成3年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	40	平成3年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	41	平成3年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

前 会 か ら 継 続 審 査 中 の 案 件

報 告

提出月日	番号	件 名	付 託 委員会	議決月日	議事結果
3.12.10	1	平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	4.6.16	意見を付し 認定議決

<議 員 提 出>

第2回定例会において提出のあった案件

意 見 案

提出月日	番号	件 名	提 出 者	議決月日	議事結果
6. 16	1	稲作経営の安定に関する意見書	大野新生議員ほか13人	6. 16	原案可決
同	2	再生産を保障する生産者米価実現に関する意見書	大橋 晃議員ほか1人	同	否 決
7. 2	3	国連平和維持活動への自衛官派遣に反対する意見書	同	7. 3	同
7. 3	4	精神障害者の社会復帰・福祉施策の充実に関する意見書	輪島幸雄議員ほか12人	同	原案可決
同	5	石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書	谷川英雅議員ほか14人	同	同

意見案

意見案第1号 稲作経営の安定に関する意見書

(平成4年2定
大野新生議員ほか13人提出
平成4年6月16日原案可決)

我が国の主食である米の安定供給を確保するため、食糧管理制度の根幹と国内完全自給の方針を堅持するとともに、我が国の稲作主産地として「おいしくて・安い米づくり」を目指す本道稲作の確立のため、左記事項を実現されるよう強く要望する。

記

1 米の国内自給について

(1) ガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉における、最終合意文書案にある国境措置に關しての「包括的な関税化」は、農畜産物の完全自由化につながるもので、これを拒否し、米の国内完全自給方針を堅持すること。

(2) 米加工品については、秩序ある輸入が行われるよう、関係業界に対して適切な指導を行うこと。

2 平成4年産米の政府買入価格について

4年産米の政府買入価格については、稲作農家が将来とも意欲をもって生産に取り組めるよう、他産業との所得均衡等に十分配慮して決定すること。

3 自主流通米の安定集荷・流通について

(1) 自主流通米の安定した集荷・流通を確保するため、自主流通対策費の現行水準を維持すること。

また、現行の予約概算金制度を維持すること。

(2) 指定法人が策定する「自主流通計画」については、産地品種銘柄の需要動向が十分に反映されるよう指導の上、認可すること。

4 稲作経営の体質強化対策について

生産性が高く、体質の強い稲作経営の育成を図るため、次の諸対策を拡充強化すること。

(1) 農業農村整備の促進

- ・農業生産基盤整備の計画的推進
- ・農村生活環境整備の促進

(2) 農地流動化促進対策の充実

- ・農地保有合理化促進事業制度の充実・強化
- ・譲渡所得の特別控除制度の改善

(3) 農業金融対策の拡充強化

- ・農業基盤整備資金の償還条件の緩和
- ・経営委譲に伴う継承債務に対する借換え資金制度の創設
- ・長期で低利な総合的融資制度の創設
- ・自作農維持（経営再建整備）資金の貸付条件の改善
- ・残高借換えを含む経営再建資金制度の創設

(4) 米生産・流通施設の整備促進

- ・米の品質向上と流通コスト削減のための施設整備に対する助成制度の拡充

(5) 農業農村整備事業に係る地元負担の軽減

- ・土地改良負担金総合償還対策（平準化事業）における運用特例の設定

- ・国営土地改良事業地元負担金の支払条件の緩和
- (6) 土地改良施設管理対策の拡充
 - ・土地改良施設の維持・管理に対する助成制度の拡充
- (7) 試験研究の充実
 - ・イネ・ゲノム解析研究など先端技術開発の推進
 - ・スーパーライス計画の推進
 - ・高品質品種の緊急開発への支援の強化
- (8) 農業生産資材価格対策の充実
 - ・農業機械・肥料等生産資材の価格と低減な安定供給のための強力な行政指導と施策の充実

5 米消費拡大対策について

- (1) 米の消費拡大と米食を中心とした日本型食生活の定着を図るため、米グルメ推進事業の拡大や米飯学校給食など米消費拡大対策を拡充強化すること。
- (2) 学校給食用自主流通米の助成対象に、「もち米」を加えること。

6 ポスト水田農業確立後期対策について

平成4年度をもって終了する「水田農業確立対策」の次期対策については、次の事項に配慮し、決定すること。

- (1) 水田農業の着実な発展を図るための基本政策の確立
 - ・ゆとりある米の需給計画を基本とした生産調整の実施
 - ・意欲的な担い手農家に配慮した構造政策の一層の推進
 - ・農村の活性化や農村環境の保全に配慮した地域政策の充実
- (2) 北海道稲作主産地としての位置付け
 - ・専業的農家による低コストで多様なニーズに応じた米生産が可能な本道稲作への配慮
 - ・平成4年度における転作等軽減措置の継続と傾斜配分の見直し
 - ・円滑な生産調整の推進に必要な助成補助金等の確保

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

意見案第2号 再生産を保障する生産者米価実現に関する意見書

(平成4年2定
大橋 晃議員ほか1人提出
平成4年6月16日 否決)

生産者米価は1985年からの据え置き・引き下げにより、15年前の水準に抑えられている。昨年度も0.65%引き下げられ、6年前と比べて60キロ当たり2,103円弱引き下げられた。

この結果、農業所得の大幅な下落を引き起こし、経営の悪化、生産意欲の減退、深刻な後継者不足を招いている。

政府においては、米の完全自給を貫くとともに、再生産を保障するよう生産者米価の水準に引き上げるよう強く要望するものである。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

意見案第3号 国連平和維持活動への自衛官派遣に反対する意見書

(平成4年2定
大橋晃議員ほか1人提出)
平成4年7月3日 否決

自衛隊の海外派兵に対しては、各種世論調査によって国民の多くが反対している。

カンボジアでは、ポルポト派の武装解除拒否など、事実上停戦がくずれ、大規模な武力衝突も起きている。

いま国際貢献のため、ということで、日本の自衛隊がカンボジアなどの国連平和維持活動(PKO)に派遣されようとしているが、このような地域に自衛隊を派遣することは、武力行使に巻き込まれる危険が大であり、憲法違反の恐れが強い。日本の国際貢献は、非軍事に限るという原則のもと、医療、環境、難民救済などの分野で大いに進めるべきである。

よって、憲法を空洞化し、海外派兵に道を開く国連平和維持活動(PKO)への自衛隊派遣は行うべきでない。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、外務大臣 } 各通
防衛庁長官

意見案第4号 精神障害者の社会復帰・福祉施策の充実に関する意見書

(平成4年2定
輪島幸雄議員ほか12人提出)
平成4年7月3日 原案可決

昭和56年の障害者の「完全参加と平等」をテーマとした国際障害者年を契機として、我が国の障害者施策も充実が図られてきた。

しかしながら、精神障害者の福祉施策は、昭和63年の精神保健法の改正により徐々に前進しつつあるものの、身体障害者や精神薄弱者の福祉施策に比較して未だ低い水準にある。

特に精神障害者の社会参加と自立の手立てとなる社会復帰施設やマンパワー等の社会資源が不足しており、これらの整備、確保の促進に向けた法制度等の確立が望まれている。

よって、精神障害者の福祉向上を図るため、次の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望する。

記

1. 精神保健法の見直しを行うとともに、所要の施策を講じ、精神障害者に対する社会復帰や福祉のより一層の充実を図ること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣 } 各通
厚生大臣、自治大臣

意見案第5号 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書

(平成4年2定
谷川英雅議員ほか14人提出)
平成4年7月3日 原案可決

本道の石炭鉱業は、今なお、地域の基幹産業として地域経済・社会に大きな役割を果たし

ており、可能な限り現存炭鉱の存続を願っている。

新しい石炭政策の下においては、国内炭生産の段階的縮小を基本としており、基準炭価の引き下げ、引き取り量の減少などから一層厳しさを増してきている。

一方、産炭地域においても、閉山・合理化の影響を受け、人口の流出、地方財政の悪化、炭鉱離職者の滞留など非常に厳しい状況にある。

このようなことから、産炭地域振興臨時措置法に基づき、昨年12月に策定された産炭地域振興実施計画は、地域の実情を踏まえた総合的な地域振興策を講じていくこととされており、その実効性の確保が強く求められているところである。

ついては、このような石炭鉱業並びに産炭地域の厳しい実情をご理解いただき、今後の施策の実施並びに平成5年度の予算編成に向けて、次の事項の実現について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1. 石炭対策財源の確保

「石炭並びに石油及び石油代替エネルギー対策特別会計法」の特定財源による石炭関係予算の安定的な確保を図るとともに、石炭鉱業安定対策並びに産炭地域振興対策への重点配分を図ること。

2. 現存炭鉱存続のための各種施策の充実強化

現存炭鉱の存続と石炭鉱業の安定を図るため、需要の確保、適切な炭価の設定、各種助成措置の拡充などの措置を講ずること。

3. 石炭企業等の経営多角化等に対する支援の強化

石炭企業が行う経営の多角化等による経営基盤の強化や、地域対策への支援などが図られるよう、各種助成措置を強化するとともに、露頭炭業者が地域に果たしている役割を勘案し、坑内掘業者と同様に各種助成措置の対象とすること。

4. 国際的技術協力

国際的技術協力に資するため、現存炭鉱を活用した技術・研修施設などを本道に設置すること。

5. 地域振興対策の強化

新石炭政策の下、産炭地域振興対策の充実強化を図るため、重点対象地域を中心に先行的かつ集中的な地域振興対策として、産炭地域振興実施計画の実効性の確保、企業誘致の促進、中核的事業主体に対する支援、地域振興整備公団の機能強化、地域活性化対策の促進、中小商工業者対策の拡充強化、炭鉱施設の有効利用、総合保養地域整備法の適用などの措置を講ずること。

6. 地方自治体への助政援助

産炭地市町村の財政安定を図るため、産炭地域振興臨時交付金制度の充実強化、閉山又は大規模な縮小、合理化が行われた産炭地市町村に対する新たな地域活性化資金制度の創設、地方交付税制度の拡充強化などの措置を講ずること。

7. 雇用対策

炭鉱離職者の再就職などを促進するため、経営の多角化、新分野開拓に伴う職業転換訓練、配置転換、出向等を行う事業主に対する支援措置をはじめ、地元雇用の創出、職業能力の開発、下請離職者対策などの措置を講ずること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣、
労働大臣、自治大臣、北海道開発庁長官} 各通

請 願 ・ 陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
51	高等養護学校設置を求める件	道立釧路高等養護学校設置促進期成会 会長 鰐淵 俊之	文 教	継続審査
52	第6次（高校第5次）教職員定数法の早期制定を求める件	北海道教職員組合中央執行委員長 若月 雅裕	同	同
53	義務教育諸学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担法堅持を求める件	同	同	同
54	労働時間短縮、全労働者の完全週休2日制など労働基準法等の抜本的改正を求める意見書採択に関する件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫	商工労働 観 光	同
55	道職員の完全週休2日制実施を求める件	同	総 務	同
56	千歳川放水水路計画の抜本的見直しを求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫外1人	総合開発 調査特別	同
57	道職員の完全週休2日制実施を求める件	北海道労働組合総連合 議長 山口 康夫	文 教	同
58	道立高等養護学校設置を求める件	根室管内道立高等養護学校設置促進期成会 会長 中標津町長 進藤松吉	同	同

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付 託 委員会	審査の 結 果
10	白内障治療の眼内レンズ補助に関する件	北海道生活と健康を守る会連合会 会長 石井 清治	生活福祉	議決不要
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件	北海道精神障害者家族連合会 会長 須藤 重行	保健環境	採 択 (但し第1項を除く)
1	ホッカイドウ競馬専用場外発売所を薄野に開設することに反対する件	札幌市豊水地区連合会 会長 福本 武治外13人	農 政	議決不要
2	道営競馬札幌場外馬券発売所をススキノ周辺地区に開設することに反対する件	札幌市薄野地区暴力追放運動推進協議会 グリーン薄野推進協議会 会長 斉藤 鶴雄外6人	同	同
43	道営住宅の家賃の値上げ中止を求める件	北海道公営住宅協議会 会長 竹内 栄次郎	建 設	同
46	道営住宅の家賃の値上げ撤回を求める件	北海道生活と健康を守る会連合会 会長 石井 清治	同	同
47	92年度道予算における公共料金引上げ反対に関する件	北海道92国民春闘共闘委員会 代表 山口 康夫	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付 託 委 員 会	審 査 結 果
1	道営競馬場外馬券発売所の札幌都心部（ススキノ地区）への移設推進に関する件	北海道道営競馬協力会 会長 三浦 英一	農 政	議決不要
2	薄野地区道営競馬場外発売所設置反対に関する件	札幌市中央区 遠藤 象三外40人	同	同
8	道営競馬札幌場外馬券 発売所の 西創成地区（南6条西5丁目）への移設推進に関する件	社団法人西創成親和会 理事長 松本 武	同	同
11	エゾシカ食肉化等に関する件	動物の会FWFA 代表 平井 百合子	同	同
14	エゾシカの食肉化と被害防止対策に関する件	北海道自然保護連合 代表 稲田 孝治	同	同

③ 更に継続審査されるもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	付託委員会
4	馬追山ゴルフ場造成計画に関する件	総 務
7	「北海道分県」の実現を求める件	同
9	小選挙区制導入に反対する決議を求める件	同
16	小選挙区制の導入に反対する意見書の採択を求める件	同
17	馬追丘陵におけるゴルフ場造成計画に関する件	同
19	李恩恵拉致事件の真相究明及び原状回復を求める意見書提出に関する件	同
50	従軍慰安婦問題等日本の戦後責任をはたすために資料公開、謝罪・補償を求める件	同
11	在宅寝たきり老人介護手当増額等を求める件	生活福祉
13	国庫負担率の復元を求める意見書の採択と北海道の福祉施策の拡充を求める件	同
22	18歳到達による児童扶養手当支給喪失者に対する支給延長制度に関する件	同
41	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	同
44	在職老齢厚生年金の支給率の改善を求める件	同
5	北海道看護婦職員養成修学資金の貸付枠拡大を求める件	保健環境
6	北海道立寿都病院の町移管に反対する件	同
18	精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実を求める件	同 （但し第2項及び第1項を除く）
23	6歳未満児の歯科治療費に対する助成を求める件	保健環境
42	保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件	同
3	私学助成の抜本的拡充と小中高35人以下学級の早期実現を求める件	文 教
8	子供たちのすこやかな成長とゆきとどいた教育の実現を求める件	同
24	岩見沢の高校間口削減に反対し、ゆきとどいた教育を求める件	同
25	ゆたかな高校教育を保障するために、学級削減に反対し、40人以下学級の実現を求める件	同
26	道立高等学校入学検定料、入学科値上げに反対する件	同
27	足寄高校の4学級維持と、35人以下学級の早期実現を求める件	同

文書表 番 号	件 名	付託委員会
28	滝川西高等学校の間口維持及び高校の40人以下学級の実現を求める件	文 教
29	江差高校、熊石高校、上ノ国高校の間口削減に反対する件	同
30	函館中部・工業・商業・東・上磯・七飯高校の間口削減、函館西高校定時制募集停止に反対する件	同
32	網走第四学区の高校間口の存続と40人以下学級の早期実現を求める件	同
33	道立高等学校入学検定料、入学科値上げに反対する件	同
34	函館東高校の間口削減に反対する件	同
35	八雲高等学校（普通科）の間口削減に反対する件	同
36	高等学校40人学級の早期実施を求める件	同
37	ゆたかな私学教育の実現を求める件	同
38	旭川工業高等学校に設備工業科の設置を求める件	同
39	小中高35人以下学級の早期実現と私学助成の抜本的拡充を求める件	同
40	道内公立高校40人学級の主要都市への実施を求める件	同
45	福島町立浦和小学校への早期水道設置の指導を求める件	同
48	92年度道予算における公共料金引上げ反対に関する件	同
49	平取養護学校に高等部の併設を求める件	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	付託委員会
4	北海道の気象事業整備・拡充を求める件	総 務
6	千歳市のゴルフ場新設計画に関する件	同
3	産業廃棄物の不適正処理への指導強化を求める件	保健環境
9	精神障害者社会復帰施設の設置者負担の解消を求める件	同
12	公海流し網漁業の禁止に伴う関連産業の救済を求める件	商工労働 観 光
13	同	水産林務
7	千歳市におけるゴルフ場造成等による森林の大規模開発を全面凍結し、国の天然記念物クマゲラの生息地を守る野鳥生息地調査の実施を求める件	文 教

委員会の動き

議会運営委員会

○ 5月12日（火） 開議 午前11時15分
散会 午前11時16分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
○ 総務部長から、工事請負契約締結に関し、専決処分により 措置したい旨 発言の後、了承。

○ 6月9日（火） 開議 午後1時32分
散会 午後1時37分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
① 北見市選出の桜田正明議員（自民）の逝去（5月22日）について、議長から弔意を表した旨報告。桜田議員の逝去に伴い、各会派の議員数は自民52人、社会42人、公明6人、民政5人、共産2人、道政2人、欠員1人となった旨報告。
② 桜田議員の逝去に伴う議席については空席とすることを決定。
③ 故桜田 正明議員に対する 追悼演説について、第2回定例会招集日冒頭に柏倉勝雄議員（社会）が行うことを決定。
④ 自民党より政策審議委員長を神戸典臣議員に変更した旨、届出があったことを報告。
⑤ 第2回定例会の招集期日を6月16日とすることを了承し、会期は18日間とすることを決定。
⑥ 総務部長から、第2回定例会の提出予定案件について説明。
⑦ 第2回定例会の日程について、次のとおり取り進めることを決定。

△ 第2回定例会

6月16日 本会議（提案説明）
17日～21日 休 会
22日・23日 本会議（代表質問）

24日・25日 本会議（一般質問）
26日 本会議（一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置）

6月27日

～7月2日 休 会
3日 本会議

⑧ 代表質問について、順位は社会、自民、民政、公明の順とすることを了承。代表質問の各会派の発言時間の使用状況について報告。
⑨ 質問残時間の周知方法について報告。

○ 6月15日（月） 開議 午前11時36分
散会 午前11時41分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
① 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
② 決算特別委員会の審議状況について、前会より継続審査の報告第1号については、5月19日の委員会において、意見を付し認定議決と決定し、審査を終了した旨報告の後、本件については、明日の本会議において委員長報告を行い、議決する扱いとすることを決定。
③ 代表質問の通告について、6月20日正午までに提出することを了承。
④ 一般質問について、順位は、従来の例により取り進めることを了承。通告は6月22日正午までに提出することを了承。
⑤ 予算及び企業会計決算特別委員会について、委員会構成及び正副委員長の配分については、配付資料のとおりとすること、両特別委員会の構成については共産及び道政が同率のため両派間において調整すること、調整結果は後日報告すること、委員名簿は6月24日正午までに提出することを了承。
⑥ 農政委員会において稲作経営の安定に関する意見書の発議が予定されており、提出された場合、明日の本会議において、議決することを決定。
⑦ 議案調査のため、6月17日から6月20日まで休会、6月22日再開することを決定。
⑧ 6月16日の本会議の議事順序については、明日協議することを了承。

- 6 月 16 日（火） 開議 午前 9 時 35 分
散会 午前 9 時 37 分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- ① 意見案第 1 号及び第 2 号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において、議決する扱いとすることを了承。
 - ② 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

- 6 月 22 日（月） 開議 午後零時 41 分
散会 午後零時 43 分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- ① 元道議会議員作田政次氏の逝去（北見市選出、第 18 期～22 期在職、6 月 15 日逝去）について報告。
 - ② 請願第 56 号については、本日の本会議において、総合開発調査特別委員会に付託することを決定。
 - ③ 代表質問の通告（4 人）について報告。
 - ④ 代表質問の進め方について、本日 1 人、明日 3 人行うことを決定。
 - ⑤ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

- 6 月 23 日（火） 開議 午前 9 時 33 分
散会 午後 4 時 11 分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- ① 代表質問の通告内容等の変更がないことを確認。
 - ② 本日の本会議について、代表質問 3 人行うことを了承。
 - ③ 一般質問の通告（15 人）について報告。
 - ④ 一般質問の諸派の順位については輪番制とすることとなっており、今回は共産党、道政クラブの順となることを了承。個人別順位について、各会派内における順位等に変更がないことを確認の後、議事課長説明のとおりとすることを了承。
 - ⑤ 一般質問の進め方について、6 月 24 日 5 人、25 日 5 人、26 日 5 人の予定で取り進めることを決定。

- ⑥ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。午前 9 時 36 分休憩、午後 4 時 10 分再開。

- ⑦ 総務部長から、永井利幸議員（自民）の再質問に対する答弁準備に時間を要する旨発言の後、本日の本会議はこの程度にとどめ延会することを決定。

- 6 月 24 日（水） 開議 午前 9 時 40 分
散会 午後 3 時 59 分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- ① 総務部長から、昨日の永井 利幸議員（自民）の再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、了承。
 - ② 総務部長から、明日追加提出予定の案件について説明の後、了承。午前 9 時 42 分休憩、午後 3 時 58 分再開。
 - ③ 総務部長から永井議員の再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、本日の本会議は、日程を延期し延会することを決定。

- 6 月 25 日（木） 開議 午前 9 時 36 分
散会 午後 4 時 9 分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- ① 総務部長から、6 月 23 日の 永井 利幸議員（自民）の再質問に対する答弁準備について、なお時間を要する旨発言の後、了承。
 - ② 共産党から萩原信宏議員が幹事長になった旨、届出があったことを報告。
 - ③ 総務部長から、本日、追加提出する案件について説明の後、本日提出することを了承。本件に関する知事の提案説明は、代表質問終了後、一般質問に入る前に行うことを決定。午前 9 時 38 分休憩、午後 1 時 58 分再開。
 - ④ 総務部長から、永井議員の再質問に対する答弁準備が出来た旨発言の後、本日の本会議は永井議員の再質問に対する知事の答弁から入ることを了承。
 - ⑤ 代表質問の通告内容等について、変更がないことを確認。
 - ⑥ 本日の本会議について、代表質問 2 人（う

ち1人継続)行い、延会し、明日1人行うことを決定。

- ⑦ 一般質問の進め方について、明日改めて協議することを了承。午後2時休憩、午後4時8分再開。
- ⑧ 総務部長から、永井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長から時間を要する旨申出があったことを発言の後、本日の本会議は、この程度にとどめ延会することを決定。

○6月26日(金) 開議 午前9時35分
散会 午後2時21分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 総務部長から、昨日の永井 利幸議員(自民)の再々質問に対する答弁準備について、教育長からなお時間を要する旨申出があったことを発言の後、了承。午前9時36分休憩、午後2時17分再開。
- ② 総務部長から、永井議員の再々質問に対する答弁準備について、教育長から準備が出来た旨申出があったことを発言の後、本日の本会議は永井議員の再々質問に対する教育長の答弁から入ることを決定。
- ③ 一般質問の 通告内容等の 変更について了承。
- ④ 日程の変更について、7月1日休会、6月29日は本会議を開会する、一般質問は6月30日まで行い、予算特別委員会の審議日数は1日半程度確保する、各常任委員会及び各特別委員会の審議は最終日の本会議前に行うことを決定。
- ⑤ 代表質問について、本日3人(うち1人継続)行うことを了承。
- ⑥ 一般質問について、6月29日7人、6月30日4人の予定で取り進めることを決定。
- ⑦ 本日の本会議について、代表質問3人行った後、議事を一旦中止し、追加提出議案に関する知事の説明を行った後、延会することを了承。
- ⑧ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○6月29日(月) 開議 午前9時39分
散会 午前9時40分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 一般 質問の 通告内容等の 変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問7人行うことを了承。
- ③ 本日の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○6月30日(火) 開議 午前9時37分
散会 午後2時4分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫(自民)

- ① 一般質問の 通告内容等の 変更について了承。
- ② 本日の本会議について、一般質問4人行うことを了承。
- ③ 予算 及び 企業会計決算 特別委員会について、共産及び道政の話し合いの結果、今回は、予算特別委員会は道政、企業会計決算特別委員会は共産とすること、予算特別委員会の各会派別分科委員数については、各会派間の調整の結果、配付資料のとおり決定した旨報告。両特別委員会委員の選任について、配付名簿のとおり選任することを了承。
- ⑤ 議案の各委員会付託について、事務局長説明のとおりとすることを決定。
- ⑥ 各委員会付託議案審査のため、7月1日から7月2日まで休会、7月3日再開することを決定。
- ⑦ 本日の本会議の議事順序について事務局長説明のとおりとすることを了承。
- ⑧ 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会において調査終了の申出があった場合の取扱いを正副委員長に一任することを決定。午前9時41分休憩、午後2時2分再開。
- ⑨ 道営競馬札幌場外発売所問題調査特別委員会における調査については、本日、調査を終了し、議長に対し委員会報告書の提出があった旨報告。

本件については、本日の本会議において、一般質問終了後、追加日程として委員長報告

を行い、討論の後、調査終了の議決を行うことを決定。

- ⑩ 総務部長から、本日の本会議において、道営競馬札幌場外発売所問題に関して、知事が発言したい旨発言の後、了承。本件については、委員長報告、討論、調査終了議決の後、行うことを決定。
- ⑪ 再開後の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

⑨ 保健環境委員会から審査結果報告のあった請願について、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。

⑩ 閉会中継続調査申出の件につき、配付のとおり、会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出ることを決定。

⑪ 再開後の本会議の議事順序について、事務局長説明のとおりとすることを了承。

○7月3日（金） 開議 午前9時41分
散会 午後9時1分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- ① 各委員会付託議案の審議状況について、予算特別委員会第1分科会で3人、第2分科会で1人質問者を残している状況にあること、各常任委員会付託議案については、いずれも議了していない旨報告。午前9時42分休憩、午後4時25分再開。
- ② 本日の本会議について、取り敢えず会議時間を延長することを決定。午後4時26分休憩、午後7時43分再開。
- ③ 総務部長から、本日、追加提出予定案件について説明の後、議案第16号については本日の本会議において知事の提案説明を行い、総務委員会に付託することを決定。
- ④ 再開後の本会議について、議案第16号の提案説明、委員会付託を行い、一旦休憩することを決定。午後7時44分休憩、午後8時57分再開。
- ⑤ 各委員会付託議案の審議をすべて議了した旨報告。
- ⑥ 企業会計決算特別委員会において審査中の報告第37号ないし第41号については、本日の委員会において、継続審査とすることに決定した旨報告。
- ⑦ 総務部長から、本日、追加提出予定の案件について説明の後、議案第17号ないし第19号の人事案件については、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。
- ⑧ 意見案第3号ないし第5号の提出があったことを報告の後、本日の本会議において議決する扱いとすることを了承。

常 任 委 員 会

総 務 委 員 会

○4月7日（火） 開議 午後1時17分
散会 午後1時34分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長から、地方税法の改正に伴う道税条例の改正に係る専決処分について報告。
- ② 警察本部刑事部長から、暴力団対策法施行後における総合対策の推進について報告。

○5月12日（火） 開議 午後1時45分
散会 午後1時50分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長から、留萌合同庁舎改築第三期工事の請負契約の専決処分予定について説明。
- ② 総務部長から、土地信託事業の経過について報告。
- ③ 行財政状況等に関する道外調査の実施を決定。

○6月2日（火） 開議 午後1時26分
散会 午後1時29分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

一 般 議 事

総務部長から、留萌合同庁舎改築第三期工事の請負契約の専決処分について報告。

○6月15日（月） 開会 午後1時41分
散会 午後1時50分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

一 般 議 事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、第2回定例会提出予定案件について

て説明。

- ② 総務部長から、外務公務員について報告。

○7月3日（金） 開会 午後8時22分
散会 午後8時48分
第5委員会室
委員長 平井 進（自民）

付託案件の審査

議案第2号

北海道職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び北海道の休日に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第3号

北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第4号

北海道税条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第6号

北海道警察組織条例の一部を改正する条例案（原案可決）

議案第11号

財産の取得に関する件（原案可決）

議案第14号

財産の処分に関する件（原案可決）

議案第15号

損害賠償の額の決定に関する件（原案可決）

議案第16号

北海道知事等の給与等に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）

小野寺 勇委員（自民）から質疑
他職員の処分について

報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件（原案可決）

報告第2号

専決処分報告につき承認を求める件（原案可決）

一 般 議 事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。

- ② 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成5年度北海道開発関係予算要

望の概要を説明。

- ③ 平成5年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- 4 所管事務について閉会中継続調査の申し出をすることを決定。

生 活 福 祉 委 員 会

○4月7日（火） 開議 午後1時20分
散会 午後1時45分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

請願・陳情の審査

請願第10号

白内障治療の眼内レンズ補助に関する件
(議決不要)
大橋晃委員（共産）から意見及び要望。

一 般 議 事

- ① 社会福祉施設に関する道内調査の実施を決定。
- ② 大橋晃委員（共産）から質疑
障害者へのタクシー運賃割引きについて

本日聴取した請願

保育・学童保育制度の拡充、助成制度の新設を求める件
(請願第41号)
北海道保育団体連絡会

○5月12日（火） 開議 午後1時40分
散会 午後2時30分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

一 般 議 事

- ① 生活福祉事情に関する道外調査の実施を決定。
- ② 山口幸太郎委員（自民）から質疑
ボランティア活動の推進について
大橋晃委員（共産）から質疑
(1) 障害者の運賃割引制度について
(2) 老人保健福祉計画について

○6月2日（火） 開議 午後1時20分
散会 午後1時30分
第9委員会室

委員長 工藤 啓二（公明）

一 般 議 事

- 1 生活福祉事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- 2 生活福祉部長から、平成4年度サハリン地域（樺太）墓参について報告。

○6月15日（火） 開議 午後1時50分
散会 午後3時5分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

一 般 議 事

- 1 生活福祉部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- 2 山口幸太郎委員（自民）から質疑
消費者行政について
大橋晃委員（共産）から質疑
手話通訳者について

○7月3日（金） 開議 午後4時58分
散会 午後5時25分
第9委員会室
委員長 工藤 啓二（公明）

一 般 議 事

- 1 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- 2 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- 3 生活福祉部長から、平成5年度北海道開発関係予算要望事項について説明。
- 4 生活福祉部長から、平成4年度サハリン地域（樺太）墓参について説明。
- ⑤ 生活福祉部長から、道民生活安定条例施行状況について説明。

保 健 環 境 委 員 会

○4月7日（火） 開議 午後1時20分
散会 午後2時15分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一 般 議 事

① 保健環境部長から、美々川流域の自然環境の資質と現状について報告。

萩原信宏委員（共産）から質疑。

② 萩原信宏委員（共産）から質疑

(1) 看護婦問題について

(2) 突峭山ゴルフ場問題について

○5月12日（火） 開議 午後1時40分
散会 午後3時
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

① 保健環境事情に関する道外調査の実施を決定。

② 加藤和久委員（自民）から質疑

(1) 本道における成人病対策について

(2) 食品衛生向上対策について

小原葉子委員（社会）から質疑

美々川流域自然環境調査報告について

萩原信宏委員（共産）から質疑

(1) 食品安全について

(2) 泊発電所安全協定と情報公開について

○6月2日（火） 開議 午後1時20分
散会 午後2時26分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

① 保健環境部長から、道立病院の再編整備と経営健全化方策の見直しについて報告。

橋 浪蔵委員（自民）及び 萩原 信宏委員（共産）から質疑

② 保健環境部長から、狩勝高原サホロリゾート開発事業及び大滝高原森林空間総合利用整備事業に係る環境影響評価の実施結果について報告。

萩原信宏委員（共産）から質疑

○6月15日（月） 開議 午後1時42分
散会 午後2時15分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

一般議事

① 保健環境事情に関する道外調査の実施概要

の報告を了承。

② 保健環境部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

③ 萩原信宏委員（共産）から質疑

雪印乳業株式会社中標津工場に係る排水等の不法行為について

○7月3日（金） 開議 午後5時15分
散会 午後5時45分
第3委員会室
委員長 輪島 幸雄（社会）

付託案件の審査

議案第12号

財産の取得に関する件 （原案可決）

請願・陳情の審査

請願第18号

精神障害者の社会復帰及び福祉施策の充実に
関する件 （第1項を除き採択）

一般議事

① 保健環境部長から、公害の状況等に関する
年次報告について説明。

② 保健環境部長から、医療法の改正について
報告。

萩原信宏委員（共産）から質疑

③ 保健環境部長から、看護婦等の人材確保の
促進に関する法律の制定について報告。

④ 保健環境部長から、平成5年度北海道開発
関係予算要望事項について説明。

⑤ 平成5年度北海道開発関係予算要望事項に
関する中央折衝の実施を決定。

⑥ 請願・陳情について、今後付託されるもの
を含め閉会中継続審査の申出をすることを決
定。

⑦ 精神障害者の社会復帰・福祉施策の充実に
関する意見案の発議を決定。

⑧ 所管事務について、閉会中継続調査の申出
をすることを決定。

商工労働観光委員会

○4月7日（火） 開議 午後1時15分
散会 午後1時46分
第8委員会室

委員長事故のため

副委員長 伊達 忠一（自民）

一 般 議 事

- ① 第1回定例会で採択された意見案に関する中央折衝の実施を決定。
- ② 商工労働観光部長から、北海道小売商業振興指針の概要について説明。
- ③ 企業局長から、滝下発電所の概要について説明。
- ④ 滝下発電所視察調査の実施を決定。
- ⑤ 商工労働観光部長から、商工労働観光部の組織機構の一部改正について説明。

○5月12日（火） 開議 午前10時15分
散会 午前10時22分
第8委員会室
委員長事故のため
副委員長 伊達 忠一（自民）

一 般 議 事

- ① パートタイム労働者の労働条件の改善等に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 商工労働観光部長から、テクノポリス函館開発計画変更承認について報告。

○6月2日（火） 開議 午後1時20分
散会 午後1時36分
第8委員会室
委員長事故のため
副委員長 伊達 忠一（自民）

一 般 議 事

- ① 滝下発電所に関する調査の実施概要の報告を了承。
- ② 商工労働観光部長から、「北の技術開発ネットワーク基本計画」の概要について説明。
- ③ 商工労働観光部長から、平成3年度本道観光客入込み調査の概要について報告。

○6月15日（月） 開議 午後1時44分
散会 午後1時47分
第8委員会室
委員長事故のため
副委員長 伊達 忠一（自民）

一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、第2回定例会提出

予定案件について説明。

○7月3日（金） 開議 午後5時21分
散会 午後5時32分
第8委員会室
委員長事故のため
副委員長 伊達 忠一（自民）

一 般 議 事

- ① 請願、陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ③ 商工労働観光部長及び企業局長から、平成5年度北海道開発関係予算要望の概要を説明。
吉川貴盛委員（自民）から質疑
- ④ 平成5年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

農 政 委 員 会

○4月7日（水） 開議 午後1時32分
散会 午後2時8分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

一 般 議 事

- ① 酪農畜産振興施策に関する件及び外国産馬の出走制限緩和に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成4年度畜産物価格等について報告。
- ③ 農政部長から、2月24日の明田辰義委員（自民）の質疑に係る合併農協の運営状況に関し説明。
明田辰義委員（自民）から質疑

○5月12日（火） 開議 午前10時19分
散会 午前10時24分
第7委員会室
委員長 大野 新生（自民）

請願・陳情の審査

陳情第11号

エゾシカ食肉化等に関する件 (議決不要)

陳情第14号

エゾシカの食肉化と被害防止対策に関する件
(議決不要)

一 般 議 事

- ① 農業事情調査に関する道外調査の実施を決定。
- ② 農政部長から、農作業の進捗状況について報告。

○6月2日(火) 開議 午後1時29分
散会 午後1時34分
第7委員会室
委員長事故のため
副委員長 上田 弘(社会)

一 般 議 事

- ① 前回の委員会で決定した道外調査は、諸般の事情により延期したことを報告。本件については、改めて計画することを了承。
- ② 平成4年産麦の政府買入価格等に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況について報告。

○6月15日(月) 開議 午後1時52分
散会 午後1時58分
第7委員会室
委員長 大野 新生(自民)

一 般 議 事

- ① 稲作経営の安定に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 農政部長から、平成4年産麦の政府買入価格について報告。
- ③ 農政部長から、農林水産省から「新しい食料・農業・農村政策の方向」が発表されたことを報告。
舟山広治委員(社会)から要望

○7月3日(金) 開議 午後5時17分
散会 午後5時34分
第7委員会室
委員長 大野 新生(自民)

請願・陳情の審査

請願第1号

ホツカイドウ競馬専用場外発売所を薄野に開設することに反対する件 (議決不要)

請願第2号

道営競馬札幌場外馬券発売所をススキノ周辺地区に開設することに反対する件
(議決不要)

陳情第1号

道営競馬場外馬券発売所の札幌都心部(ススキノ地区)への移設推進に関する件
(議決不要)

陳情第2号

薄野地区道営競馬場外発売所設置反対に関する件
(議決不要)

陳情第8号

道営競馬札幌場外発売所の西創成地区(南6条西5丁目)への移設推進に関する件
(議決不要)

一 般 議 事

- ① 稲作経営の安定に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成4年産米の政府買入価格について報告。
- ③ 農政部長から、農作物の生育状況について報告。
- ④ 農政部長から、平成5年度農業関係国費予算要望事項について報告。
- ⑤ 平成5年度農業関係国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

建 設 委 員 会

○4月7日(火) 開議 午後1時35分
散会 午後1時53分
第4委員会室
委員長 勝木 省三(自民)

請願・陳情の審査

請願第43号
道営住宅の家賃値上げ中止を求める件
(議決不要)

請願第46号

道営住宅家賃の値上げ撤回を求める件
(議決不要)

請願第47号

92年度道予算における公共料金引上げ反対に
関する件 (議決不要)

一 般 議 事

- ① 北海道開発審査会委員に、勝木省三委員長(自民)を推薦。
- ② 釣部 勲委員(自民)から質疑
 - (1) ゼロ道債に対する認識について
 - (2) ゼロ国債及びゼロ道債の発注に対する考え方について

○5月12日(火) 開議 午後1時40分
散会 午後1時59分
第4委員会室
委員長 勝木 省三(自民)

一 般 議 事

- ① 住宅都市部長から専決処分予定事業について説明。
石井孝一委員(自民)から質疑
- ② 土木部長から北海道の川づくりについての提言に関する報告。
渋谷澄夫委員(社会)から質疑

○6月2日(火) 開議 午後2時4分
散会 午後2時31分
第4委員会室
委員長 勝木 省三(自民)

一 般 議 事

- ① 土木部長から海の祭典開催に関する報告。
- ② 住宅都市部長から専決処分に関する経過報告
- ③ 石井孝一委員(自民)から質疑
 - (1) 道の公共事業早期発注の実績及び地元に対する発注状況について
 - (2) 労働時間短縮に伴う賃金体系の見直し及び工期の設定について
 - (3) 公共事業の積算に係る地域補正と労務単価について
 - (4) 共同企業体の運用基準について
大島一郎委員(社会)から石井委員の質問に対する答弁に関する委員会の取扱いについて発言。

○6月15日(月) 開議 午後1時50分
散会 午後2時8分
第4委員会室
委員長 勝木 省三(自民)

一 般 議 事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 土木部長から共同企業体について説明。
- ③ 釣部 勲委員(自民)から質疑
 - (1) 浦河ダムの工事請負契約について
 - (2) 道道美深中頓別線の工事費の補正額について

勝木委員長から、釣部委員の質疑は定例会提出予定案件にかかわるものであるもので、この取り扱いについては後日理事会で協議する旨発言があり、これを了承。

○7月3日(金) 開議 午後5時15分
散会 午後5時50分
第4委員会室
委員長 勝木 省三(自民)

前回の委員会における釣部 勲委員(自民)の質疑に対し土木部長から答弁。

付託案件の審査

議案第7号

空港整備事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件 (原案可決)

議案第8号ないし議案第10号

工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第13号

財産の取得に関する件 (原案可決)

報告第10号

専決処分報告につき承認を求める件

(承認議決)

一 般 議 事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、平成5年度北海道開発関係予算について説明。
石井孝一委員(自民)から質疑
- ② 平成5年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 北海道住宅対策審議会委員に、勝木委員長、佐々木隆博委員(社会)、吉田恵悦委員(公明)、高橋一史委員(自民)を推薦。
- ④ 所管事務について閉会中継続調査の申出を

することを決定。

水産林務委員会

○4月7日(火) 開議 午後1時20分
散会 午後1時38分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- ① 韓国漁船操業問題に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 林務部長から、北海道みどりの環境づくり計画について説明。

○5月12日(火) 開議 午後1時39分
散会 午後1時51分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- ① 水産部長から、専決処分予定事業について説明の後、了承。
- ② 水産林務事情に関する道外調査の実施を決定。

○6月2日(火)
開議 午後1時35分
散会 午後1時47分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- ① 水産林務関連施設に関する道内調査の実施を決定。
- ② 水産部長から、専決処分について報告。
- ③ 水産部長から、さけ・ます流し網漁船等の操業違反に関し報告。

○6月15日(月) 開議 午後1時44分
散会 午後1時47分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

一般議事

- 水産部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月3日(金) 開議 午後5時14分
散会 午後5時33分
第2委員会室
委員長 吉野 之雄(社会)

付託案件の審査

報告第3号

専決処分報告につき承認を求める件
(承認議決)

一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、平成5年度水産林務関係国費予算に関する主要事項について説明。
- ② 平成5年度水産林務関係国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 請願、陳情について、今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

文教委員会

○4月7日(火) 開議 午後1時20分
散会 午後1時35分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

- ① 教育長から教育庁機構改革について説明。
- ② 教育長及び企画管理部長から北海道生涯学習推進基本構想骨子について説明。

○5月12日(火) 開議 午後2時5分
散会 午後2時30分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀(自民)

一般議事

- ① 教育長から、道立高校の建設工事に係る工事請負契約締結の専決処分について説明。
- ② 高橋定敏委員(自民)から質疑。
小樽市松ヶ枝中学における日の丸奪取事件に係る、小樽市教育委員会の処分について
- ③ 浅野俊一委員(公明)から質疑。
(1) 新学習指導要領における、英語以外の外国語の取扱いについて

- (2) 東京都等、他の都府県の外国語教育の現状について
- (3) 新学科集合型高校における外国語教育及び新教育長期総合計画の後期実施計画における英語以外の外国語教育の位置付けについて
- (4) 道内私立高校の第二外国語導入状況及び道の支援方策について
- (5) 道内の市町村等のロシア語講座の開設状況及び道の支援方策について
- (6) 道の日本語教師の国外派遣状況及びサハリン州における日本語教育のニーズについて
- (7) 新教育長期総合計画の後期実施計画策定に当たって国際交流の重要性認識について

○6月2日（火） 開議 午後1時45分
散会 午後1時57分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

一般議事

- ① 教育長から道立高校の建設に係る工事請負契約の知事専決処分について報告。
- ② 浅野俊一委員（公明）から質疑
サハリン州に対する日本語教師の派遣について

○6月15日（月） 開議 午後1時45分
散会 午後1時51分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

一般議事

- 教育長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月3日（金） 開議 午後5時40分
散会 午後6時18分
第10委員会室
委員長 酒井 芳秀（自民）

付託案件の審査

議案第5号

北海道学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案（原案可決）
中川義雄委員（自民）から質疑

- (1) 職員団体との交渉経過
- (2) 交渉がまとまらないうちに条例提案した理由
- (3) 本条例附則第3項に関する人事委員会意見に対する考え方。

報告第4号ないし第9号

専決処分報告につき承認を求める件

（承認議決）

一般議事

- ① 教育庁企画管理部長及び総務部学事課長から平成5年度北海道開発関係予算について説明。
- ② 平成5年度北海道開発関係予算に関する中央陳情の実施を決定。
- ③ 請願・陳情について今後付託されるものを含め、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ④ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

特 別 委 員 会

総合開発調査特別委員会

○4月8日(水) 開議 午前10時24分
散会 午前10時29分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘(自民)

○ 道内調査の実施を決定。

○5月13日(水) 開議 午前10時28分
散会 午前10時36分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘(自民)

① 自然保護課長から、美々川流域自然環境調査について報告。

② 地域開発事情に関する道内調査の実施概要の報告を了承。

○6月10日(水) 開議 午後2時7分
散会 午後3時45分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘(自民)

① 企画振興部長から、千歳川放水路計画について報告。
酒井 芳秀委員(自民) 及び 大橋 晃委員(共産) から質疑

② 企画振興部長から、北海道新幹線について説明。
中崎昭一委員(自民) から質疑

○6月15日(月) 開議 午後3時18分
散会 午後3時23分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘(自民)

○ 企画振興部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

○7月3日(金) 開議 午後6時35分
散会 午後6時48分
第1委員会室
委員長 久田 恭弘(自民)

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 企画振興部長から、平成5年度北海道開発関係予算の概要の説明。
- ③ 平成5年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

石炭対策特別委員会

○4月8日(水) 開議 午前10時22分
散会 午前10時31分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)

① 商工労働観光部長から、新石炭政策開始年度にあたっての今後の取り組みについて説明。

② 岩崎守男委員(社会) から質疑
北炭真谷地電力所離職者への緑の手帳の交付について

○5月13日(水) 開議 午前10時15分
散会 午前10時24分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)

○ 商工労働観光部長から、石炭鉱業構造調整基本計画及び平成4年度石炭鉱業合理化実施計画について説明。

○6月3日(水) 開議 午前10時20分
散会 午前10時30分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)

○ 商工労働観光部長から、空知産炭地域総合発展機構について報告。
石川十四夫委員(道政) から要望

○6月15日(月) 開議 午後2時24分
散会 午後2時26分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)

① 大野新生委員(自民) が補充選任された旨報告。

② 議席の 変更を決定。(大野 新生委員(自

民))

山口真人委員(自民)から要望、小野寺勇
委員(自民)から質疑

- 7月3日(金) 開議 午後6時32分
散会 午後6時34分
第5委員会室
委員長 谷川 英雅(社会)
- 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関
する意見案の発議 及び 中央折衝の 実施を決
定。

北方領土対策特別委員会

- 4月8日(水) 開議 午前10時28分
散会 午前10時38分
第3委員会室
委員長 水岡 薫(自民)
- ① 5月13日に北方領土対策特別委員会協議会
を開催することを決定。
- ② 領対本部長から北方四島交流推進事業の概
要について説明。

- 5月1日(水) 開議 午後1時5分
散会 午後1時13分
第3委員会室
委員長 水岡 薫(自民)
- ① 北方領土返還促進中央要請及び請願の実施
に関する報告を了承。
- ② 領対副本部長から北方四島交流推進事業の
実施に関する説明。
- ③ 領対副本部長から北海道・サハリン州対話
集会の開催に関し説明。
- ④ 北海道・サハリン州対話集会へ理事以上の
派遣を決定。

- 6月3日(水) 開議 午前10時27分
散会 午前10時50分
第3委員会室
委員長 水岡 薫(自民)
- ① 領対本部長から北方四島交流推進事業の実
施に関する報告
小池 昌委員(社会)から要望
- ② 領対本部長から北海道・サハリン州対話集
会の開催に関する説明

- 6月15日(月) 開議 午後3時20分
散会 午後3時27分
第3委員会室
委員長 水岡 薫(自民)
- 領対本部長から、第2回定例会提出予定案
件について説明。

- 7月3日(金) 開議 午後6時30分
散会 午後6時43分
第3委員会室
委員長 水岡 薫(自民)
- ① 北海道・サハリン州対話集会出席に関する
報告を了承。
- ② 領対本部長から北海道・サハリン州対話集
会の実施に関する報告。
- ③ 領対本部長から平成5年度北方領土対策関
係国費予算に関する主要要望事項について説
明。
- ④ 平成5年度北方領土対策関係国費予算に関
する中央陳情実施を決定。

エネルギー問題調査特別委員会

- 4月8日(水) 開議 午前10時42分
散会 午前10時47分
第5委員会室
委員長 中川 義雄(自民)
- ① 後志管内(北電泊発電所)調査の実施を決
定。
- ② 商工労働観光部長から、北電泊発電所二号
機定期検査の実施に関し説明。

- 6月3日(水) 開議 午前10時40分
散会 午前10時42分
第5委員会室
委員長 中川 義雄(自民)
- 後志支庁管内における調査の実施概要の報
告を了承

交通安全対策特別委員会

- 4月8日(水) 開議 午前10時23分
散会 午前11時10分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- ① 生活福祉部長から当面の交通安全運動の取り組みに関し説明。
 - ② 警察本部交通部長から平成4年3月末の交通事故発生状況について報告。
 - ③ 伊藤政信委員(社会)から質疑
道央自動車道における玉突き事故について
 - ④ 水野重男委員(民政)から質疑
高速道路における事故の救済対応について

- 5月13日(水) 開議 午前10時30分
散会 午前10時37分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- 警察本部交通部長から、スパイクタイヤ使用禁止指定地域内における交通事故の発生状況について報告。

- 6月3日(水) 開議 午前10時21分
散会 午前10時32分
第2委員会室
委員長 大島 一郎(社会)
- ① 生活福祉部長から、当面の交通安全運動の取り組みについて説明。
 - ② 警察本部交通部長から、平成4年5月末の交通事故発生状況及び交通死亡事故抑止対策について報告。

過疎地域振興対策特別委員会

- 4月8日(水) 開議 午前11時28分
散会 午後零時35分
第1委員会室
委員長 工藤 万砂美(自民)
- ① 地域振興室長から、過疎地域市町村の追加

公示について報告。

- ② 地域振興室長から、平成3年度市町村振興補助金の交付状況について説明。
- ③ 湯佐利夫委員(自民)から質疑
過疎問題について
関連して、新沼 浩委員(自民)から質疑

- 5月13日(水) 開議 午前11時23分
散会 午前11時47分
第1委員会室
委員長 工藤 万砂美(自民)
- ① 地域振興対策に関する道内調査の実施を決定。
 - ② 地域振興室長から、離島振興法の一部改正について説明。
 - ③ 岡本修委員(社会)から質疑
若者定住促進緊急プロジェクトの概要について

- 7月3日(金) 開議 午後6時55分
散会 午後7時5分
第2委員会室
委員長 工藤 万砂美(自民)
- ① 過疎地域状況に関する道内調査の実施概要の報告を了承。
 - ② 地域振興室長から、平成4年度過疎地域に係る道事業について報告。
 - ③ 平成5年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

道営競馬札幌場外発売所 問題調査特別委員会

○平成3年10月23日（水） 開議 午後4時59分
散会 午後5時8分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

正副委員長の互選

- ① 委員長に藤井猛委員（自民）、副委員長に岡本栄太郎委員（社会）を選出。
- ② 理事に久田恭弘委員（自民）、吉川貴盛委員（自民）、大内良一委員（社会）、谷川英雅委員（社会）、工藤啓二委員（公明）及び風早俊男委員（民政）を選出。共産党及び道政クラブについては、オブザーバーの扱いとすることを決定。

その他の議事

- ① 本委員会の会議録の作成は、速記法によることを決定。
- ② 委員会の運営に必要な事項については、理事会において協議することを決定。

○11月21日（木） 開議 午前10時12分
散会 午後4時11分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

- ① 議席を決定。
- ② 委員会運営について、出席説明員については、農政部長、同部担当次長、競馬管理室長、農政課長、競馬管理室参事とすること、必要な場合は、委員会の決定により、他の関係説明員の出席を求めることに決定。

質疑の方法については、通告により行うこと、一問一答方式による場合は委員長に申し出ること、発言の順位は一般質問に準じること、関連質問は質問項目を委員長に申し出、理事会に諮り決定することを決定。

傍聴は、委員会条例に基づき議員のほか、委員長の許可を得た者として、道政記者クラブ加入者は、身分を証明する社章・腕章を着用、提示することにより許可したとみな

す扱いとすることを決定。

調査の過程において、資料を必要とする場合、理事会で協議を行い、委員会で決定の上要求すること、その他、委員会運営上必要な事項については、理事会で協議の上決定することを異議なく決定。

- ③ 当面の調査日程を決定。
- ④ 道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する問題の件を議題とし、農政部長から配付資料に基づき経過を説明。午前10時29分休憩、午後1時45分再開し、質疑に入り
- ⑤ 小野寺 勇委員（自民）から、場外開設に当たっての執行体制、知事に説明した「基本的事項」の内容と知事の所掌、知事の下承を得た項目、62年5月の幹部会議での開設場所に対する知事の意見、直営の開設方式に対する知事からの懸念の意見表示の有無、節目ごとの知事等への報告状況、状況把握、競馬運営委員会が附属機関としてつくられたときの目的、同委員会で審議する内容、場外馬券場についての同委員会への諮問状況、諮問の決裁権者、同委員会への諮問の有無、現在の運営委員会の状況、委員を任期切れのままにしていることの根拠・理由、条例違反の有無、同委員会に2回目の諮問をした時点での候補地、候補が1カ所しかないのに諮問した理由、開設場所にかかる重要な事項を知事から正式に諮問しなかった理由、諮問の必要性への疑義と諮問した理由、開設場所に関する関係者の具体的意見、具体的な他の候補地、関係者の名前等、競馬関係の団体が異論を唱えたことへの疑義、札幌市内場外発売所の概要（案）に関連して部内での場所特定の疑い、知事が直営に対する懸念を示した後に開設方式を諮問する理由、知事の下承を得ないで諮問した理由、賃貸方式、開設方式について改めて知事の諮問機関にかける必要への疑義と諮問による効果、委員会に賃貸有利の資料を出した理由、賃貸の方へ誘導と思われることへの見解等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。（小委員会での直営・リース方式の比較にかかる論議内容への疑問について答弁保留）

○11月22日（金） 開議 午前10時40分
散会 午後6時42分
第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 昨日の小野寺 勇委員（自民）の質問に対する農政部長の答弁の後、引き続き、

② 小野寺 勇委員（自民）から、63年から諮問完了の答申の間の地権者や協力会への接触状況、設計図の提出方、63年時点での賃貸料に関する聞き取り、土地の権利関係についての関係者からの聴取、経過報告の中で登記簿が持ち込まれた時期を明記しなかった理由、63年12月に地権者側に直接接合の有無、3月15日中村屋での話をセッとした人、3月3日に持ち込まれた文書の提出方、5月22日頃賃貸料の件について旭観光を訪問したことの有無、3月13日と15日に会った時の話の内容、根抵当権の抹消についての相談の有無等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁の後、小野寺委員から、旭観光㈱佐藤専務、同社課長及び競馬協力会山口事務局長への参考人出頭の措置要求があり、午後3時6分休憩、午後6時41分再開し、直ちに散会。

○11月28日（木） 開議 午後3時22分
散会 午後3時55分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

① 委員長から、11月22日の小野寺 勇委員（自民）からの措置要求については、理事会で協議の結果、委員長預りとし、小野寺委員の質疑を続行することを諮り、異議なく決定。

② 小野寺 勇委員（自民）から、63年12月26日に旭観光へ行った結果と事実の確認状況、片手落ちと思われる調査方法に対する見解、「薄野地域での空地等の情報提供―空地等の一覧表持ち込み」がなされた経緯等、3年11月6日の旭観光リースへ渡した開設断念の文書のありか、当文書の旭観光リースの受理の有無、根抵当権が抹消された経過等について質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁の後、小野寺委員から、3人の参考人のうち、佐藤専務と協力会の山口氏の2人については、

是非招致されたい旨再度措置要求があり、理事会で協議することとした。

○11月29日（金） 開議 午後4時55分
散会 午後6時34分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

① 委員長から、本委員会の当面の調査日程は本日までとなっているが、理事会で協議の結果、12月3日から6日まで、引き続き調査することをはかり、異議なく決定。

② 昨日の委員会における小野寺 勇委員（自民）の措置要求の取り扱いについて、理事会協議の結果、下記のとおり取り進めることに決定。

(1) 小野寺委員の措置要求の扱いとしては、別紙お手元に配付のとおり、参考人の出席要求を行うこととする。

出席を求める参考人

佐藤健市会社役員、山口邦人団体役員

(2) 小野寺委員の質疑は、その時点まで保留し、他の質問を続行することとする。

参考人出席要求に関する議長への申し出については、委員長に一任した。

③ 質問者の順位の変更について了承。

④ 高橋 定敏委員（自民）から、場外馬券発売所の諸問題に関し、62年5月25日の幹部会で狸小路の候補地を懸念した人、懸念に対する出席者の反論等意見、会議の結果の三副知事調整を指示した人、幹部会議の持ち方、出席者の範囲、協議事項の決定責任者、狸小路断念の知事指示の有無、大谷地への参加意思決定の知事の了解の有無、63年9月に断念決定の際の知事の了解の有無、断念した経緯、薄野の候補地情報が入った時期と大谷地参加意思決定との時期、大谷地断念前の薄野への腹固めの有無、薄野への知事の意向等について高橋 庸委員（社会）から、馬券発売所問題に関し、当該地6の5の旭観光の所有面積、62年秋の旭観光の所有面積、62年との差の土地の買収状況、62年12月1日の開設予定面積と旭観光の所有面積との差及び土地所有状況把握の方法、開設予定面積と旭観光の買収との関係、63年の内部案が2年の計画で大き

く変更されている理由、当初案との開催経費の違い、当初案と開設計画案との賃借料の積算、賃借料問題についての協議の状況、立体駐車場についての3月15日の話の内容、馬券場と立体駐車場との一体整備への考え、駐車場建設についての3月15日の道の意見、63年11月登記簿写しによる抵当権の確認の有無等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長及び競馬管理室長から答弁。

○12月3日（火） 開議 午後4時21分

散会 午後5時9分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 大内良一委員（社会）からの質疑通告の取り下げについて報告。

② 桜田 正明委員（自民）から、場外馬券発売所に係る諸問題に関し、北海道道営競馬協会の性格・概要、事業予算の規模等、競馬協会関係者と旭観光リースとの関係とその確認方法、協会が道に建築図面を持ち込んだ経緯、元年1月26日の設計事務所と旭観光との打ち合わせ時の道の関与、競場事務所としての参画の有無、元年1・2月の協力会、建築事務所と打合せ指示した文書の提出方、賃借料に係る財政課との協議内容とその時期、元年1月時点での地権者との具体的打合せの有無等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。（検討に当たって使用した賃借料の資料・金額について答弁保留。）

○12月4日（水） 開議 午前11時36分

散会 午後5時13分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 農政部長から、昨日の桜田 正明委員（自民）の質疑について答弁。

② 桜田 正明委員（自民）から、図面の発注者に対する受け止め、認識、設計事務の経費への認識、相談に参画している道としての経費負担への認識、設計料の負担者、建設断念した場合の地権者と協会からの損害賠償請求

の可能性、候補地の特定と図面作成時の道の関与、道義的責任、行政の進め方としての妥当性、6の5の建設を再検討する余地、副知事・競馬管理室長・農政部長の各引継書の提出方、6の5建設について札幌市の同意を得られないと判断した理由と時期、反対者に対する説得工作の状況、公式説明会を4回しか行わず水面下工作で失敗したことへの見解、道の公式運動・説得の状況、副知事が特定の関係者に仲介を依頼した理由、重野地区労議長が仲介した経緯、地区労が建設反対を撤回した理由、地区労指摘の問題への道の回答を同日了解したことへの疑義と他の要因、全道庁の開設についての考え方、地区労の中止要請撤回における阿部秘書の関与、知事の指示の有無、反対者の地区労議長が場外開設の進捗状況を心配する理由等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。（重野氏に会った道側の人、道に申し入れた内容と内部協議の状況、重野氏へ協力依頼する旨を知事に報告した事実関係について答弁保留。）

○12月5日（木） 開議 午前10時48分

散会 午後零時20分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 農政部長から、昨日の桜田 正明委員（自民）の質問について答弁。

② 桜田 正明委員（自民）から、「反対側から解決を任された人」についての地区労議長の申し出、知事への「全体的な報告」の内容、会社役員（仲介者）についての報告の有無、知事に全体的報告をした時の知事の理解と指示、知事が重野氏へ依頼し重野氏が会社役員に反対側説得を依頼したとの見方への受け止め、重野氏が会社役員へ80万円を振込んだとの報道の事実確認、お金の性格・内容、会社役員へ貸した金の借用書の有無等について質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。桜田委員から、重野地区労議長の参考人出席の措置要求があった。

○12月6日（金） 開議 午後2時27分

散会 午後2時48分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する問題の件を議題とし、旭観光リース専務取締役佐藤健市参考人に対する質疑に入り

小野寺 勇委員（自民）から、道側の63年12月26日旭観光訪問の有無、来社の記録、土地の権利関係など道側との話し合いの経過、協力会の山口氏と旭観光との関係、賃貸料に係る63年の道側との接触の有無、道との接触の内容、土地登記簿を出した経緯、元年3月3日に開設見通しを道に文書で要望した理由、関係町内との駐車場等の協議状況、3月15日の中村屋の会談の内容、会談後の心証と駐車場建設の協定書との関係、根抵当権抹消の目的、抵当権抹消の意思決定に至った要因、三会派の協力文書の受け取り方法、2年10月6日札幌プリンスホテルの会合での出席者、会合の段取り、会合の内容、開設断念の通知文書を返送した理由、文書を一時預かりとした経緯、断念を承諾できない理由、断念となったことへの心境等について

高橋 庸委員（社会）から、62年秋に山口氏が旭観光を訪ねた時の話の内容、場外馬券場開設についての情報の有無、協力会が持って来た話の出所、協力会からの条件、旭観光から協力会へ平面図作成依頼の有無、作成依頼の時期、道営競馬場外馬券売場計画試算表への関与の有無と試算表への認識、敷地面積についての協力会との相談、63年10月以降の平面図作成依頼の有無、設計作成費の協力会負担の有無、旭観光と協力会の役割分担、協力会の関与の立場、旭観光が能動的に転換した時期、山口氏を旭観光の代理人とした時期と理由、元年3月3日付道へ文書を出した真意と道への心証、3月13日と15日2回に分けて道と話し合いを行った理由、道からの具体的返事、6の5への確定的な返事の有無、立体駐車場についての道への説明内容、立体駐車場建設の金融面での道への相談の有無、根抵当権について話を出した側、具体的話をした道側の氏名等、山口氏への三会派の文書提出依頼の有無、地権者の立場での抵当権の抹消と三会

派の文書との関連への疑問等について質疑、意見及び要望があり、佐藤健市参考人から答弁。

- ② 神戸典臣委員（自民）からの質疑通告の取り下げについて了承。

- ③ 大橋 晃委員（共産）から、協力会を旭観光の代理人とした契約書等の有無、設計費など先行投資の額、設計料の資金を協力会に貸した理由、62年秋作成設計図の貸付資金対象の有無、馬券売り場完成時の協力会への約束、賃貸料2万2千円を提示した時期と積算の根拠、道の開設計画案での賃借料算出への関与、三文書提出の依頼者、確約書を持って来た人物とその時の説明、三人の議員の氏名、三文書に対する現段階での評価等について質疑、意見及び要望があり、佐藤健市参考人から答弁があって、参考人佐藤健市氏に対する質疑を終了。

- ④ 山口邦人参考人（北海道道営競馬協力会事務局長）に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

旭観光と山口氏の関係に関し、63年に登記簿を道に持ち込んだ経緯と道からの依頼の有無、賃貸料についての63年の道との接触、賃貸料に対する道側の希望額、元年3月15日中村屋の話の内容、元年6月26日の道との接触の内容、設計図のできた時期、薄野の空地地図を道に持ち込んだ経緯、協力文書を持ち込むに致った経緯、三会派に相談することについての道側のアドバイス、協力文書作成における議員との接触、9月6日のプリンスホテルでの会合設定への関与、会合の内容、今の心境等について

高橋 庸委員（社会）から、ボランティア的団体との理解への見解、規約の「競馬開催についての協力」の具体的内容、場外馬券場の協力についての総会などの手続と協力の内容、設計業務等についての総会の承認、旭観光との関係に関し、62年8月27日の旭観光への話の持ちかけ方、設計図を道に持ち込んだ時期、設計図を作った時期についての佐藤氏との答弁の食い違い、旭観光との話し合いで個人として設計関係を行い貸付け支払ったことへの見解、設計の主体と責任、映像関係の

会社と接触した趣旨、北海道ステークスという会社名への心当たり、北海道ステークス建設構想への関与、第3セクター方式計画の承知の有無、具体的構想承知の時期、北海道ステークス設立の意思とその時期、構想実現のための具体的行為、第3セクター方式についての道からの依頼、三派協力文書作成時の根拠当権抹消担保の説明の有無、同文書作成の個人としての立場の有無、個人の立場とならない理由、協力会の協力の範囲、協力文書の中の「議会人」として協力会に協力する内容等について

神戸 典臣委員（自民）から、山口氏の立場及び道との接触の経過に関し、協力会の活動が2年7月下旬から10月上旬に停滞した理由、水面下の作業の内容、確認書の返戻に介在した理由と経過、文書返還についての道からの依頼と依頼者等について

大橋 晃委員（共産）から、協力会の2年度の決算、収入・支出、問題に取り組んできての現在の受けとめ、馬券売場ができた場合の会との話し合いの有無、第3セクター方式導入の場合の関与の話し合い、62年10月3日作成図面への見覚えの有無、代理人として委嘱されたことへの認識、3道議の誓約書作成における関与、抵当権抹消のための誓約書の必要性、3道議の氏名、議員と山口氏の金銭授受報道の事実の有無、具体的関係・つき合い、選挙等における金銭的応援などの依頼、今後の馬券売り場に対する見解等について質疑、意見及び要望があり、山口邦人参考人から答弁があって、参考人山口邦人氏に対する質疑を終了。

○12月21日（土） 開議 午後零時16分
散会 午後零時18分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

- ① 今後の審議に関する件について、理事会で協議のとおり、現時点で審議の進め方を改めて、(1)まず、小野寺 勇委員（自民）の保留となっている質疑を行うこと、(2)小野寺委員の質疑終了後は各党派代表者による質疑を行うこととすることを決定。

- ② 12月5日の委員会において、桜田正明委員（自民）からの措置要求については、取り下げる旨の申し出があったことを報告。

- ③ 今後の調査日程について、1月23日・24日及び27日の3日間とすることを決定。

- ④ 本委員会の調査事件について、閉会中継続調査とする旨、議長に申し出ることを決定。

○4年1月23日（木） 開議 午前11時15分
散会 午後4時14分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

- 小野寺 勇委員（自民）から、佐藤専務のいった「終戦処理」の内容と話し合いの状況、佐藤専務が「断念」を納得しない理由、経済的負担についての「終戦処理」の対象の有無、札幌市内の馬券場開設への見解、3候補地への取り組み進め方に統一性がないことへの見解、適正な手順を取った候補地、第3セクター方式の具体的内容・中身、行政としての取り進め方に対する見解等について

桜田 正明委員（自民）から、道営競馬札幌場外馬券発売所問題に関し、道警から事情聴取を受けた理事者と回数、時期と内容、協定書・確認書にかかる事情聴取の有無、副知事と阿部氏が会った日時と場所、知事の会社役員の会社名・役職名の承知の有無、会社役員についての部長の答弁と10月11日の一般質問での知事の答弁内容との違い、旭観光へ賃借条件にかかる文書を出した理由、会社側からの要求の有無と必要な理由、旭観光の土地取得と同文書との関係、第3セクターになっても北海道振興を関与させないとした文書（柚原メモ）を必要とした理由、公文書としての不適切さ、同文書の提出を求めた者、北海道振興の関与が望ましくないと発言した人物・日時・場所、理事者の判断等について質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。（柚原メモの内容と具体的根拠についての答弁保留。）

○1月24日（金） 開議 午前11時13分
散会 午後4時19分
第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 昨日の 桜田 正明委員（自民）の 質疑に対し、農政部長から答弁。

② 桜田 正明委員（自民）から、重野地区労議長が仲介役を引き受けた経緯、道の働きかけの有無、重野氏及び元会社役員への費用弁償等への考え、3年8月5日柚原メモを返却した人物、副知事との関係と名前公表による迷惑等の理由、2年6月18日暴追協への説明会での第3セクター的ビル設置会社設立と柚原メモとの整合性、協定書を必要とした理由、作成した数、協定書提出まで相談した人物、知事への相談の有無、論議の内容と問題点、柚原メモ・協定書を返却してもらう理由、重野氏の反対者側の委任状確認と副知事の協定書作成との事実関係、仲介者の会社役員がおりたいと通告し道が仲介継続を働きかけたとの話しの事実関係、2年10月2日に協定書の内容を再確認した確認書を必要になった理由、10月2日反対側の捺印のある委任状と協定書を見せた人物とその内容、コピーをとらなかった理由、委任状の委任者等の氏名、重野氏が以前に委任状を見た月日と方法及び重野氏から聞いた人物とその内容の同一性、確認書を重野氏に渡した翌日仲介をおけるといって来た理由、重野氏介在による疑惑と断念の原因及び仲介中止への見解、10月6日プリンスホテルでの会合の中身と参加範囲、会合で副知事が驚いたこと、10月20日ホテル日航千歳での会合の目的・参加者・範囲・内容、千歳の会合での反対側との交渉決裂の状況等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。

② 桜田委員から、当時の副知事、農政部長及び競馬管理室長を説明員として出席するよう措置要求があって、休憩の後、散会。

○ 1月27日（月） 開議 午後2時50分

散会 午後7時30分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 1月24日の桜田正明委員（自民）からの措置要求について、理事会で協議のとおり、各

派代表者の質疑終了後、明日、委員会を開催し、向田副知事及び柚原前競馬管理室長の出席を求め、質疑を行うことを決定。

② 桜田 正明委員（自民）から、柚原メモ・協定書・確認書の公文書該当の有無、公文書と認識しないで作成したことへの見解、協定書の原本の提出方、協定書の一通の副知事捺印の部分が切られている理由、切り取った人、10月2日副知事と競馬管理室長が見た反対側押印の協定書と本協定書が同一である可能性、10月2日互いに押印した協定書の1通をもらわなかった理由、協定書・柚原メモの決裁の有無、文書管理規程の決裁規定への該当の有無、決裁書類作成の必要性、場外馬券場の設置問題の決裁書類で副知事が判を押したものが無い状況、開設断念も農政部長が決裁権者である状況への疑義等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。

③ 桜田委員から、重野前札幌地区労議長及び斉藤暴追協会長の参考人出席について、措置要求があり、理事会で協議することを了承。

④ 高橋 庸委員（社会）から、馬券発売所問題に関し、63年5月の設計図をつくった会社への調査結果、建設会社の計画試算表など添付書類作成の有無、第3セクター方式の会社の出資団体など検討の概要、第3セクター方式での山口氏の役員就任持ちかけの有無、山口氏の管理会社設立時にかかる前管理室長の決裁、本会社に関連してしかるべき人から柚原氏への照会の有無とその時期、3年5月協力会関係者が一部変更の平面図を持って来た内容、土地利用計画変更の意味、削減した土地の利用計画、協力した地権者と西創成親和会に対する今後の対応等について

工藤 啓二委員（公明）から、場外発売所問題に関し、今回の場外発売所の開設に当たっての基本的考え方、今回の計画について知事が札幌市長に協力依頼する必要性と実施しなかった理由、道が協力会を介さず地権者と直接交渉する必要への見解、近隣町内会や暴追協の反対運動への粘り強い努力の必要性、地元町内会・近隣町内会・暴追協など関係者間での話し合いの場の設定及び札幌市への対応

の協力依頼の必要性、地区労議長の仲介ルートでの問題解決見通しへの見解、多くの指摘や批判への受けとめ、第三者を介せず真正面から努力する必要性、開設断念となったことへの認識、馬券発売所問題についての今後の対応等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。

風早 俊男委員（民政）から、道営競馬発売所問題に関し、今日の事態を迎えての行政の進め方への反省点、今回の場外発売所について知事に状況報告や判断を仰いだ時期とその内容、協力会に場外発売所の候補地探しを依頼した道の人物・時期と依頼内容、競馬競力会と道とのかかわり、依頼の有無、63年12月26日競馬事務所長が旭観光を訪ねたとの佐藤、山口両参考人発言の事実の有無、旭観光を最初に訪ねた時期、元年12月の旭観光への訪問者と話しの内容、根拠当権抹消の話が農政部参事から出たとの佐藤参考人発言の事実の有無、元年3月15日旭観光が土地の内容について説明したとの事実関係、6の5旭観光所有の土地面積と抵当権抹消にかかる面積及び予約地面積、予約地の法的意味と仮登記の有無及び旭観光の所有となった経過、元年3月15日中村屋会談での抵当権抹消と候補地の話しが道から出たとの山口参考人発言の事実関係、63年5月登記簿謄本と地籍図を道に提出との山口参考人発言の事実関係、立体駐車場への道の意思関与の有無、元年6月26日の話し合いの内容にかかる山口参考人発言の事実関係、農政委員会の実際開催日と常任委員会開催日の決定機関、3会派協力文書に関連して柚原室長から3議員に相談するよう依頼があったとの山口参考人発言の事実関係、山口参考人セットの2年9月6日会合の日時と打合せに至った経緯、翌日柚原室長から反対派との話しが難しいと聞いたとの事実関係、2年9月7日柚原室長の出張先と用件、証明書類の提出方、設計を山口氏に依頼した道の人物、3年5月の反対請願書の有効性への受けとめ、薄野地区開設にかかる昨年3定の知事答弁と本委員会の部長報告の違いに対する見解、今後の開設に当たって今回の問題を参

考とした取り組みへの見解等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長及び柚原前競馬管理室長から答弁。

大橋 晃委員（共産）から、場外発売所問題に関し、重野前議長が道に頼まれて仲介者となったとの報道記事の事実関係、仲介にかかわる接触した最初の日、7月中旬重野氏とA氏、道幹部と会ったことの事実関係、阿部政務秘書が副知事に会ったとの3定での知事答弁と先日の部長答弁との意味合いの違い、阿部秘書の立場、阿部秘書が知事の意を受けたか知事が了解したと考えることへの見解、阿部氏への確認の有無、阿部秘書が重野氏に80万円振込んだとの報道の事実関係確認結果、知事の「第三者を入れると混乱する」との発言に関連し重野氏の第三者への該当の有無、阿部氏も反対派の地区労説得という仲介の役割りを果たしたことへの見解、3道議の協力文書提出にかかる道の働きかけ、議員からの相談等の有無、一部の道議と金銭授受があったとの報道と山口参考人発言への認識等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。

③ **大橋委員**から、重野元地区労議長及び阿部政務秘書の参考人出席の措置要求があって、理事会で協議することを了承。

④ **木村 澄男委員（道政）**から、場外発売所問題に関し、薄野地域の情勢を把握する努力の欠如への見解、行政機関として第三者の競馬協力会関係者を介させたことの問題への受けとめ、道が重野氏を窓口とするルートに頼った問題への見解、北海道地方競馬運営委員会の委員の早急な選定力、今回の経験を踏まえた場外発売所設置への取り組み等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁。

○1月28日（火） 開議 午後2時50分

散会 午後6時52分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 向田副知事及び柚原前競馬管理室長（現開拓記念館副館長）に対する質疑に入り、

桜田 正明委員（自民）から、63年12月26日旭観光リースを訪問し馬券売場の対象地として意思表示したことの真偽、元年3月3日の旭観光リースの文書を見ての疑問点や相手への照会の有無、山口氏に中村屋の会合その他で3道議を窓口にするよう示唆したとの発言の事実関係、警察から事情聴取された中身、協力会関係者との会食の件聴取の有無、協力会関係者との会食の有無、2年10月5日協力会山口局長を通じ確認書を受けた際の名刺裏書きをした事実の有無、2年6月18日ノースティでの反対者の理由・意見等、地権者にかかわっての指摘、地権者の持っている6の5の土地への開設反対の意味、知事が決裁権者となった場外競馬関係の文書が一つもないことへの見解、昨年7月以降馬券場問題で度々報道された件について幹部会議での話題の有無、説明会での馬券場開設への決意表明や水面下工作时反対派を刺激しないよう推進派の動きを抑える働きかけの有無、オーナー及び賛成派が開設を期待したものが水面下工作で失敗し断念したことへの批判の受けとめ、重野元地区労議長が協力した経緯、重野氏からの申し出を一度断り反対側説得のため阿部氏を通じて改めて仲介を依頼したこととの事実関係、2年9月5日副知事と地権者との会合にいたる経緯、副知事が2通の協定書に先に押印し重野氏に渡した理由、10月2日確認書を渡した時点で協定書を受け取らなかった理由、協定書を返却した副知事の知人、10月6日プリンスホテル会見の招集者、協議の内容、出席者、委任状と協定書に斉藤会長が押印したことを否定したことへの見解、2年10月20日千歳ホテル日航での招集者、出席者、会議の内容、同会合で「反対側から出された仲介者とのかかわりの話に大半を費した」との意味、道側から暴迫協幹部に失礼な発言をし決裂したとの批判の事実関係、馬券場開設断念についての現在の所感等について質疑、意見及び要望があり、向田副知事及び柚原前競馬管理室長から答弁。

② 小野寺 勇委員（自民）から、関連質問を行いたい旨発言の後、休憩し、理事会で協議の結果、許可することとし、大橋 晃委員（共

産）の質疑終了後、行うことを了承。

3. 大橋 晃委員（共産）から、8月6日以前に重野前議長と会ったことの有無、7・8月時点での接触と仲介の話しの有無、協力文書に関連して山口氏との話の中で3道議の名前を出したことの有無、3人の道議の名前を出した話の内容、根抵当権に関連して山口氏から文書を要求されたことの有無、6の5に馬券場設置を約束するよう話があったこととの事実関係、警察から事情を聞かれたことへの感想とその理由、12月21日副知事が重野氏と会談した場に阿部秘書を同席させた理由、阿部秘書が知事と関係なく個人でかかわったことへの疑義と事実関係及び感想、個人的に行ったことへの確認の有無、重野氏と元会社役員とのやりとりの過程などにおける阿部氏関与の有無、私印文書を渡すなどの行為に対する見解、知事が第三者を入れないよう指示したことへの副知事としての感想、警察から事情聴取を受けた内容と対応及び直接かかわった副知事としての受けとめ等について

関連して、

小野寺 勇委員（自民）から、警察から事情聴取の上司への報告の有無、文書での報告の有無、レイアウト打合せへの元競馬室長及び参事のかかわり、元年3月3日旭観光の開設見通しにかかる文書受理までの間の経緯、元年3月15日旭観光と協力会との会合を持った理由、文書で回答できない理由と会合との関係、副知事公宅での部外者との会議、柚原メモ・協定書・確認書を返却するよう依頼された人と返却方法、確認書を返してもらった友人、メモ返却を依頼した人、確認書を返すよう依頼の有無、確認書返却の際の名刺での預かり証発行の有無、確認書回収の必要性、公宅での話し合いの内容、善後策を話し合う必要性、地権者等との善後策打合せの話の内容、反対側との会合前に地権者と打合せで検討した条件変更の中身、協定が取り交わされていない時点での確認書の提出と回収した理由、協定書が切り取られて返った訳を聞かなかった理由と受理した理由、協定書を最初に受け取った道側の人間、協定書の押印部分が

切り取られたことへの見解等について
質疑、意見及び要望があり、向田副知事及び柚原前競馬管理室長から答弁。

- ④ 昨日の委員会の桜田委員及び大橋委員の措置要求について、理事会で協議とのおり、2月7日重野前札幌地区労働組合協議会議長の出席を求め質疑を行うことを決定。

重野氏以外の参考人については、日程等の都合により、引き続き、理事会で協議することを了承。

○2月7日（金） 開議 午前10時13分

散会 午前11時48分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 市民科学研究機構理事長 重野 廣志 参考人（前札幌地区労働組合協議会議長）に対する質疑入り、

桜田 正明委員（自民）から、元年11月に地区労議長として場外馬券場設置の反対要請をした理由、設置反対の方針が一カ月で変わった理由、阿部氏と日高地区労から反対撤回の申し入れがあったことへの見解、阿部氏が重野氏に頼んだとの雑誌記事の真偽、仲介の労をとった経緯、仲介の労の地区労組織決定の有無、仲介者と重野氏が接触したきっかけ、2人の人間関係、知事が阿部氏を通じて重野氏に問題解決を依頼したとの情報の事実関係、反対者側の委任状を確認したとの事実関係、委任状を見せられた相手と押印している人間、2年10月2日副知事と柚原氏が押印のある委任状と判のある協定書を見たことの事実関係、反対側との直接接触の有無、確認書のあて名を仲介者あてとした理由、10月2日に確認書を仲介者に渡し翌日に仲介打切とした理由、いわゆる薄野戦争があったとの発言への見解、警察からの事情聴取の回数・内容、仲介者に送金したお金の性格・方法・時期、送金についてのマスコミ報道の真偽、場外馬券場の問題で尽力した結果への感想等について

神戸 典臣委員（自民）から、道側から柚原メモ・協定書・確認書が渡されたことの有無、道側からの3文書の返還依頼の有無を受

けての具体的行動、返還の経過、確認書が戻ってくるまでの経緯等について

大橋 見委員（共産）から、阿部秘書が地区労に来た時の目的・状況など、知事の意向の有無とその確認の有無、2年8月6日以前の柚原氏との接触の有無とその内容、仲介者にお金を振り込んだ職員・人間、10月2日以降協定書と柚原メモに関与の有無、知事の第三者介入をやめ直接交渉せよとの指示への見解、仲介の努力と結果に対する見解、警察の事情聴取を受けた理由と感想、失敗したと考える他の原因等について

質疑、意見及び要望があり、重野参考人から答弁。

- ② 当面の調査日程について、2月18日及び19日の2日間とすることを決定。

- ③ 1月27日の委員会における桜田委員の措置要求について、理事会で協議とのおり、2月18日斎藤 鶴雄薄野地区 暴力追放運動 推進協議会会長の 出席を求め 質疑を行うことを決定。

- ④ 大橋委員から措置要求のあった阿部恭一氏の参考人招致の件は、引き続き、理事会において協議中であることを報告。

○2月18日（火） 開議 午前10時4分

散会 午前11時44分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 委員長から、参考人斎藤鶴雄氏から株式会社さいとう総務部長渡邊昭治氏の随伴申し出があり、理事会で協議の結果、これを認めることとした旨報告の後、了承。

- ② 薄野地区暴力追放運動推進協議会会長斎藤鶴雄参考人に対する質疑に入り、

桜田 正明委員（自民）から、会長をしている薄野地区暴追協の組織・構成等、薄野場外馬券場に反対した理由、暴追協の組織として反対決定した経過、反対決議後の道側からの働きかけ、道側以外からの馬券場推進にかかる働きかけ、2年の道側の公式説明会での内容と暴追協としての意見、北海道振興の関与なくば反対しないとの意思の有無、柚原メ

モを暴迫協が求めたことの有無、当初の反対姿勢の状況、元会社役員と暴迫協や町内会との接触の経過、元会社役員が反対運動について暴迫協から任されているとしたことの実事関係、反対運動を任せることの委任状への押印の有無、2年8月15日ロイヤルホストで元会社役員と会うまでの経緯と当日の状況、2年8月20日副知事と会った時の状況、協定書案が作成された経過、10月20日副知事等が協定書を見たことへの見解、確認書への見解、2年10月6日プリンスホテルでの副知事との会合の内容等、10月8日元会社役員と会ったときの状況、10月20日千歳ホテル日航で道側と急いで会う理由と打合せの内容、本会合が接触の決裂となったことへの有無、現在の感想等について

谷川 英雅委員（社会）から、隣の町内会への馬券場開設に反対する理由、豊水地区連合町内会に競輪車券売場がある現状と「競輪がよくて競馬がだめなのか」との意見への見解、仲介者への依頼の有無、相手からの報酬等要求の有無、反対運動等に対する信念・覚悟、2年8月仲介者が協定書等を入手した頃の接触状況、2年6月道の具体策提示への改善意見提出の有無と第三者が入らなければよいとの考えの有無、2年10月20日の道側との会合前の相談、会合決裂後の話し合い継続の可能性、札幌の場外発売所開設の必要性などに対する所見等について

質疑、意見及び要望があり、斎藤参考人から答弁。

③ 委員長から、永井利幸委員（自民）から質疑の取り下げの申し出があったことを報告の後、了承。

④ 大橋 見委員（共産）から、決裂する前の年の春・夏にかけての道側との対応状態、元会社役員から解決についての委任の話の有無と文書作成の有無、元会社役員との過去の関係、柚原メモを見たときの元会社役員の説明とそれに対する感想等について

質疑、意見及び要望があり、斎藤参考人から答弁。

○ 2月19日（水） 開議 午後4時12分

散会 午後4時13分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

○ 委員長から、理事会で協議の結果、明日も委員会を開くこと並びに明日の委員会に、説明員として向田副知事及び柚原前競馬管理室長の出席を求めることとしたことをそれぞれ報告の後、異議なく決定。

○ 2月20日（木） 開議 午後2時43分

散会 午後5時31分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

① 永井 利幸委員（自民）から、知事の母親の馬券場問題についての関与、重野氏に仲介を依頼した経緯についての副知事と重野氏の答弁の違いと事実関係、2年8月6日重野氏へ状況説明の際の仲介依頼の有無、重野氏が元年11、12月に馬券場問題にタッチしていないとの答弁と柚原氏と接触したとの答弁の事実関係、重野氏から仲介の話を持ち込んだことの実事関係、薄野戦争あるとの感触の根拠、道が正攻法をとらず水面下対策に入ることへの見解、2年10月20日日航千歳の会合で農政部長が証拠があると発言したことの意味、確認書・協定書・室長メモの返還を依頼した時期・依頼人と相手の名前、返却された経由・経緯、返却時の関係者の名前、協定書の判の部分を取り取った人物、2年10月1日から、4・5日までの協力会関係者（山口氏）との打合せの内容、10月3日山口氏からの前日の報告以外の打合せの有無、3日に山口氏から元会社役員の会合申し込みについての相談の有無、元会社役員へ会うことへの了解の有無、山口氏を元会社役員との会合後に競馬事務所に呼んだことの有無、山口氏への依頼の内容、10月5日確認書受け取りに際して山口氏が元会社役員に渡した金額、お金の性格、元会社役員への経済行為による確認書の返却見込、山口氏への返却のための対応依頼の有無、重野氏が手を引いたことと山口氏への元会社役員の接触との関係、確認書が依頼もしないのに戻った理由等について

質疑、意見及び要望があり、向田副知事及び柚原前競馬管理室長から答弁。

（経済行為の伴った確認書返却の状況と依頼によらない返却のための行為への疑義について答弁保留。）

② 理事会で協議のとおり、明日も委員会を開くことを決定。

○2月21日（金） 開議 午後2時1分
散会 午後5時15分
第1委員会室
委員長 藤井 猛（自民）

① 昨日の永井利幸委員（自民）の質問に対し、柚原前競馬管理室長から答弁。

永井 利幸委員（自民）から、重野氏に渡した確認書と引きかえに協定書を返すとの約束の不履行、10月8日元会社役員と斉藤氏が会合したとき道側職員が行っていたことの実関係、10月20日日航千歳で農政部長が証拠があると発言した背景が10月8日の会合であることの有無、本件にかかる現場写真所有と見たことの有無、山口協馬協力会事務局長への信頼等取り組みへの見解、2年10月13日副知事公宅での会合の内容、会合での垂れ幕の問題話題の有無、某道議の質問に関する件、反対陳情等取り下げによる斉藤会長と副知事との和解セレモニーの必要性、協定書及び元会社役員への提出書類の返却などに関する話の有無、元会社役員の経済行為関係の認知交渉は不可・阿部秘書からの経済行為に対する謝礼に伴う経済行為は不可能などに関する話の有無、解決に向けての金銭問題 承知の有無、元会社役員の成功報酬額、2年10月18日農政部長・柚原室長・伊與部氏・佐藤氏との会合の有無と内容、地権者からの低利融資協力依頼の内容、資金百億円の内訳、副知事の確約書交付申し込みの有無、反対の請願・陳情取り下げと副知事と斉藤会長との取り下げセレモニーなど確約書についての条件提示の有無、日航千歳での決裂後の札幌市内での会合のメンバーと内容、日航千歳での会合の状況と反対陳情の取下書実現への見通し、元会社役員の「火花が上がる」との具体的内容、10月22日農政部長室での柚原室長と山口

局長との話し合いの内容、仲介者からの道側の決裂釈明の求めや低利融資の確約書の見通しなどへの協議の結果、確約書についての条件協議の有無、場外馬券場着工予定時期とその推移、着工予定の延期などによる地権者の経済的苦痛訴えの状況、旭観光リースが作成したリスク計算内訳書の提出方、同計算書を見たことの有無、副知事押印の旭観光あて6億円の損失補償を見た人間の存在にかかる事実関係と内容、2年7月地主及び地元町内会からの回答ない場合の同意書取り下げ通告及び地主からの損害賠償請求に関し副知事の損失補償書等の提供要求の事実関係等について

質疑、意見及び要望があり、柚原前競馬管理室長、農政部長及び向田副知事から答弁。

② 永井委員から、再度、競馬協力会事務局長山口氏に参考人として出席の措置要求があり、理事会で協議することを了承。

③ 神戸典臣委員（自民）から、質疑通告を取り下げる旨申し出があったことを報告。

④ 大橋 晃委員（共産）から、重野氏からの仲介申し出までの道の働きかけ、仲介についての打診の有無、阿部氏の仲介的行動が個人の意思と確認したことの有無、北海道振興社の名前が出た具体的内容、道として北海道振興社を除いた判断への見解、柚原メモを出した背景と判断、協定書と柚原メモを仲介者から預けられた人物と同行してきた人物、名前をいえない理由、重野ルート打切り後の仲介者との直接接点の状況、千歳ホテル日航で懇談の内容、仲介者が内情を暴露することへの判断、道議の協力文書に関連して道議への示唆の有無等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長、向田副知事及び柚原前競馬管理室長から答弁。

⑤ 大橋委員から、仲介者といわれている元会社役員加藤茂氏の参考人招致の措置要求があり、理事会で協議することを了承。

○3月25日（水） 開議 午後3時38分
散会 午後3時39分
第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- 委員長から、本委員会における調査事件については、閉会中継続調査とするため、議長に申し出ることを諮り、異議なく決定。

○ 6月3日（水） 開議 午後1時58分

散会 午後2時12分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

開議に先だち、桜田正明議員（自民）の逝去（5月22日）について報告の後、1分間の黙禱を行った。

- ① 委員長から、参考人出席の措置要求の取り扱いについて、永井利幸委員（自民）から要求のあった山口邦人氏、大橋 晃委員（共産）から要求のあった阿部恭一氏及び加藤茂氏については、理事会で協議の結果、いずれも参考人として委員会へ出席要求を行わないこと、永井委員から要求のあった山口氏については、理事会に出席を求め、意見を聴取することと決定した旨報告の後、了承。

大橋委員から、参考人招致要求についての委員長報告について、反対である旨の意見を述べた。

山口邦人氏から意見を聴取する理事会は、日程などの関係から、去る5月22日に実施したこと、理事会では、措置要求者である永井委員が出席し、山口氏に質疑を行うことにより意見を聴取したこと、その結果については、配付資料のとおりであること、山口氏から発言に関連して資料提出があり、委員長が保管していることを報告。

- ② 農政部長から、札幌場外発売所問題にかかわっての最近の状況について、下記のとおり報告。4月6日に株式会社旭観光リースの役員が道庁を訪れ、知事あての申入書が提出された。

その内容は、同社は、昭和63年から今日までの四年有余にわたり、道の場外馬券発売所開設に協力するため、中央区南6西5の土地約602坪を空き地として具体的な準備活動を行ってきたことを理由として、道が、当初の予定どおり場外発売所の設置を再考して実現するか、同社の財産的損害を補てんしてく

れるかについて、4月10日までに回答してほしいこと、及び、誠意ある回答がない場合は、訴えを札幌地方裁判所に提起せざるを得なくなることとなっている。

道としては、4月18日付知事名で旭観光リース社長あて回答書を渡した。

その内容は、道としては、反対側の理解を得る努力をしてきたが、賛否両論がある中では札幌市の同意を得る見通しが持てないと判断し、これ以上結論を先送りできないことなどを総合的に考え、平成3年9月、当該地での開設を断念したこと。

このようなことから、当該地での開設については、再考の余地はなく、また、申し入れのあった損害の補てんには応ずることにはならないことを回答した。

その後、北海道競馬協会山口事務局長が道を相手に訴訟を起こし、5月2日に札幌地方裁判所から訴状の送達があった。

訴えの内容は、委任事務処理費用の立て替え金として、図面設計料4,570万円、文書回収に要した経費1,710万円、活動諸経費290万円、計6,570万円の支払を求めるとするものである。

なお、第1回の口頭弁論は6月16日となっている。

- ③ 本委員会の当面の調査日程について、理事会で協議のとおり、6月8日及び9日に委員会を開き、向田副知事及び柚原前競馬管理室長に出席を求め、理事者に対する質疑を行うことを決定。

○ 6月8日（月） 開議 午後4時17分

散会 午後4時54分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 委員の補充選任について、欠員となっていた本委員会の委員に、6月6日、議長から伊達忠一議員（自民）を補充選任した旨の通知があったことを報告。

- ② 委員の異動に伴う議席について決定。

- ③ 小野寺 勇委員（自民）から、事実解明に対する知事の具体的な指示内容、最初に南6西5の候補地があり運営委員会が隠れみので

あったとの認識の有無、発刊文書の手順や内容検討など行政事務執行上の問題点、関係する機関等への協力要請など対応状況、協力や理解を得られなかったところ、重野ルートの交渉の過程で 仲介者と 直接接触した 事実関係、10月8日加藤氏が暴走協定会合することの情報源、仲介者と道側の間接的つながりの有無、知事に報告をした内容と知事からの指示等について

質疑、意見及び要望があり、農政部長及び向田副知事から答弁。

（議会での馬券場関係質問にかかる経過説明や新聞報道に対する説明や知事からの事情聴取の有無などについて答弁保留。）

- ④ 理事会で協議の結果、本日の議事はこの程度にとどめ、引き続き 明9日に行うことを決定。

○6月9日（火） 開議 午後2時6分

散会 午後5時4分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 昨日の 小野寺 勇委員（自民）の 質問に対し、向田副知事から答弁。

小野寺 勇委員（自民）から、2年9月30日からの新聞連載に関連して競馬協力会についての知事への報告の有無、競馬協力会についての知事に説明の有無、重野氏が8月8日に仲介を申し出るまでの経過、重野氏に依頼したことが断念の大きな要因との考えに対する見解、申入書や関係者の道への訴訟及び地権者の損害など対応の不適切さ、地権者側に与えた心証と文書及び実際が一致していないことへの見解、10月20日ホテル日航千歳の決裂以降の対応、知事の指示・判断等、3月頃職員が警察に事情聴取された時点での知事への説明、その他結節時点での知事への説明の有無と知事の全部の実態承知の有無、知事の指示に対する実態解明の報告の有無、全庁的な体制がとれなかった理由、一連の不詳事、関係者への迷惑に対する所見等について

質疑、意見及び要望があり、向田副知事及び農政部長から答弁。

- ② 大内良一委員（社会）、神戸典臣委員（自

民）、樫林 巖委員（社会）及び永井利幸委員（自民）から、質疑通告を取り下げる申し出があったことを報告。

- ③ 大橋 晃委員（共産）から、山口氏の第3セクターの役員就任などの約束と500万円で確認書を取り戻したとの発言の事実関係、会社役員へ支払ったお金の性格についての山口氏の説明、500万円の金の性格・目的、支払いを裏づける領収書等確認の有無、書類返却についての山口氏への示唆の有無、副知事公宅での「知事の阿部秘書による謝礼に伴う経済行為は一切不可能」との道の希望について話し合いの内容、いろいろな話の中での阿部秘書の名前が出たことの有無、2年6月から10月の間論議の中での阿部氏の名前話題の有無、協定書返却に当たっての経済行為の有無、謝礼の捻出を特定の議員の名前を挙げ相談するよういったことの有無、相談した方が良かったとした他の議員の名前等について

質疑、意見及び要望があり、柚原前競馬管理室長及び向田副知事から答弁。

- ④ 大橋委員から、加藤茂氏（元会社役員）及び阿部政務秘書の参考人招致の措置要求並びに関根 建二議員（社会）、高橋 鉦議員（公明）及び木本由孝議員（自民）の弁明、反論等の場設定について意見、要望があり、大橋委員からの措置要求については、理事会で協議することを了承。

○6月19日（金） 開議 午後4時33分

散会 午後6時26分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 理事会において大橋 晃委員（共産）から、6月9日の委員会における発言の中で一部適切を欠いた点があったとして遺憾の意が表明された旨を報告。

- ② 参考人 出席の 措置要求の 取り扱いについて、6月9日の委員会で大橋委員から措置要求のあった阿部 恭一氏、加藤 茂氏については、理事会で協議の結果、いずれも委員会への出席要求を行わないことを報告の後、了承。

- ③ 昨日、関根建二議員（社会）から、本委員

会に参考人として出席した北海道道営競馬協
力会事務局長山口邦人氏の発言に関し、上申
書が提出されている旨報告。

- ④ 山口氏の発言にあった会派に対応をお願い
していた件について、自民党は、「会派とし
てかわりのないことで、特に申し上げるこ
とはない」、公明党は、「協力文書は出した
が、その他は一切ない」と、いずれも口頭で
話しがあったことを報告。

- ⑤ 理事会で協議のとおり、本日は、知事に出席
を求め、総括質疑を行うことを決定。

- ⑥ 知事に対する質疑に入り、

吉川 貴盛委員（自民）から、事実解明に当
たって直接指示しなかった理由、運営委員会
への諮問を知事に相談せずに行ったことへの
見解、運営委員会が隠れみのであったとの指
摘に対する見解と知事自身の責任、重野ルー
トなどへの副知事からの説明時期、雑誌の関
連記事を見たことの有無、新聞連載の記事を
見ての指示・事情聴取の有無、3文書を所定
の手続きを経ないで作成したことへの受けと
め、警察など関係機関の了解を得ないで反対
側の説明会に資料を配付したことへの受けと
め、知事自身の監督責任、重野ルートが断念
の大きな原因との考えの有無、部下が警察か
ら事情聴取を受けた事態への受けとめと部下
の報告に対する指示等、確認書が警察から返
却されない理由、副知事自身の責任のありか
た、知事の責任のとり方、今後の開設計画へ
の所見等について

質疑、意見及び要望があり、知事及び向田副知
事から答弁。

- ⑦ 小野寺 勇委員（自民）から、質疑通告を
取り下げる旨の申し出があったことを報告。

- ⑧ 大橋 晃委員（共産）から、重野ルートに関
連して重野氏への評価と指示、阿部氏の仲介
の労についての阿部氏及び副知事からの報告
等の有無、事前・事後の阿部氏からの話しの
有無、阿部氏の身分、阿部氏が仲介者に80万
円を振込んだとの報道の事実関係、阿部氏の
仲介役と第三者の介在云々との関係、阿部氏
仲介後への指摘の有無、阿部氏に注意等をし
なかった理由等、阿部氏が副知事に会った状
況に対する昨年3定の知事答弁と本委員会で

の部長答弁との違い、副知事に会った本当の
理由、副知事など担当者にとってきたやり方
への考え、解明されない問題が残っているこ
とへの考え、知事自身の責任を感じる点、知事
や関係者の責任を明確にする必要等について
質疑、意見及び要望があり、知事から答弁があ
って通告の質疑を終了。

- ⑨ 本委員会の質疑終了の件を問題とし、理事
会で協議の結果、意見の一致を見るに至らな
かったことを報告。

採決に入り、挙手多数をもって、道営競馬
札幌場外発売所開設計画に関する質疑を終了
することを決定。

本委員会の調査結果等に関する報告につい
ては、理事会で協議することを決定。

○ 6月30日（火） 開議 午後零時4分

閉会 午後零時13分

第1委員会室

委員長 藤井 猛（自民）

- ① 道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する
問題の件を議題とし、委員長から理事会にお
いて、本委員会における調査報告書及び本委
員会に付託された案件にかかわる調査の終了
について、各会派間で意見調整の結果、いず
れも意見の一致を見るに至らなかったことを
報告。

- ② 本委員会の調査報告書を問題とし、採決に
入り、本委員会の調査報告書について、配付
報告書のとおりとすることを諮り、挙手多数
をもって決定。

- ③ 本委員会に付託された案件の調査終了の件
を問題とし、討論に入り、大橋 晃委員（共
産）から 調査終了について 反対 討論があ
って、討論終結。採決に入り、本委員会に付託
された案件にかかわる調査について終了する
ことを諮り、挙手多数をもって、調査終了と
することを決定。

本件における委員長の口頭報告文について
は、委員長に一任することを決定。

- ④ 委員長から、付託案件の調査終了に当たり
あいさつがあって閉会。

調 査 経 過

年 月 日 (曜)	調 査 内 容 等
3. 10. 23 (水)	○正・副委員長の互選及び理事の選出 ○会議録の調製は速記法によることに決定 ○委員会の運営に必要な事項は理事会で協議することに決定 ○次回委員会の開催は、理事会に諮り決定することとし、委員長に一任
3. 11. 21 (木)	○議席の決定 ○理事会で確認した委員会運営について、次の申し合わせ事項を決定 1. 出席説明員の範囲。 2. 質疑の方法は、通告の形式により行う。 ただし、一問一答方式により質疑を行う場合は、委員長にその旨を申し出ること。 3. 発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること。 4. 関連質問は、質問項目を委員長に申し出、理事会に諮り決定すること。 5. 傍聴者は、委員長の許可を得た者とする。 6. 委員会として資料を必要とする場合は、理事会で協議し、委員会決定の上、要求すること。 7. その他、委員会運営上必要な事項は、理事会で協議し、決定すること。 ○当面の調査日程の決定 11月21日、22日、28日、29日の4日間 ○農政部長から経過に関する説明を聴取 ○調査事件に関する質疑 質問者 小野寺 勇委員(自民) ○小野寺委員から資料要求があり、理事者より提出
3. 11. 22 (金)	○質疑の続行 質問者 小野寺 勇委員(自民) ○小野寺委員から資料要求があり、理事者より提出 ○小野寺委員から参考人出席の措置要求があり、取り扱いを協議
3. 11. 28 (木)	○11月22日の小野寺委員からの措置要求については委員長預かりとし、小野寺委員の質疑を続行することに決定 ○質疑の続行 質問者 小野寺 勇委員(自民) ○小野寺委員から再度参考人出席の措置要求があり、取り扱いを協議
3. 11. 29 (金)	○当面の調査日程の決定 12月3日、4日、5日、6日の4日間 ○11月28日の小野寺委員からの措置要求については、12月6日に参考人の出席を求め、質疑を行うこととし、小野寺委員の質疑はその時点まで保留し、他の質疑を続行することに決定 ○質疑の続行 質問者 高橋 定敏委員(自民) 高橋 庸委員(社会)
3. 12. 3 (火)	○質疑の続行 質問者 桜田 正明委員(自民)
3. 12. 4 (水)	○質疑の続行 質問者 桜田 正明委員(自民) ○桜田委員から資料要求があり、理事者より提出
3. 12. 5 (木)	○質疑の続行 質問者 桜田 正明委員(自民) ○桜田委員から参考人出席の措置要求があり、取り扱いを協議

年 月 日 (曜)	調 査 内 容 等
3. 12. 6 (金)	○参考人に対する質疑 1. 株式会社旭観光リース専務取締役 佐藤健市氏に対する質疑 質問者 小野寺 勇委員 (自民) 高橋 庸委員 (社会) 大橋 晃委員 (共産) 1. 北海道道営競馬協会事務局長 山口邦人氏に対する質疑 質問者 小野寺 勇委員 (自民) 高橋 庸委員 (社会) 神戸 典臣委員 (自民) 大橋 晃委員 (共産) ○次回委員会の開催は、理事会に諮り決定することとし、委員長に一任
3. 12. 21 (土)	○今後の審議の進め方を次のとおり決定 現時点で審議の進め方を改め、 1. まず、小野寺委員の保留となっている質疑を行うこと。 1. 小野寺委員の質疑終了後は各派代表者による質疑を行うこと。 ○12月5日の桜田委員からの措置要求については、取り下げる旨の申し出があったことを報告 ○今後の調査日程の決定 1月23日、24日、27日の3日間 ○本委員会における調査事件は閉会中継続調査とするため、その旨を議長に申し出ることに決定
4. 1. 23 (木)	○保留質疑の続行 質問者 小野寺 勇委員 (自民) ○各派代表者による質疑 質問者 桜田 正明委員 (自民)
4. 1. 24 (金)	○質疑の続行 質問者 桜田 正明委員 (自民) ○桜田委員から、向田副知事、前農政部長、前競馬管理室長の説明員としての出席要求があり、取り扱いを協議
4. 1. 27 (月)	○1月24日の桜田委員からの措置要求については、各派代表者による質疑終了後、1月28日に委員会を開き、向田副知事及び柚原前競馬管理室長の出席を求め、質疑を行うことに決定 ○質疑の続行 質問者 桜田 正明委員 (自民) 高橋 庸委員 (社会) 工藤 啓二委員 (公明) 風早 俊男委員 (民政) 大橋 晃委員 (共産) 木村 澄男委員 (道政) ○桜田委員及び大橋委員から参考人出席の措置要求があり、取り扱いを協議
4. 1. 28 (火)	○向田副知事及び柚原前競馬管理室長に対する質疑 質問者 桜田 正明委員 (自民) ○小野寺委員から関連質問の申し出があり、大橋委員の質疑終了後、許可することに決定 質問者 大橋 晃委員 (共産) (関連質問 小野寺 勇委員 (自民)) ○1月27日の桜田委員及び大橋委員からの措置要求については、1名につき、2月7日に委員会を開き、参考人の出席を求め、質疑を行うことに決定
4. 2. 7 (金)	○参考人に対する質疑 1. 前札幌地区労働組合協議会議長 重野廣志氏に対する質疑

年 月 日 (曜)	調 査 内 容 等
4. 2. 18 (火)	質問者 桜田 正明委員 (自民) 神戸 典臣委員 (自民) 大橋 晃委員 (共産) ○当面の調査日程の決定 2月18日、19日の2日間 ○1月27日の桜田委員からの措置要求については、他の1名につき、2月18日に参考人の出席を求め、質疑を行うことに決定 ○参考人に対する質疑 1. 札幌市薄野地区暴力追放運動推進協議会会長 斎藤鶴雄氏に対する質疑 質問者 桜田 正明委員 (自民) 谷川 英雅委員 (社会) 大橋 晃委員 (共産)
4. 2. 19 (水)	○2月21日に委員会を開き、向田副知事及び柚原前競馬管理室長の出席を求め、質疑を行うことに決定
4. 2. 20 (木)	○調査事件に関する質疑 質問者 永井 利幸委員 (自民) ○2月21日に委員会を開くことに決定
4. 2. 21 (金)	○質疑の続行 質問者 永井 利幸委員 (自民) 大橋 晃委員 (共産) ○永井委員及び大橋委員から参考人出席の措置要求があり、取り扱いを協議 ○次回委員会の開催は、理事会に諮り決定することとし、委員長に一任
4. 3. 25 (水)	○本委員会における調査事件は閉会中継続調査とするため、その旨を議長に申し出ることに決定 ○次回委員会の開催は、理事会に諮り決定することとし、委員長に一任
4. 6. 3 (水)	○参考人出席の措置要求の取り扱いについて報告 1. これまでの委員会で永井委員及び大橋委員から措置要求があった参考人については、いずれも委員会への出席要求を行わない。 なお、永井委員から措置要求があった参考人については、理事会に出席を求め、意見を聴取する。 1. 意見を聴取する理事会は5月22日に実施した。 ○5月22日の理事会における意見聴取の要旨を報告 ○農政部長から最近の経過等について報告を聴取 ○6月8日及び9日に委員会を開き、向田副知事及び柚原前競馬管理室長に出席を求め、質疑を行うことに決定
4. 6. 8 (月)	○委員の補充選任について報告 ○議席の決定 ○調査事件に対する質疑 質問者 小野寺 勇委員 (自民)
4. 6. 9 (火)	○質疑の続行 質問者 小野寺 勇委員 (自民) 大橋 晃委員 (共産) ○大橋委員から参考人出席の措置要求があり、取り扱いを協議 ○次回委員会の開催は、理事会に諮り決定することとし、委員長に一任
4. 6. 19 (金)	○6月9日の委員会における大橋委員の発言に関し、理事会において大橋委員から発言があったことを報告 ○6月9日の委員会で大橋委員から措置要求があった参考人については、いずれも委員会への出

年 月 日 (曜)	調 査 内 容 等
	席要求を行わないことを報告 ○委員会等における山口氏の発言に関し、社会党・道民連合の関根議員より上申書が提出されたこと、自民党及び公明党から口頭により報告があったことを報告 ○本日は、知事に出席を求め、総括質疑を行うことに決定 ○知事に対する総括質疑 質問者 吉川 貴盛委員（自民） 大橋 晃委員（共産） ○本日をもって、道営競馬札幌場外発売所開設計画に関する質疑を終了することに決定 ○調査結果等に関する意見調整は、理事会において行うことに決定 ○次回委員会の開催は、理事会に諮り決定することとし、委員長に一任

予算特別委員会

○6月30日（火） 開議 午後4時31分

散会 午後4時41分

第1委員会室

委員長 大平 盛雄（社会）

正副委員長の互選

① 委員長に大平盛雄委員（社会）、副委員長に伊達忠一委員（自民）を選出。

② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。

③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿のとおり選出。

○第1分科会委員（15人）

伊藤 条一（自民）	釣部 勲（自民）
風早 俊男（民政）	高橋由紀雄（社会）
段坂 繁美（社会）	平出 陽子（社会）
佐藤 寛一（社会）	菅原 功一（自民）
高橋 文明（自民）	品山 博（自民）
湯佐 利夫（自民）	桜井 外治（自民）
森 敏捷（社会）	神本 三也（社会）
工藤 啓二（公明）	

○第2分科会委員（15人）

小原 葉子（社会）	上田 茂（自民）
山口幸太郎（自民）	乙川 節郎（公明）
佐々木隆博（社会）	伊達 忠一（自民）
野呂 善市（自民）	和田 敬友（自民）
綿貫 健輔（自民）	工藤万砂美（自民）
深田 義勝（社会）	菊地 芳郎（社会）
石川十四夫（道政）	樫林 巖（社会）
古川 靖晃（自民）	

また、各分科会に分科委員長のほか分科副委員長

1名を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことを決定。

⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。

⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答方式により行う場合は、委員長に申し出ること、発言の順位は、本会議における一般質問に準ずること、先議案件は一括して質疑を行うことを決定。

⑦ 委員外議員の発言の取扱いについては、議員からの発言の申し出があった場合、その都度委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の通告質疑、質問が終了後に発言を許可することを決定。

⑧ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

⑨ 本委員会の運営にあたり、正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置してその協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派についても理事会に出席願うことを決定。

第1分科会

○6月30日（火） 開議 午後4時42分

散会 午後4時52分

第1委員会室

第1分科委員長

佐藤 寛一（社会）

正副委員長の互選

① 分科委員長に佐藤寛一委員（社会）、分科副委員長に菅原功一委員（自民）を選出。

② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。

③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政、各1名計4名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、高橋文明委員（自民）、森 敏捷委員（社会）、工藤啓二委員（公明）、風早俊男委員（民政）を選出。

④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。

- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○7月2日(木) 開議 午前11時8分

散会 午後5時7分

第1委員会室

第1分科委員長

佐藤 寛一(社会)

① 公安委員会所管に対する質疑に入り、

大橋 見議員(共産)から、

暴走族対策について

- ・道内及び札幌市東区の現状
- ・騒音による間接的影響の把握
- ・暴走行為をさせない対策の取り組み
- ・暴走族と暴力団との関わり
- ・暴力団新法の施行による暴走族と暴力団の関係の変化の予想と対策
- ・ゼロヨン族の実態と対策
- ・車両を改造する業者の取り締まり対策
- ・住宅地などでの取り締まりの状況
- ・監視体制強化の必要性
- ・自衛的な組織の実態と対応

等について、質疑、意見及び要望があり、道警本部交通部長、交通指導課長及び交通部参事官から答弁があって、公安委員会所管及び企業局所管に対する質疑を終結。

② 生活福祉部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏議員(共産)から、

1 障害福祉について

- ・障害の早期発見・早期療育に対する認識
- ・総合療育センターにおける母子入院の受け入れ状況等
- ・札幌肢体不自由児総合療育センターの機能の整備
- ・障害児に対する対策と総合療育センターに対する機能拡充

2 高齢者福祉について

- ・老人保健福祉計画策定指針の骨子に対する道の意見
- ・計画策定に当たっての本道の特殊性
- ・住民票を移した要介護老人の調査
- ・住宅の状況
- ・計画策定に当たっての住民参加
- ・民間委託の実態
- ・特別養護老人ホームの整備状況と増設計画

- ・施設での介護
- ・介護手当ての増額
- ・市町村の格差
- ・ホームヘルパーの労働条件等の格差是正
- ・在宅介護の進め方

3 アイヌについて

- ・私立高校入学金助成制度と民族年金制度
- ・アイヌ新法の見通し
- ・「国際先住民年」における国と道の取り組み
- ・文化遺産の保全・継承に対する認識
- ・アイヌ文化の地域性
- ・国立のアイヌ民族文化研究施設の設置
- ・道のアイヌ民族文化研究センターの設置
- ・国立のアイヌ民族文化研究施設との関係

等について、質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長、社会老人課長、障害福祉課長、総務課参事及び高齢化対策室参事から答弁があって、生活福祉部所管に対する質疑を終結。

③ 企画振興部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏議員(共産)から、

1 航空宇宙と風洞実験について

- ・ミサイル燃焼風洞実験の認識
- ・ATFの日米共同開発の認識
- ・研究施設で使用する冷却水の問題
- ・地下水利用を控えさせる所見
- ・航空宇宙関連実験施設の誘致活動状況
- ・風洞実験計画の撤回を求める所見

2 ゴルフ場対策について

- ・要綱適用外のゴルフ場計画の状況
- ・ゴルフ場計画の中止や凍結の有無
- ・鶴川及び突哨山のゴルフ場の状況
- ・手続きが進んでいないゴルフ場計画に対する指導の所見
- ・蘭越町のゴルフ場計画に対する指導

3 リゾート実態調査について

- ・補足現地調査結果の問題点
- ・事業遂行力への指導助言の内容
- ・収支計画に対する指導助言
- ・調査結果報告書をまとめ公表する所見
- ・現地調査を展開する所見

4 リゾート開発について

- ・神居山リゾート計画の見解
- ・サホロリゾート開発事業者と町との協定の締結への指導

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部

長、参事監、土地水対策課長、地域振興室長及び地域調整課参事から答弁があって、企画振興部所管及び選挙管理委員会所管に対する質疑を終結。

⑤ 人事委員会所管に対する質疑に入り、

石井 孝一委員（自民）から、

学校職員の週休二日制について

- ・「まとめ取り」の人事院規則の定め
- ・文部省訓令の定めの内容
- ・「まとめ取り」実施の全国状況
- ・条例案に対する意見のなお書きの理由
- ・昨年の人事委員会の報告のなお書きの理由
- ・報告のなお書きの趣旨

等について、質疑、意見及び要望があり、人事委員会委員長、事務局長及び公平課長から答弁があって、人事委員会所管に対する質疑を終結。

⑥ 保健環境部所管に対する質疑に入り、

石井 孝一委員（自民）から、

旧道立釧路病院跡地内における医療系廃棄物の投棄について

- ・放置されていた経緯
- ・付近の地理状況
- ・医療系廃棄物の処理方法
- ・感染性廃棄物の委託業者
- ・廃棄物の内容
- ・医療機関に対する指導方針
- ・責任の所在
- ・感染性廃棄物の取り扱い
- ・処理業者の取扱区分
- ・院内等における感染防止
- ・道立病院における医療系廃棄物処理施設
- ・道立釧路病院における医療系廃棄物の量
- ・感染性廃棄物の区分方法
- ・知事の一般質問に対する答弁

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長及び道立病院管理室長から答弁があった。

○7月3日（金） 開議 午前10時41分

閉会 午後零時57分

第1委員会室

第1分科委員長

佐藤 寛一（社会）

① 保健環境部所管に対する質疑の続行、

大橋 晃議員（共産）から、

1 ゴルフ場について

- ・道内のゴルフ場における農薬の使用状況

- ・事業者自らが行う農薬の使用実績等の発表
- ・農薬使用に対するデータの公表
- ・国土計画が士幌町で計画している大型ゴルフ場開発の状況

2 老人病院の制度について

- ・制度の改正内容
- ・重点指導病院の指定
- ・看護体制の充実に対する考え方
- ・定額制に対する見解
- ・適用除外の制度等
- ・道独自の除外規定

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、道立病院管理室長、成人保健課長及び環境調整課長から答弁があって、保健環境部、出納局及び監査委員所管に対する質疑を終結。

② 総務部所管に対する質疑に入り、

小野寺 勇委員（自民）から、

北方四島住民のビザなし交流事業について

- ・四島交流事業に対する二定補正の理由
- ・運営活動費に対する補正の理由
- ・島民相互の話し合いの実施経過
- ・千島連盟の概要
- ・対話集会の参加者の人選の経過
- ・暴力団員が参加し発言した事実関係
- ・暴力団員の人物像
- ・暴力団員を排除した事実関係
- ・対話集会の参加者名簿の提出時期
- ・暴力団員が参加し発言することになった経過
- ・公益法人の長としての適格性
- ・発言者の掌握の経過
- ・退去措置を取らなかった理由
- ・道としての責任に対する所見
- ・千島連盟への指導に対する所見
- ・推進委員会の体制の検討に対する所見

等について

大橋 晃議員（共産）から、

人事行政と骨髄バンクについて

- ・各県等でのドナー登録の休職の取扱いの対応状況
- ・札幌市での検討状況
- ・職務専念義務免除する考え

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、北方領土対策本部長及び人事課長から答弁があって、総務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

第 2 分 科 会

○ 6 月 30 日（火） 開議 午後 4 時 44 分
散会 午後 4 時 52 分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
野呂 淳市（自民）

正副委員長の互選

- ① 分科委員長に野呂善市委員（自民）、分科副委員長に深田義勝委員（社会）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、各 1 名計 3 名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、和田敬友委員（自民）、佐々木隆博委員（社会）、乙川節郎委員（公明）を選出。
- なお、道政については、オブザーバーの扱いとすることを決定。
- ④ 委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○ 7 月 2 日（木） 開議 午前 10 時 38 分
散会 午後 5 時 3 分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
野呂 善市（社会）

- ① 土木部所管に対する質疑に入り、
乙川 節郎委員（公明）から、
負担工事について

- ・公共事業における負担工事に対する所見
- ・JR との負担工事の取り扱い
- ・JR 以外との負担工事
- ・JR の負担工事の進捗状況
- ・JR の踏切改良工事の実績
- ・JR との負担割合

等について、質疑、意見及び要望があり、土木部長、

河川課長及び道路課長から答弁があって、土木部、土地収用委員会及び住宅都市部所管に対する質疑を終結。

- ② 農政部所管に対する質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、
動物検疫所について

- ・室蘭港の指定経過
- ・室蘭港の輸入実績
- ・苫小牧港の指定経過
- ・道と関係市との協議
- ・今後の指定要請に係る関係市との協議
- ・動物検疫に係る各港の機能分担
- ・関係道議への事前相談

等について、質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁があって、農政部、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

- ③ 商工労働観光部所管の質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、
小樽市スーパーチェーン、志賀桜町店の違法行為について

- ・志賀桜町店の出店と違法状況及び大店法第 3 条第 7 項の違反の場合の対応策
- ・平成元年 8 月 1 日東小樽町会会長等三者を立会人として、小樽桜町商店会並びに株式会社丸しめ志賀商店が締結した協定書に対する所見
- ・大店法に違反し改善命令に従わない場合における告発処分等の所見及び告発検討の考え方

等について、質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長及び商業流通課長から答弁があって、商工労働観光部、地方労働委員会及び林務部所管に対する質疑を終結。

○ 7 月 3 日（金） 開議 午前 10 時 45 分
閉会 午後 零 時 28 分
第 2 委員会室
第 2 分科委員長
野呂 善市（自民）

- ① 教育委員会所管に対する質疑に入り、

山口 真人委員（自民）から、

- 1 小樽市の通知表「あゆみ」について
- 2 小樽市内小中学校の道徳教育における副読本の利用実態について
- 3 小樽市内小中学校における学校訪問について

て

・経営訪問と指導訪問の実態

・小樽市立石山中学での校内暴力と学校訪問

3 小樽市内における学習指導要領の移行措置について

4 教育課程編成届出の状況について

5 国旗、国歌の実施について

・新学習指導要領移行時における北教組との確認

・小樽市立松ヶ枝中学校国旗引き下ろし事件等について、質疑、意見及び要望があり、教育長、生涯学習部長及び学校教育課長から答弁があって、教育委員会所管に対する質疑を終結。

② 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

○7月3日（金） 開議 午後2時42分

閉会 午後2時49分

第1委員会室

委員長 太平 盛雄（社会）

① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。

② 付託案件に対する意見の調整は、各派代表者会議において行うことを決定。付託案件に対する意見調整のため午後2時46分休憩、午後2時47分再開。

③ 各派代表者会議における意見調整の結果、意見の一致をみた旨報告の後、議案第1号を議題とし、原案のとおり可決することを決定。

④ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任することを決定。

⑤ 委員長から、付託案件の審査終了に当たり、あいさつがあって閉会。

決 算 特 別 委 員 会

○3年12月19日（木） 開議 午後3時26分

散会 午後3時34分

第5委員会室

委員長

大島 一郎（社会）

正副委員長の互選

① 委員長に、大島一郎委員（社会）、副委員長に、畠山 博委員（自民）を選出。

② 理事に、佐藤時雄委員（自民）、高橋文明委員（自民）、深田義勝委員（社会）、森 敏捷委員（社会）、伊藤武一委員（公明）、板谷 実委員（民政）を選出。

共産及び道政については、オブザーバーの扱いとすることを決定。

③ 委員会の申し合わせ事項について諮り、異議なく決定。

○申し合わせ事項

1 質疑の方法は、通告の形式によることとし、一括してこれを行うこと。

ただし、一問一答の形式により行う場合は、その旨を委員長に申し出ること。

2 発言の順位は本会議における一般質問に準ずること。

3 委員の交替は原則として認めないこと。

4 資料要求については、あらかじめ理事会において検討し、委員会の決定により行うこと。

④ 本委員会の運営方法及び審査日程については、理事会において協議することを決定。

○12月21日（土） 開議 午後零時36分

散会 午後零時47分

第5委員会室

委員長 大島 一郎（社会）

① 議席を決定。

② 報告第1号（平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件）を議題とし、総務部長から決算の概要について、代表監査委員から決算及び基金の運用状況に関する審査意見について説明。

3 決算審査のため必要な資料について、配付の項目により要求することを決定。

④ 要求資料について、1月9日までに提出することを決定。

⑤ 審査日程について決定。

⑥ 書面審査会の運営について

(1) 書面審査室は第2委員会室に設置し、使用時間は午前10時から午後5時までとする。

(2) 書面審査の方法は、従前の例により、決算法定書類、証拠書類及び委員会要求に係る提出資料の閲覧並びに関係部局からの説明聴取により行う。

(3) 書面審査室備え付け資料の室外への持ち出しは禁止することを決定。

⑦ 報告第1号の閉会中継続審査の申し出を行うことを決定。

⑧ 実質審議を行わない場合の出席説明員の範囲について、総務部長、出納局長及び監査委員事務局長とすることを了承。

○4月2月4日(火) 開議 午後2時38分

散会 午後2時40分

第1委員会室

委員長

大島 一郎(社会)

① 12月21日の委員会決定に基づく要求資料の提出があったことを報告。

② 今後の審査の日程について決定。

③ 22日以降は、委員会休会のため、書面審査室を閉鎖し、関係備え付け書類は一時返戻することを了承。

○3月25日(水) 開議 午後3時52分

散会 午後3時53分

第1委員会室

委員長 大島 一郎(社会)

① 今後の審査日程について決定。

② 平成3年第4回定例会から継続審査中の報告第1号について、閉会中継続審査の申し出をすることを決定。

③ 審査日程に基づき、4月1日から再び書面審査室を第2委員会室に設置することを了承。

○4月17日(金) 開議 午前10時17分

散会 午後4時23分

第1委員会室

委員長 大島 一郎(社会)

○ 報告第1号(平成2年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件)を議題とし、総体質疑に入り、

佐藤 時雄委員(自民)から、

1 横路道政2期8年の評価について

- ・20数項目の公約が達成されていないことへの認識
- ・公約をおおむね達成できたとの発言の意図
- ・戦略プロジェクト推進費予算の執行と行政効果

2 食の祭典の債務処理について

- ・債務処理にかかわる内部経費の節減状況

3 決算認定に伴う附帯意見について

- ・元年度に多額な不用額を生じたことへの見解
 - ・2年度に不用額を対前年比の半分に圧縮した原因と時点
 - ・個人道民税の収入未済が多い理由と徴収率を高めるための対応
 - ・不動産税、自動車税の収入未済が圧縮されない理由
 - ・収入未済圧縮のための取り組み
 - ・道税以外の不納欠損額の内容と理由
 - ・道税の滞納処分状況
 - ・不納欠損額を減少させるための努力
 - ・道営住宅使用料の滞納整理状況
 - ・財団法人北海道住宅管理公社などへの家賃徴収業務委託に伴う成果
 - ・徴収体制の整備検討
 - ・空き家対策と北広島団地の地域暖房料を定額制から従量制へ移行することへの対処
- 4 冬期増高経費措置事業について
- ・季節労働者の現状に対する認識
 - ・冬期に施工した工事量の推移
 - ・2年度冬期増高経費措置事業の工事の種類や工事量等
 - ・事業実施の経済効果と雇用効果
 - ・国など関係機関への働きかけと関係機関の対応状況
 - ・事業実施に対する見解と事業を拡大しない

理由

- ・ 冬期工事の技術的成果と今後の検討課題
 - ・ 土木関連の試験研究体制の整備
 - ・ 事業の取り組みへの決意
- 5 道立社会福祉施設の利用状況について
- ・ 道立社会福祉施設の定員割れの原因
 - ・ 入所定員割れ施設に対する職員配置の適正化
 - ・ 統廃合を含めた施設の今後のあるべき姿
 - ・ 利用率の低い施設の実態への受けとめ
- 6 平成2年度決算についての評価などについて

- ・ 平成2年度決算についての評価
- ・ 予算の効果、行政の成果を把握するためのチェック機能への見解と実施状況

等について、質問があり、知事、総務部長、住宅都市部長、土木部長、商工労働観光部長及び生活福祉部長から答弁。

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 道税と「納税者の権利」について
- ・ 2年度の更正処分額
 - ・ 更正処分の納税者への説明
 - ・ 納税者の申告を覆えす場合の反証明示など運営方針改定の必要性
 - ・ 納税者の請願書に対する対処
 - ・ 道として納税者の権利を盛り込んだ宣言を行うことへの見解
- 2 食祭、八幡問題について
- ・ 八幡氏が地裁において食祭の特別委員会での偽証したと証言したことへの確認方法
 - ・ 理事者側としての八幡氏との接触状況
 - ・ 証言に関連しての調査の有無
 - ・ 異例の登用をした八幡氏の現在の状況への見解
- 3 J R不採用等について
- ・ 地労委の救済命令の内容
 - ・ 道としてのJ Rへの働きかけや指導
 - ・ 救済命令の履行義務
 - ・ 中労委への早期解決要請
- 4 幌延町における砂利採取場と廃棄物処理について
- ・ 幌延町浜里地区における2年度の砂利採取の状況とこれまでの埋め戻し
 - ・ 砂利採取法上の廃棄物の埋め戻しの認否

- ・ 道外からの廃棄物搬入への見解
- 5 ゴルフ場、リゾート開発について
- ・ 「リゾート狂乱」の責任が道にあるとの報道記事への見解
 - ・ リゾート開発指針策定が遅いとの社説への受けとめ
 - ・ 指針策定以前の構想について指針に基づき指導する必要性
 - ・ 2年度のゴルフ場開発行為許可の状況
 - ・ トマム地区のリゾート開発に伴い村道を廃道し業者に使用させていることへの指導の必要性
 - ・ 地方自治法上必要な手続
 - ・ 開発業者がゴルフ場やスキー場用地を使用することを村が認めた日時等
 - ・ 村有地の業者使用についての地方自治法違反の有無
 - ・ 企業の社会的責任
- 6 環境保全について
- ・ ゴルフ場開発をアセス条例の対象とする必要性
 - ・ ゴルフ場開発規制の要綱施行以前の計画へアセスを求める考えの有無
 - ・ 暫定措置に基づく事業のうちアセスを実施していない事業に対してアセスを求める考え
 - ・ 国立・国定公園内のゴルフ場計画数
 - ・ ニセコ、屈斜路湖畔など公園内でのゴルフ場開発を抑えるよう指導することへの見解
- 7 浦臼リゾートについて
- ・ ウラウスリゾートを含めた2年度の保安林解除の実態
 - ・ スキー場等の開発を前提とした保安林解除を妥当と判断した理由
 - ・ 保安林解除に当たっての政治家からの働きかけ
 - ・ 全日販関係者からの保安林解除等についての働きかけ
 - ・ 契約のスキー場指定用途期日の履行違反に対する対応
 - ・ 契約解除を検討しなかった理由
 - ・ 公社から期間延長の申し出があったときの検討状況
 - ・ 保安林解除に先立って民有林直轄治山事業

- の指定地域から解除した理由とプロセス
- ・道営林局から知事に右狩地区全体計画の変更について協議あった内容とその回答
- ・全国における民有林直轄治山事業の指定数と指定を除外した数
- ・ウラウスリゾート問題の一連の経過や今後の展開への見解

8 産業・開発問題について

- ・新千歳空港ビルでの道産材の活用や障害者の作業所の展示コーナーなどの進展状況
- ・新千歳空港にカラマツなどの道産材を活用する必要性
- ・新千歳空港での道産品のPR方法
- ・福祉の店を共同作業所との共有の出店とすることへの見解
- ・福祉の店への運営補助の必要性及び空港ビルに賃貸料を無料にするよう申し入れる考え
- ・漁業金融対策費の2年度における減額補正と不用額を生じた理由
- ・漁業経営体質強化緊急対策事業の活用状況
- ・選別融資改善の指導の必要性
- ・制度資金の適切な融資への指導強化

9 佐川急便について

- ・佐川急便問題への認識
- ・札幌市の市道で荷物の積みかえなど違法行為への捜査等の実態
- ・免許を受けない路線運送や自動車台数の増などへの捜査状況

10 民間委託について

- ・道立高校ボイラー業務委託に係るボイラーマンの給与への指導の必要性
- ・業務委託事務取扱要綱の改正の必要性
- ・委託における賃金への指導の考え

11 財政問題について

- ・地方財政余裕論に対する認識
- ・教育、医療、福祉の2年度基準財政需要額と決算額
- ・衛生費における基準財政需要額と決算額との格差
- ・精神障害者共同作業所に対する助成を国に要求することへの見解
- ・決算と需要の関係における算定額の不足
- ・交付税の補正係数に対する認識

- ・道財政全体の一般財源充当との関連や算入率など実態調査を行い道民へ公表する必要性
- ・地方交付税制度の問題点
- ・特別交付税についての要望状況と措置結果
- ・地方交付税率の引き下げ問題への決意等
- ・超過負担への見解
- ・警察行政費の超過負担の理由と内訳
- ・信号機に係る事業費の超過負担の今後の改善方策
- ・学校水泳プール建設超過負担への認識
- ・福祉施設の超過負担改善に係る国への働きかけ
- ・「財政状況」の中での超過負担の実態など道民への周知方
- ・超過負担解消を国へ働きかける具体的方法

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、知事、地方労働委員会事務局長、商工労働観光部長、企画振興部長、保健環境部長、林務部長、生活福祉部長、水産部長、警察本部交通部長、教育庁生涯学習部長、出納局長、警察本部総務部長及び教育庁企画管理部長から答弁があって、総体質疑を終結。

○4月21日（火） 開議 午前10時12分

散会 午後1時50分

第1委員会室

委員長 大島 一郎（社会）

① 林務部所管に対する質疑に入り、 野呂 善市委員（自民）から、

- 1 森林・林業の状況認識について
 - ・森林・林業の危機への認識と本道森林・林業活動の状況
- 2 森林整備の促進について
 - ・造林や林道事業及び森林の総合利用の2年度事業の実績
- 2 みどりの環境づくりについて
 - ・みどりの環境づくり推進への取り組み
 - ・北海道みどりの環境づくり会議の提言内容
 - ・提言への受けとめと今後の具体化への取り組み
 - ・子供への教育に対する見解と取り組み
- 4 木立木地の造林推進について
 - ・木立木地の現状と推移
 - ・木立木地の造林計画と進捗状況及び今後の

方針

- ・未立木地の取り組み姿勢に対する問題とその理由
 - ・4年度実施の未立木地造林緊急対策奨励事業の目的、内容等
 - ・10年度までの同事業計画の前倒しの必要性
 - ・事業対象外の未立木地造林への対処
- 5 不在村森林対策について
- ・不在村森林所有者の実態
 - ・不在村森林における造林・間伐など施業の実施状況
 - ・不在村森林の施業対策
 - ・ふるさと森林活性化対策事業の成果と今後の見通し
 - ・林地流動化の検討結果を踏まえた取り組み
- 6 海岸線緑化保全事業について
- ・これまでの事業計画
 - ・62年度の事業計画変更の理由とその後の進捗状況
 - ・事業対象外とした区域への対応
 - ・民間所有地に対する土地対策
- 7 林業・木材産業の振興対策について
- ・産業としての林業の育成確立への見解とこれまでの施策
 - ・木材産業の体質強化や経営改善への対応状況と現状認識
 - ・自然環境の保全に関連して木材産業の経営安定への施策
- 8 林業行政への取り組みについて
- ・林務行政への取り組みの決意

等について、質疑、意見及び要望があり、林務部長、森林計画課長、みどり対策室長、同参事、森林整備課長、林業振興課長及び治山課長から答弁があつて、林務部所管に対する質疑を終結。

② 水産部所管に対する質疑に入り、

川村 正委員（自民）から、

- 1 沿岸漁業の振興について
- ・沿岸漁業振興に対する基本的な考え
 - ・海区別の資源増大への取り組み
 - ・日本海地域の振興に対する考え
- 2 沿岸漁場整備開発事業について
- ・沿整計画の1・2・3次計画の違いと現在の主眼
 - ・魚礁や増殖場造成事業の対象海域の条件

- ・魚礁の効果
- ・八雲地区の大規模増殖場が期待した成果を得られない原因とその対応策
- ・施設の維持管理と実態把握の方法
- ・効果の低下した漁場の復興への対応状況
- ・新たな漁場造成の期待されている開発手法と実現に向けて解決すべき課題
- ・津軽海峡や日本海でのミズダコ産卵礁設置への見通しと課題
- ・第3次沿整計画の進捗状況と進捗率を高めるための対応

3 栽培漁業の推進について

- ・本道周辺海域と遠洋などそれ以外の海域の漁業生産量の推移
- ・栽培漁業の対象である秋サケ・ホタテ・昆布の漁業生産量の変遷
- ・日本海、太平洋、オホーツク海の海域別栽培漁業の特徴
- ・栽培漁業の推進体制取り組みへの考え
- ・新たな栽培対象として期待できる魚種
- ・技術開発の現状と企業化の見通し
- ・福島町でのマツカワの技術開発への取り組み
- ・日本海栽培漁業センター構想の検討状況と結果
- ・ヒラメ増殖に対する取り組みが遅れている要因と将来的目標
- ・ヒラメ増殖技術開発事業のこれまでの成果
- ・鹿部のアワビ種苗生産がうまくいかなかった原因
- ・栽培漁業センター建設地選定の基本的考え方
- ・栽培漁業センター構想の4年度予算も調査費とした理由
- ・栽培漁業基金構想の検討結果
- ・栽培漁業センター構想との関連及び基金構想の将来的な展望
- ・センター構想実現に向けての今後の取り組み決意

等について

大橋 見委員（共産）から、

漁船漁業の負債対策について

- ・経営実態と負債の原因
- ・体質強化事業の2・3年度予算枠と貸付

状況

- ・利用状況が悪い要因
- ・資金を活用している漁協の数
- ・サケ・マス漁業の2・3年度における経営収支状況と見通し
- ・昨年春のサケ・マス価格の下落要因
- ・漁業経営体質強化資金活用についての単協などへの指導促進

等について、質疑、意見及び要望があり、水産部長、漁場整備課長、水産部技監、栽培漁業課長及び水産経営課長から答弁があって、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

○4月22日（水） 開議 午前10時22分
散会 午後4時15分
第1委員会室
委員長 大島 一郎（社会）

① 土木部所管に対する質疑に入り、

佐藤 時雄委員（自民）から、
土木の執行体制と土木工事の設計積算について

- ・事業量の推移と今後の見通し
- ・執行体制に対する認識
- ・職員の処理可能な事業量
- ・早期発注と職員配置
- ・技術職員の増員
- ・公共事業の執行体制の整備
- ・設計積算の電算化と効率化
- ・請負工事費の構成
- ・仮設備費の適正な積算
- ・仮設備費等検討委員会の構成
- ・工事現場に合った設計積算
- ・仮設備費の具体的積算方法
- ・技術職員の資質向上

等について

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 河川改修について
 - ・環境に配慮した整備
 - ・福島川の改修に伴う魚の生息環境の変化
 - ・福島川の自然復元
 - ・漁組や自然保護団体との事前協議のありかた
 - ・魚や鳥が住める川づくり
- 2 河川管理について

- ・道の管理河川の清掃状況
- ・河川愛護団体などの河川清掃の実態
- ・ボランティアへの補助制度

3 ゴルフ場と河川管理について

- ・行政監察結果の内容
- ・北海道ゴルフクラブの工事概要
- ・ポップナイ沢川での工事概要
- ・道河川条例違反の有無
- ・無許可工事に対する対応
- ・河川パトロールの強化策

4 平成2年度の土木部職員の再就職について

- ・再就職の状況
- ・再就職に対する認識
- ・再就職先に対する優先発注
- ・アルファ水工コンサルタンツの受注状況
- ・漁港関係の継続的な委託
- ・アルファ水工コンサルタンツの受注増の理由
- ・再就職に関する道民世論に対する見解

5 ダンプの過積載防止と運搬費の指導について

- ・運行の適正化に対する指導
- ・運搬費の適正化
- ・適正な消費税の転嫁
- ・運転者の建退共への加入促進
- ・白ナンバーに対する不当排除
- ・道とダンプ運転手と建設業界の話し合い

等について、質疑、意見及び要望があり、土木部長、管理課長、河川課長及び管理課参事から答弁があり、土木部及び土地収用委員会所管に対する質疑を終結。

② 住宅都市部所管に対する質疑に入り、

高橋 文明委員（自民）から、
土地開発公社に対する平成2年度の貸付金について

- ・公社の必要性と使命
- ・公社に対する貸付金の根拠
- ・平成2年度の用地取得計画
- ・貸付金の貸付条件
- ・初年度の全額貸付
- ・平成2年度の事業実績
- ・債務負担行為
- ・公社の受託業務
- ・土地開発推進委員会
- ・公社の用地取得業務

- ・公社の長期保有地の処分状況
- ・公社の執行体制
- ・公社への出向職員やプロパー職員の待遇
- ・公社に対する指導監督

等について

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 住宅問題と高齢者について
 - ・高齢化社会における住宅問題に対する認識
 - ・高齢者の住宅対策の基本
 - ・高齢者向けケア付き住宅の促進
 - ・一般道営住宅における高齢者向け対策
 - ・高齢者のための住宅改善
 - ・高齢者の持家対策
 - ・高齢化対応住宅設計指針
 - ・新たな融資制度
 - ・福祉サイドとの連携
- 2 ミツガ・CAA処理材について
 - ・CAA廃材処理の危険性
 - ・CAA処理材の使用実態
 - ・道立施設での廃棄処理等の取扱
 - ・住宅都市部所管事業における処置
- 3 歴史を生かすまちづくりについて
 - ・事業の実施状況
 - ・歴史的建造物の保全
 - ・函館市旧茶屋邸問題
 - ・函館市旧谷地頭小学校問題
 - ・新たな融資制度

等について、質疑、意見及び要望があり、住宅都市部長、住宅課長及び建築指導課長から答弁があり、住宅都市部所管に対する質疑を終結。

○4月23日（木） 開議 午前10時6分
散会 午後5時50分
第1委員会室
委員長 大島 一郎（社会）

① 農政部所管に対する質疑に入り

釣部 勲委員（自民）から、

- 1 農政の基本方針について
 - ・2年度の農政推進の基本方針
- 2 重点政策の推進について
 - ・2年度の施策の重点
- 3 地域農業のガイドポストについて
 - ・2年度のガイドポスト地域実践事業の取り組み状況

- ・事業実施による地域の取り組み状況
- ・地域農業システム化での取り組み事例
- ・ガイドポスト地域実践事業実施地区外での道の取り組み
- ・今後の取り組み

4 良食味米の生産流通について

- ・北海道米食味水準向上対策事業の2年度の実施状況
- ・生産条件の食味への影響
- ・土壌・気象条件の影響
- ・3年産における分析結果の活用
- ・その後の事業の実施状況
- ・低温倉庫の整備状況
- ・今後の取り組み
- ・「きらら397」の流通状況
- ・品切事態に対する認識
- ・今後の対応策

等について

大橋 晃委員（共産）から、

1 農地問題について

- ・ゴルフ場開発における2年度の農地転用状況
- ・過去3年の農地法違反事件の数と内容
- ・JRゴルフ場用地取得における農地法上の手続の有無
- ・土地代一部支払の疑義への調査の有無
- ・十勝モーターパーク構想の作成経過と内容
- ・農振農用地域における公共投資の状況
- ・モーターパーク資金計画の審査と判断状況
- ・工事代金の未払いなど新聞報道等に対する認識
- ・オープンの時期など進捗状況
- ・構想の実現性や採算性への見解
- ・巨大開発と優良農地転用に当たっての慎重な対応の必要性

2 担い手問題について

- ・後継者不足への認識
- ・後継者不足の背景と今後の予測
- ・花嫁対策
- ・後継者対策への取り組みの考え

等について、質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁があつて、農政部所管に対する質疑を終結。

② 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、

伊達 忠一委員（自民）から、

- 1 苫小牧東部大規模工業基地開発関連住宅団地の基本構想について
 - ・厚真及び早来地区の開発プランの公募と結果及び厚真地区の用地処分価格
 - ・近傍類地及び地価公示価格との比較並びに不動産鑑定評価額
 - ・フォーラム・パーク厚真の土地利用計画及びゴルフ場建設計画とゴルフ場開発規制要綱との関係
 - ・早来、鶴川地区の土地処分に関する今後の方針

- 2 北海道平和婦人会等への事務所の賃貸状況及び移転対策等について
 - ・北海道平和婦人会及び北海道母親大会連絡会の実態等と道立労働会館の一部の賃貸関係の発生状況
 - ・賃貸料徴収に関して当事者及び全道労協との関係
 - ・貸付物件の返還に関する当事者との協議経緯及び訴訟による解決を避けた事情並びに契約の解除事由に該当しないという法的根拠
 - ・今後、道が民間から借りて当事者に転貸する事務所の面積及び賃貸料等の概要と転貸しなければならない事情
 - ・当事者との契約の更新と立ち退きのための金銭補償の概要及び書面での処理状況等について

板谷 実委員（民政）から、
金融対策及び金融制度について

- ・商工労働観光予算の内容及び中小企業金融対策制度と振興資金貸付金の概要と必要性
- ・貸付金の融資利率及び金融機関の協調融資の実収利回りと協調倍率
- ・貸付金融制度の原資の預託金利及び利息徴集の根拠と必要性
- ・金融制度の変更の内容及び預託金利引下げによる道の持ち出し原資減との関係及び金融自由化

等について

大橋 見委員（共産）から、

- 1 石狩湾新港開発について
 - ・工業用地の分譲状況と契約不履行及び契約の改定並びに買戻しの基準及び買戻しの状

況

- ・石狩町新港西1丁目の土地を買い戻した状況及び国土利用計画法上の届出並びに不勧告通知等の内容
 - ・国土利用計画法違反の状況と買戻しの状況及び合意書の内容
- 2 出稼ぎ労働者対策問題について
 - ・道内市町村における出稼ぎ労働者の概要及び市町村が支出している対策費用と補助対象経費並びに比率と推移
 - ・出稼ぎ労働者への援護制度の概要及び労働者手帳の無料交付の状況
 - ・出稼ぎ労働者の健康診断の実施状況と健康診断料の補助改善と国への要望
 - ・季節移動労働者傷害保険共済制度への加入及び給付の状況並びに市町村が負担する補助額の拡大
 - ・出稼ぎ労働者の実態調査の実施と施策の改善
 - 3 鉄くずリサイクルの対応策について
 - ・鉄くずの価格の下落と滞留状況及び鉄リサイクル業界の現状
 - ・鉄くず回収業者の転廃業の実態と業者への資金融資の実施状況及び融資内容の改善方策の検討
 - ・鉄くず需要業者に対する買付け制限の撤廃、鉄くず混入率の引上げ等の要請

- 4 融雪用電力の利用促進について
 - ・第2融雪用電力制度の内容及び適用状況及び拡充と電力料金の引下げ要請
 - ・融雪用電力利用によるロードヒーティングの整備拡充と脱スパイクの促進

等について、質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長、企業立地推進室長、総務課長、商工金融課長、職業対策課長、工業振興課長及び資源エネルギー課長から答弁があって、商工労働観光部及び地方労働委員会所管に対する質疑を終結。

○4月24日（金） 開議 午前10時6分

散会 午後3時5分

第1委員会室

委員長 大島 一郎（社会）

- ① 生活福祉部所管に対する質疑に入り、
川村 正委員（自民）から、

- 1 ホームヘルプサービス事業について
 - ・ホームヘルパーの目標数値
 - ・平成2年度の不用額
 - ・平成2年度の予算措置
 - ・ゴールドプランによる目標数値の北海道への置き換え
 - ・目標達成に向けての考え方
 - ・新福祉長期計画の目標の見直し
 - ・地域福祉に対する取り組みの考え方
- 2 母子及び寡婦福祉資金特別会計について
 - ・資金の貸付状況及び償還率
 - ・償還率の低い理由
 - ・修学資金の償還率
 - ・償還促進の認識とこれまでの取り組み
 - ・償還に対する取り組み姿勢

等について

大橋 見委員（共産）から、

- 1 高齢者住宅問題について
 - ・高齢者の住宅問題についての基本的な認識
 - ・北海道の特性を踏まえた高齢者の住宅対策
 - ・高齢者向けケア付き住宅の促進
 - ・高齢者向け住宅の改善
 - ・老人福祉寮の建設及び利用の実態
 - ・福祉寮の利用方法
- 2 障害者交通対策について
 - ・交通アクセスに対する認識
 - ・駅でのエスカレーターの整備状況
 - ・J Rに対する働きかけ
 - ・自動券売機による切符の購入
 - ・障害者に優しい駅づくりに対する支援
 - ・今後の取り組み

等について、質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長、社会老人課長、障害福祉課長、児童家庭課長及び高齢化対策室参事から答弁があって、生活福祉部所管に対する質疑を終結。

② 保健環境部所管に対する質疑に入り、

川尻 秀之委員（自民）から、

北海道国際医療・産業複合都市構想の推進について

- ・補助金の目的
- ・医療関連企業調査結果と進出意欲
- ・店舗整備事業化調査の内容と結論
- ・構想の実現可能性
- ・構想の推進についての見解

- ・国立代用臓器開発研究センターの誘致
- ・高次医療治療センターの見通し
- ・総合的な機構づくりと体制づくり
- ・関連予算の認識
- ・今後の推進の考え方

等について

伊藤 武一委員（公明）から、

- 1 救急医療対策の取り組みについて
 - ・救急医療対策の取り組みと成果の認識
 - ・救急医療情報システムの実績と成果
 - ・医療INSの実績と今後の進め方
 - ・救急医療搬送体制事業の実績と成果
 - ・ドクターカー事業の実績と成果
 - ・今後の取り組み
 - ・救急救命士の受験状況と業務内容
 - ・養成機関の状況
 - ・救命救急センターの整備状況と補助金の実績
 - ・今後のドクターカー事業の実施
 - ・救命救急センターの対応状況
 - ・総合的な救急医療体制の整備
- 2 輸入食品の安全性の確保について
 - ・輸入食品の実態
 - ・イタリア産ワインへの対応
 - ・厚生省からの追加通知に基づく対応
 - ・イタリア産ワインの調査結果
 - ・ワインの検査

等について

大橋 見委員（共産）から、

- 1 産業廃棄物施設について
 - ・樽前ガロウ地区での最終処分場建設計画
 - ・(株)ホクハイに対する指導
 - ・美々川水系ベンケナイ地区の建設計画
 - ・汚水の処理方法
 - ・地下水への影響
 - ・美々川水系ベンケナイ地区の適地性等
 - ・アセスメントの指導
 - ・産業廃棄物の処理に係る指導指針
 - ・公害防止協定の締結
 - ・指導指針の改定
- 2 ゴルフ場開発について
 - ・東大沼におけるゴルフ場開発
 - ・鳥獣保護区の設定理由
 - ・野鳥の生息状況

- ・台場鳥獣保護区の生息状況
- ・鳥獣保護区内でのゴルフ場造成
- ・森林の伐採
- ・ゴルフ場開発に対する指導

3 檜山道立自然公園について

- ・生態学上の認識
- ・自然環境保全の重要性に対する考え方
- ・特別地域の拡大

4 乳幼児医療費の無料化制度について

- ・乳幼児医療費助成事業の概要と予算・決算
- ・道内市町村の独自の上乗せの状況
- ・市町村の持ち出し状況
- ・通院の対象年齢の引き上げ等
- ・都府県の実施状況
- ・市町村における歯科診療への給付状況
- ・口唇口蓋裂手術への医療制度の適用
- ・乳幼児の歯科保健医療対策
- ・札幌市における取り扱い
- ・歯科除外規定を削除した場合の道の負担額
- ・歯科除外規定の削除

等について、質疑、意見及び要望があり、保健環境部長、地域医療課長、保健予防課長及び自然保護課長から答弁があって、保健環境部所管に対する質疑を終結。

○5月14日（木） 開議 午前10時9分

散会 午後4時40分

第1委員会室

委員長 大島 一郎（社会）

① 企画振興部所管に対する質疑に入り、

川尻 秀之委員（自民）から、

新長期総合計画について

- ・目標達成度の評価
- ・産業構造の高度化の受けとめ方
- ・一人当たりの道民所得
- ・道民所得の水準の認識
- ・先端技術産業の立地動向
- ・先端技術産業の立地の進まない理由
- ・道と全国の経済成長率
- ・公共投資の割合の推移
- ・想定人口の達成可能の見込み
- ・人口動態の受け止め方
- ・長期展望モデルによるシュミレーションの結果と現状の認識

等について

大橋 見委員（共産）から、

1 国土法問題について

- ・土地取引の中止などの勧告の件数と内容
- ・無届け取り引きの実態
- ・胆振支庁が多い要因
- ・無届け取り引きに絡む宅建業者数
- ・広島町の無届け取り引きの調査と措置
- ・国土法の運用の今後の対応

2 ゴルフ場問題について

- ・国土法に基づく届け出に係る利用目的不価格の拒否の見解
- ・ゴルフ場規制要綱の改正の見解
- ・屈斜路湖畔のゴルフ場開発業者の指導
- ・ゴルフ場開発での広島町の住民の理解の受け止め方

3 リゾート問題について

- ・リゾート開発の現状の見解
- ・リゾート法に基づく地域指定の追加
- ・富良野・大雪リゾート構想の進捗状況と問題点
- ・ウラウス・リゾートの国土法違反の是正措置
- ・ウラウス・リゾート基本構想の策定の見解
- ・ウラウス・リゾートの許認可に関する要請などの有無

4 第三セクターの問題について

- ・道内の設立状況
- ・第三セクターの経営の実態
- ・釧路複合農業開発公社問題の認識
- ・指針を策定し対応する必要性

5 軍縮自衛隊問題について

- ・北方機動演習の実態
- ・SSMIの配備の経過と内容
- ・90式戦車の配備と道路管理問題の認識
- ・足寄弾薬庫の新設計画と進行の状況
- ・弾薬庫に係る協議の内容
- ・自衛隊の装備や演習をやめるよう申し入れる考え

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、経済調査室参事、企画室参事及び土地水対策課長から答弁があって、企画振興部及び選挙管理委員会所管に対する質疑を終結。

② 教育委員会所管に対する質疑に入り、

釣部 勲委員（自民）から、

- 1 北海道新教育長期計画について
 - ・前期5箇年の実績
 - ・高校における中途退学者の問題
 - ・学校教育における生徒指導の充実
- 2 教職員の人事異動と学校における年齢構成の適正化について
 - ・人事異動要綱及び要領に対する認識
 - ・渡島管内を例にした教職員の年齢構成
 - ・全道の市部と郡部の教職員の年齢構成
 - ・人事異動の実態と異動希望者に対する配慮
- 3 山村留学問題について
 - ・本道における実態と問題点
 - ・山村留学の振興
 - ・山村留学に係る調査研究

等について

板谷 実委員（民政）から、

高等学校入試について

- ・高校進学学区を52学区に変更した理由
- ・高等学校教育の機会均等
- ・高等学校の問口問題と私立高校の調整
- ・高校進学者数に見合った収容定員の確保と学区の見直し
- ・今後の望ましい高等学校のあり方
- ・高等学校の複式教育導入
- ・職業学科の定員と学区
- ・全道一学区制
- ・進路指導と学区
- ・高校進学希望者に対する意向聴取
- ・都市部における40人学級の導入
- ・進路指導時における教師の悩み
- ・道立高校の複数受験と全道一学区制
- ・帯広柏葉高校における2次募集
- ・北海道新教育長期計画と現行学区との乖離

等について

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 学校保健・給食について
 - ・札幌市におけるそばアレルギー訴訟判決
 - ・道の食物アレルギー対策
 - ・食物アレルギー児への対応
 - ・共同調理方式における代替食の提供
 - ・アレルギーに対する学校給食関係職員の研修
 - ・アレルギー児の実態

- ・道産小麦の使用状況
 - ・外国産小麦の使用状況
 - ・小児成人病のデータの全国平均との対比
 - ・小児成人病のチェック体制
 - ・成人病対策と食の教育
 - ・健康診断時における学校医の対応
 - ・学校医の報酬引上げ
- 2 中国帰国孤児の子女の教育問題について
 - ・在籍状況
 - ・札幌市の取組
 - ・転入時の学級運営
 - ・文部省の指定協力校である札幌市立前田中学における研究成果
 - ・中国帰国孤児子女教育指導協力者派遣事業に対する取組み
 - ・道の取組み

- 3 アイヌ文化の保存伝承について

- ・平成2年度の事業実績
- ・保存会の重要無形文化財指定
- ・北海道アイヌ古式舞踊連合保存会への補助
- ・伝承事業の支援方策

等について、質疑、意見及び要望があり、教育長、企画管理部長、生涯学習部長、教職員課長、企画室長、企画室参事及び学校教育課長から答弁があって教育委員会所管に対する質疑を終結。

○5月15日（金） 開議 午前10時13分
散会 午前11時53分
第1委員会室
委員長 大島 一郎（社会）

- ① 出納局所管に対する質疑に入り、

大橋 晃委員（共産）から、

自動車の購入契約等について

- ・片用自動車の購入及び下取りの事務手続き
- ・自動車の購入状況
- ・下取り後の事情聴取の有無
- ・下取り車の見積り価格と譲渡先
- ・下取り後の譲渡の見解
- ・職員に譲渡されていることへの所見
- ・下取り車の今後の取り扱い方

等について、質疑、意見及び要望があり、出納局長及び物品管理課長から答弁があって、出納局、監査委員、人事委員会及び公安委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 総務部所管に対する質疑に入り、

高橋 文明委員（自民）から、
札幌医科大学附属病院特別会計について

- ・病院特別会計の認識
- ・繰入金が減らない理由
- ・経営改善が実を結んでいない理由
- ・繰入金の増加要因
- ・医療材料費の割合が50%を越える理由
- ・同規模の他府県の公立病院との対比
- ・繰入金の圧縮に対する今後の対応
- ・収入未済の内容
- ・診療費の未払分の措置の取り組み方
- ・未払いが多い理由
- ・不納欠損処理をする考え
- ・不要額が多額になっている理由
- ・病床利用率を高める取り組み方と成果の上
がらない理由
- ・他府県との比較と医大が低位にある理由
- ・民間委託への検討結果
- ・給食などが委託できない理由

等について

大橋 晃委員（共産）から、

- 1 道職員の健康管理と休暇について
 - ・年休消化状況
 - ・年休の有効活用促進の考え方
 - ・時間外勤務の実態
 - ・サービス残業の実態の認識
 - ・残業手当の予算枠の基準
 - ・事務職等の三六協定締結権の認識
 - ・三六協定化を協議する用意の有無
 - ・健診による要精検要治療者の割合
 - ・過労死の発生状況と防止策の考え方
- 2 消防体制について
 - ・本道における消防力の整備状況
 - ・充足率を高めるための施策
 - ・消防職員の勤務実態
 - ・三部制の見解と検討
 - ・労働時間短縮の見解

等について、質疑、意見及び要望があり、総務部長、
札幌医大事務局長、人事課長、職員厚生課長及び防災
消防課長から答弁があって、総務部所管に対する質疑
を終結。

第1委員会室

委員長 大島 一郎（社会）

- ① 各派代表者会議において、付託案件に対す
る意見の一致を見るに至らなかった旨報告。
- ② 報告第1号を議題とし、討論に入り、大橋
晃委員（共産）から、反対討論があって、討
論終結。
採決に入り、意見を付し認定議決とすること
を諮り、起立採決の結果、起立多数をもつ
て、意見を付し認定議決とすることを決定。
- ③ 付託案件に対する委員長報告については、
委員長に一任することとした。
- ④ 委員長から、付託案件に対する審議終了の
あいさつがあった。

○5月19日（火） 開議 午前10時44分
閉会 午前10時48分



全国都道府県議会議長会

○7月28日（火） 都道府県会館において、第99回定例総会を開催。下記の事項について審議、いずれも原案のとおり決定。

（決議）

地方行財政の充実強化に関する決議

多極分散型国土の形成促進に関する決議

高齢者保健福祉対策の推進に関する決議

農業基本政策の強化に関する決議

（要望意見）

地方制度委員会関係

- 1 地方分権等の推進について
- 2 地方財政の充実強化について
- 3 青少年の健全育成対策について
- 4 警察基盤の充実強化について
- 5 基地対策について
- 6 北方領土問題等の解決促進について
- 7 竹島の領土権の確立と漁業の安全操業の確保について

8 尖閣諸島の領土権の明確化について

9 日朝国交正常化の実現について

社会文教委員会関係

- 1 高齢者保健福祉対策の充実について
- 2 子育て環境の整備について
- 3 自治体病院等の経営健全化対策について
- 4 国民健康保険制度の安定化促進について
- 5 輸入食品の安全性確保について
- 6 廃棄物処理対策の推進について
- 7 環境保全対策の推進について
- 8 学校週5日制の実施について
- 9 義務教育等における教育条件の確保について
- 10 私立高等学校に対する生徒急減対策について

商工労働委員会関係

- 1 中小企業振興対策について
- 2 電源地域振興のための総合的施策の確立について
- 3 原子力施設に係る安全対策等の充実強化に

ついて

- 4 産炭地域振興対策の充実強化について
- 5 産業機能の地方への分散の促進について
- 6 雇用対策の推進について
- 7 労働時間の短縮等について

建設運輸委員会関係

- 1 道路整備の促進について
- 2 住宅対策の推進について
- 3 下水道整備の促進について
- 4 景観対策等の推進について
- 5 治水関係事業の促進について
- 6 多極分散型国土の形成促進について
- 7 特定地域振興対策の推進について
- 8 震災及び火山災害対策について
- 9 新幹線鉄道等の整備促進について
- 10 第三セクター鉄道会社等に対する助成措置等について

11 空港の整備促進等について

12 港湾整備事業の推進について

農林水産委員会関係

- 1 農業基本政策の強化について
- 2 水田農業確立対策について
- 3 農産物市場開放対策について
- 4 バイテク農業の開発促進について
- 5 畜産振興対策について
- 6 森林・林業の活性化について
- 7 漁業振興対策について
- 8 漁業外交等の充実強化について

10都道府県議会議長会（第167回）

○4月27日（月） 名古屋市において開催し、下記の事項について協議、決定した。

- 1 前回議決事項の処理結果報告（東京都）
- 2 議案審議
- 3 次回開催地を京都府に決定。
- 4 その他

（全議事務総長から、第123回国会（常会）において成立した法律等中央情勢について報告）

（議案）

- 1 パートタイム労働者の労働条件改善について（北海道提出）
- 2 住宅基本法制定等について（東京都提出）

- 3 中小企業の人材・後継者確保策の抜本強化について (神奈川県提出)
- 4 中小小売商業振興対策の拡充強化について (静岡県提出)
- 5 蕨糸価格安定法に基づく生糸一元輸入制度の抜本的改善・見直しについて (京都府提出)
- 6 学校週5日制の実施について (大阪府提出)
- 7 学習障害(LD)児対策の充実強化について (兵庫県提出)
- 8 地球環境問題に対する積極的な取り組みについて (広島県提出)
- 9 地球環境の保全について (福岡県提出)
- 10 保健医療・福祉マンパワーの確保について (愛知県提出)

資 料

第16回参議院議員通常選挙結果

(平成4年7月26日執行)

全国党派別当選者数等調

党 派	当 選 者								
	合 計	比 例 代 表				選 挙 区			
		前	元	新	計	前	元	新	計
自 民 党	67	13	—	6	19	32	2	14	48
社 会 党	22	6	1	3	10	9	—	3	12
公 明 党	14	4	—	4	8	1	—	5	6
共 産 党	6	2	—	2	4	1	—	1	2
民 進 党	4	1	—	2	3	—	—	1	1
二 院 制 新 党	1	—	1	—	1	—	—	—	—
ス ポ ーツ 派 新 党	1	—	—	1	1	—	—	—	—
日 本 新 派 属	4	—	1	3	4	—	—	—	—
諸 所 属	2	—	—	—	—	—	—	2	2
無 所 属	5	—	—	—	—	1	1	3	5
合 計	126	26	3	21	50	44	3	29	76

注 埼玉県選挙区補欠選挙の結果は除く。

全国党派別立候補者数・得票数調

党 派	立 候 補 者									得 票 状 況			
	合計	比 例 代 表				選 挙 区				比 例 代 表		選 挙 区	
		前	元	新	計	前	元	新	計	得 票 数	得 票 率 (%)	得 票 数	得 票 率 (%)
自 民 党	82	18	1	8	27	35	2	18	55	14,961,199	33.29	19,711,047	43.43
社 会 党	43	6	1	18	25	9	—	9	18	7,981,726	17.76	5,846,238	12.88
公 明 党	23	4	—	13	17	1	—	5	6	6,415,503	14.27	3,550,060	7.82
共 産 党	71	2	—	23	25	1	—	45	46	3,532,956	7.86	4,817,001	10.61
民 進 党	20	1	1	15	17	—	—	3	3	2,255,423	5.02	1,039,979	2.29
二 院 制 新 党	10	1	1	8	10	—	—	—	—	1,321,639	2.94	—	—
ス ポ ーツ 派 新 党	10	—	—	10	10	—	—	—	—	1,375,791	3.06	—	—
日 本 新 派 属	16	—	1	15	16	—	—	—	—	3,617,235	8.05	—	—
諸 所 属	326	—	1	181	182	1	1	142	144	3,487,225	7.75	5,973,083	13.17
無 所 属	39	—	—	—	—	1	2	36	39	—	—	4,445,795	9.80
合 計	640	32	6	291	329	48	5	258	311	44,948,698	100.00	45,383,205	100.00

注 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、合計欄とは一致しない。

都道府県別党派別当選者数調（選挙区）

都道府県名			定数	自民	社会	公明	共産	民社	諸派	無所属
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県	海森手城田形島	道県県県県県県	4	1	1	1	—	—	—	1
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			2	2	—	—	—	—	—	—
茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県	城木馬玉葉京奈川	県県県県県都県	2	1	1	—	—	—	—	—
			2	2	—	—	—	—	—	—
			2	2	—	—	—	—	—	—
			2	1	1	—	—	—	—	—
			2	1	1	—	—	—	—	—
			4	1	—	1	—	—	—	—
新潟県 富山県 石川県 福井県	潟山川井	県県県県	2	1	1	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
山梨県 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県	梨野阜岡知重	県県県県県県	1	1	—	—	—	—	—	—
			2	1	1	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			2	1	1	—	—	—	—	—
			3	1	—	1	—	1	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県	賀都阪庫良山	県府府県県県	1	1	—	—	—	—	—	—
			2	1	—	—	1	—	—	—
			3	1	—	1	—	—	—	1
			3	1	1	1	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
鳥取県 岡山県 広島県 山口県	取根山島口	県県県県県	1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			2	1	1	—	—	—	—	—
			2	1	—	—	—	—	1	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
徳島県 香川県 愛媛県 高知県	島川媛知	県県県県	1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	—	—	—	—	—	—	1
福井県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県	岡賀崎本分崎児島	県県県県県県県県	3	1	1	1	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			2	1	—	—	—	—	—	1
			1	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	—	—	—	—	—	—
			2	1	1	—	—	—	—	—
			1	—	—	—	—	—	1	—
計			76	48	12	6	2	1	2	5

選挙区選出議員候補者別得票数

1. 支庁・市区別

支 庁 市 区 名	いかり康代 (日本共産党)	みねざき直樹 (日本社会党)	前谷 宏 (無所属)	岩本 政光 (自由民主党)	風間ひさし (公明党)	たかぎ正明 (自由民主党)	なかお則幸 (無所属)	森のおゆき (中小党)
石 渡 増 後 空 上 留 宗 網 胆 日 十 釧 根 支 庁 計	8,577 7,518 4,155 7,722 7,441 5,853 1,585 2,424 6,823 4,714 5,403 9,910 4,895 2,371 79,391	6,348 5,124 1,986 15,123 12,980 3,583 1,273 1,495 29,475 8,576 12,855 5,147 9,733 5,705 119,403	344 441 137 233 475 331 103 121 455 259 245 563 162 171 4,040	8,203 11,349 4,449 9,009 10,653 8,744 4,363 4,074 16,586 5,676 9,268 12,282 5,990 3,630 114,276	10,571 16,117 5,607 11,298 9,763 8,930 3,562 3,760 11,377 7,973 7,914 12,475 7,709 4,075 121,131	8,390 15,457 6,194 13,623 14,354 14,038 5,771 5,709 18,354 6,539 8,375 20,848 8,830 5,875 152,357	12,522 19,118 7,812 3,275 4,705 19,819 6,808 5,934 3,029 4,547 2,239 34,070 2,078 1,316 127,272	263 356 103 203 271 294 111 98 313 193 195 388 159 139 3,086
札 幌 市 計	114,129 9,642 16,799 18,576 13,899 16,281 8,261 13,596 8,646 8,429 15,618 14,548 19,385 7,653 11,306 7,730 4,716 2,179 4,902 2,027 1,206 9,914 2,499 1,978 1,829 6,512 1,339 1,460 1,430 1,231 1,141 1,845 2,622 2,837 1,500 892 1,918 1,112 3,386 2,642 1,963 255,449	110,362 9,082 13,436 11,529 14,135 20,970 13,041 10,760 6,299 11,110 9,201 15,592 9,956 15,282 23,140 4,619 14,071 3,653 9,965 5,310 963 17,140 1,837 4,233 4,026 5,321 3,581 3,879 722 676 3,265 3,184 2,491 5,510 3,659 1,776 3,850 650 7,863 1,848 3,966 301,591	5,507 518 950 683 719 818 551 623 295 350 464 410 903 252 274 381 247 24 145 153 48 381 164 62 31 238 28 78 29 69 28 67 336 117 46 14 70 52 186 191 131 11,126	110,793 13,807 13,455 11,387 10,779 22,165 16,411 10,529 6,706 5,554 12,789 10,138 19,514 8,182 10,500 11,738 7,026 973 4,363 2,743 2,272 8,034 4,765 3,262 1,848 5,749 1,282 2,188 1,638 3,293 617 2,204 8,589 3,457 1,632 495 1,994 1,809 3,285 6,608 3,033 266,813	154,816 14,352 21,564 21,819 18,422 25,643 13,091 18,693 10,380 5,748 27,584 16,861 31,367 11,043 22,267 13,036 6,875 2,757 6,322 3,203 2,654 15,217 4,621 3,058 2,505 10,538 2,182 2,089 1,870 3,222 1,898 2,360 7,180 4,263 2,475 1,011 1,824 1,673 5,601 4,819 3,330 379,586	85,347 9,811 11,979 13,621 7,487 12,383 7,961 11,085 5,272 5,748 14,483 9,237 22,297 6,227 9,887 10,273 6,540 815 5,352 3,208 2,556 6,956 2,210 1,571 1,763 5,920 1,067 2,239 2,345 3,222 1,739 2,681 8,329 3,381 1,439 386 2,344 2,290 2,510 6,154 2,192 236,960	122,271 11,982 20,469 19,371 9,424 16,108 8,516 17,312 11,926 7,163 30,967 5,930 39,395 3,675 4,795 19,017 2,355 728 3,169 1,187 4,548 6,835 5,075 1,386 588 11,503 387 626 3,856 4,551 560 772 6,357 1,766 827 253 1,069 4,461 2,166 5,113 1,358 297,546	4,635 440 610 645 585 741 454 589 277 294 591 532 680 364 401 364 217 40 164 85 48 328 81 59 53 294 44 65 47 51 33 78 272 81 35 12 58 58 141 156 148 10,215
合 計	334,840	420,994	15,166	381,089	500,717	389,317	424,818	13,301

候補者は届出順、氏名は選管届出による。

2. 町村別

町 村 名	いかり康代 (日本共産党)	みねざき直樹 (日本社会党)	前谷 宏 (無所属)	岩本 政光 (自由民主党)	風間ひさし (公明党)	たかぎ正明 (自由民主党)	なかお則幸 (無所属)	森のぶゆき (中小党)
石 狩 支 庁								
広 島 町	3,327	3,127	178	2,839	4,182	2,673	5,372	124
石 狩 町	3,092	2,469	108	2,438	4,153	3,105	4,397	86
当 別 町	1,436	505	27	1,738	1,241	1,458	1,594	36
新 篠 津 村	263	80	14	581	229	671	323	8
厚 田 村	136	73	13	308	555	245	377	7
浜 益 村	323	94	4	299	211	238	459	2
計	8,577	6,348	344	8,203	10,571	8,390	12,522	263
渡 島 支 庁								
松 前 町	378	315	32	698	1,405	1,776	1,201	21
福 島 町	377	189	25	438	891	938	452	18
知 内 町	174	166	14	597	628	658	511	7
木 古 内 町	281	143	9	484	616	713	1,136	14
上 磯 町	1,431	1,200	106	1,435	2,673	2,036	3,366	83
大 野 町	473	324	48	590	678	825	1,029	18
七 飯 町	1,305	882	77	1,050	2,223	1,528	3,345	51
戸 井 町	227	109	4	445	372	627	404	13
恵 山 町	190	108	8	580	470	581	512	15
榎 法 華 村	53	26	4	183	199	222	215	1
南 茅 部 町	259	150	11	839	791	914	709	13
鹿 部 町	121	112	12	518	450	576	374	12
砂 原 町	204	132	10	471	552	459	295	3
森 雲 町	656	378	33	1,247	1,563	1,064	1,645	38
八 雲 町	892	586	34	1,190	1,692	1,740	2,340	40
長 万 部 町	497	304	14	584	914	800	1,584	9
計	7,518	5,124	441	11,349	16,117	15,457	19,118	356
桧 山 支 庁								
江 差 町	1,012	522	23	615	993	724	1,546	19
上ノ国町	414	247	22	518	552	701	877	13
厚 沢 部 町	321	133	13	521	561	675	1,033	2
乙 部 町	646	162	11	399	581	579	500	9
熊 石 町	194	152	13	356	537	399	756	8
大 成 町	371	157	1	279	378	459	271	6
奥 尻 町	215	135	28	485	601	622	340	27
瀬 棚 町	134	64	2	335	241	570	373	5
北 桧 山 町	511	137	18	533	569	731	987	8
今 金 町	337	277	6	408	594	734	1,129	6
計	4,155	1,986	137	4,449	5,607	6,194	7,812	103
後 志 支 庁								
島 牧 村	182	267	2	378	257	241	46	4
寿 都 町	460	665	7	434	433	490	94	9
黒 松 内 町	489	645	10	282	225	466	114	14

町 村 名	いかり康代 (日本共産党)	みねざき直樹 (日本社会党)	前谷 宏 (無所属)	岩本 政光 (自由民主党)	風間ひさし (公明党)	たかぎ正明 (自由民主党)	なかお則幸 (無所属)	森のふゆき (中小党)
蘭 越 町	307	1,086	11	654	693	727	182	15
ニセコ町	285	545	9	344	373	759	120	7
真狩村	124	433	9	323	216	448	87	8
留寿都村	128	228	2	176	167	282	49	1
喜茂別町	116	638	20	329	421	378	80	3
京 極 町	83	517	9	336	344	792	86	11
倶知安町	800	2,319	31	1,370	1,508	2,213	474	34
共 和 町	202	1,174	17	455	834	889	203	9
岩 内 町	933	1,992	23	587	1,848	2,335	399	23
泊 村	178	293	3	115	328	347	91	3
神 恵 内 村	98	250	5	152	199	173	32	1
積 丹 町	180	389	4	385	400	390	119	7
古 平 町	338	392	12	344	434	440	130	10
仁 木 町	480	496	13	390	389	409	183	5
余 市 町	2,197	2,612	44	1,825	2,096	1,651	743	34
赤 井 川 村	142	182	2	130	133	193	43	5
計	7,722	15,123	233	9,009	11,298	13,623	3,275	203
空知支庁								
北 村	298	310	11	324	509	819	202	6
栗 沢 町	437	1,281	67	613	587	1,185	545	28
南 幌 町	376	530	31	575	743	852	384	6
奈 井 江 町	557	1,136	24	596	824	935	290	21
上 砂 川 町	681	1,687	18	327	731	289	137	12
由 仁 町	559	872	26	798	756	942	383	24
長 沼 町	1,021	894	72	1,072	937	1,763	588	36
栗 山 町	1,104	1,877	42	1,493	1,520	1,536	553	40
月 形 町	220	541	24	585	471	643	205	14
浦 白 町	182	263	15	257	224	470	116	10
新十津川町	577	1,044	71	925	767	1,094	399	21
妹背牛町	283	414	9	750	384	775	193	9
秩 父 別 町	248	327	15	526	234	616	129	8
雨 竜 町	245	563	12	410	281	553	126	2
北 竜 町	136	333	12	420	170	689	155	6
沼 田 町	403	468	22	596	429	801	217	23
幌 加 内 町	114	440	4	386	196	392	83	5
計	7,441	12,980	475	10,653	9,763	14,354	4,705	271
上川支庁								
鷹 栖 町	411	226	13	423	465	783	1,143	14
東 神 楽 町	240	218	30	231	475	360	1,258	11
当 麻 町	334	280	11	462	916	938	926	15
比 布 町	421	192	29	390	332	671	615	8
愛 別 町	177	123	11	501	334	769	703	14
上 川 町	321	141	10	298	409	552	1,457	16

町 村 名	いかり康代 (日本共産党)	みねざき直樹 (日本社会党)	前谷 宏 (無所属)	岩本 政光 (自由民主党)	風間ひさし (公明党)	たかぎ正明 (自由民主党)	なかお則幸 (無所属)	森のぶゆき (中小党)
東 川 町	500	242	13	498	654	753	890	11
美 瑛 町	811	390	35	785	864	1,292	2,165	45
上 富 良 野 町	631	263	58	1,451	761	1,966	1,199	32
中 富 良 野 町	237	215	20	353	345	1,009	1,052	14
南 富 良 野 町	121	104	11	180	354	260	902	7
占 冠 村	50	48	6	111	130	162	454	8
和 寒 町	294	211	14	616	545	785	778	19
剣 淵 町	441	169	18	362	432	327	745	21
朝 日 町	85	67	5	165	108	613	571	3
風 連 町	205	155	9	533	599	709	1,213	8
下 川 町	132	166	9	508	445	593	1,169	15
美 深 町	313	281	26	605	499	863	1,421	15
音 威 子 府 村	71	31	0	110	41	172	441	2
中 川 町	58	61	3	162	222	461	717	16
計	5,853	3,583	331	8,744	8,930	14,038	19,819	294
留 萌 支 庁								
増 毛 町	304	246	12	752	693	735	1,090	21
小 平 町	139	186	19	534	455	761	830	17
苫 前 町	165	128	12	465	403	703	889	10
羽 幌 町	366	252	23	834	843	1,378	1,816	39
初 山 別 村	50	75	2	258	171	333	391	8
遠 別 町	166	132	5	524	449	500	650	3
天 塩 町	200	154	17	574	343	756	790	4
幌 延 町	195	100	13	422	205	605	352	9
計	1,585	1,273	103	4,363	3,562	5,771	6,808	111
宗 谷 支 庁								
猿 払 村	199	97	14	335	231	434	519	4
浜 頓 別 町	321	160	5	417	300	557	1,213	13
中 頓 別 町	204	121	9	379	180	285	598	8
枝 幸 町	432	263	26	520	843	1,160	1,102	29
歌 登 町	134	99	12	328	193	509	541	1
豊 富 町	409	216	9	500	489	605	941	9
礼 文 町	287	245	15	428	500	805	347	8
利 尻 町	220	145	12	508	497	567	389	13
利 尻 富 士 町	218	149	19	659	527	787	284	13
計	2,424	1,495	121	4,074	3,760	5,709	5,934	98
網 走 支 庁								
東 藻 琴 村	252	396	7	251	169	550	60	4
女 満 別 町	185	682	7	591	578	1,166	145	8
美 幌 町	938	3,343	103	2,331	1,801	2,797	433	48
津 別 町	348	1,876	8	563	447	780	76	12
斜 里 町	569	2,682	34	894	1,092	1,575	228	28

町 村 名	いかり康代 (日本共産党)	みねざき直樹 (日本社会党)	前谷 宏 (無所属)	岩本 政光 (自由民主党)	風間ひさし (公明党)	たかぎ正明 (自由民主党)	なかお則幸 (無所属)	森のぶゆき (中小党)
清 里 町	122	1,502	22	480	352	632	82	6
小 清 水 町	414	1,092	25	449	461	689	117	9
端 野 町	176	796	12	426	398	710	78	12
訓 子 府 町	437	1,025	24	445	366	786	141	18
置 戸 町	182	1,156	20	572	211	519	81	3
留 辺 薬 町	433	2,382	18	1,441	656	585	177	22
佐 呂 間 町	324	1,437	23	812	401	847	193	18
常 呂 町	210	694	16	425	461	735	125	14
生 田 原 町	158	751	15	331	183	369	56	16
遠 軽 町	606	3,361	48	2,494	1,065	1,755	351	29
丸 瀬 布 町	92	781	1	395	142	309	25	3
白 滝 村	27	439	1	274	102	176	9	0
上 湧 別 町	313	1,287	15	1,005	555	506	173	21
湧 別 町	136	737	16	656	493	921	121	11
滝 上 町	122	1,157	8	549	438	462	66	10
興 部 町	224	876	16	582	407	516	144	9
西 興 部 村	45	256	4	168	134	244	31	1
雄 武 町	510	767	12	452	465	725	117	11
計	6,823	29,475	455	16,586	11,377	18,354	3,029	313
胆 振 支 庁								
豊 浦 町	263	626	34	589	475	670	233	24
虻 田 町	535	1,540	39	691	1,214	675	352	25
洞 爺 村	144	158	10	203	215	357	90	8
大 滝 村	82	145	19	166	271	234	80	9
壮 瞥 町	137	505	15	285	442	391	105	9
白 老 町	1,600	2,317	68	1,583	2,956	1,662	804	48
早 来 町	241	113	10	403	378	498	1,524	10
追 分 町	340	806	10	328	327	235	331	10
厚 真 町	276	659	18	508	525	706	554	9
鷲 川 町	789	935	18	625	698	668	311	20
穂 別 町	307	772	18	295	472	443	163	21
計	4,714	8,576	259	5,676	7,973	6,539	4,547	193
日 高 支 庁								
日 高 町	197	568	8	277	209	253	75	3
平 取 町	359	1,232	23	567	532	918	186	18
門 別 町	789	1,553	38	1,304	1,216	1,110	449	34
新 冠 町	352	935	28	608	729	577	132	13
静 内 町	1,331	3,033	64	2,594	2,220	1,773	584	59
三 石 町	342	834	8	904	350	440	135	14
浦 河 町	1,280	3,006	43	1,344	1,344	1,451	395	29
様 似 町	321	935	20	724	686	1,096	146	7
え り も 町	432	759	13	946	628	757	137	18
計	5,403	12,855	245	9,268	7,914	8,375	2,239	195

町 村 名	いかり康代 (日本共産党)	みねざき直樹 (日本社会党)	前谷 宏 (無所属)	岩本 政光 (自由民主党)	風間ひさし (公明党)	たかぎ正明 (自由民主党)	なかお則幸 (無所属)	森のぶゆき (中小党)
十勝支庁								
音更町	1,830	954	80	2,103	2,316	3,377	4,995	73
士幌町	607	165	10	368	455	987	1,300	13
上士幌町	269	153	16	318	348	901	1,422	7
鹿追町	188	171	20	622	348	944	1,167	13
新得町	427	223	29	568	537	841	1,933	16
清水町	619	349	59	883	852	1,346	1,845	15
芽室町	1,008	554	92	888	1,094	2,114	2,466	44
中札内村	221	87	32	280	283	348	1,132	6
更別村	145	137	11	244	215	611	574	10
忠類村	279	57	7	124	78	221	346	4
大樹町	369	236	23	476	479	1,051	1,277	12
広尾町	639	243	28	638	669	1,177	1,183	10
幕別町	1,466	575	41	1,195	1,304	1,696	3,991	45
池田町	308	251	26	691	632	746	2,359	20
豊頃町	249	122	9	377	431	651	918	15
本別町	437	277	17	1,035	608	1,088	2,391	15
足寄町	384	226	18	578	974	1,063	2,100	23
陸別町	182	90	21	221	249	622	1,091	17
浦幌町	283	277	24	673	603	1,064	1,580	30
計	9,910	5,147	563	12,282	12,475	20,848	34,070	388
釧路支庁								
釧路町	1,185	1,571	18	1,072	1,942	1,555	409	38
厚岸町	734	1,175	25	690	1,190	1,627	317	26
浜中町	489	1,005	15	436	623	1,166	117	13
標茶町	665	1,527	21	690	720	1,194	262	16
弟子屈町	372	1,549	39	759	778	876	246	10
阿寒町	311	789	13	599	761	547	236	4
鶴居村	157	269	1	228	214	592	57	9
白糠町	761	1,584	23	1,151	1,165	699	333	23
音別町	221	264	7	365	316	574	101	20
計	4,895	9,733	162	5,990	7,709	8,830	2,078	159
根室支庁								
別海町	1,116	1,505	62	1,310	1,234	2,530	431	41
中標津町	810	2,606	56	1,462	1,563	1,976	607	67
標津町	269	986	41	411	582	841	170	21
羅臼町	176	608	12	447	696	528	108	10
計	2,371	5,705	171	3,630	4,075	5,875	1,316	139
町 村 計	79,391	119,403	4,040	114,276	121,131	152,357	127,272	3,086
合 計	334,840	420,994	15,166	381,089	500,717	389,317	424,818	13,301

4 月 の メ モ

- 7日 ○道が美々川流域自然環境調査報告を公表
開発局の千歳川放水路計画に関連する調査で、流域の自然環境を高く評価する内容となった。これを受けて道は6月までに同計画への態度を決めることを表明。
- 8日 ○遭難パイパー機発見 札幌・丘珠空港から女満別空港に向かったまま行方不明になっていた3人乗り小型飛行機パイパーPA28型チェロキの機体が、不明から3年ぶりに富良野市山中で発見。その後頭骨を含む遺留品も回収された。
- 13日 ○道内出生率、過去最低 道が発表した91年の道内人口動勢推計(速報)によると、出生数は5万3935人で9年連続の減少。出生率(人口1,000人当たり)は9.6と過去最低となった。
- 22日 ○ビザなし渡航スタート 北方領土から道招待のビザ(査証)なし訪問団(団長・ミハエル・テレシコ南クリール議会議長)の一行19人が根室に到着。27日まで札幌市や根室管内に滞在、横路知事を表敬訪問したり、さまざまな交流を繰り広げている。
- 27日 ○G7、日本に内需拡大を要請 ワシントンで開かれていた先進七ヶ国蔵相・中央銀行総裁会議は共同声明を発表。世界経済の成長重視を再確認し、「大幅な黒字国は内需拡大を配慮すべき」と、日本の名指しを避けながらも景気刺激策を求めた。
- 29日 ○ロスで暴動 黒人青年殴打事件の無罪判決が引き金となりロサンゼルスで暴動が発生、経済苦況と人種摩擦を背景に全米に拡大した。2日現在で死者は40人と米暴動史上最悪になり、ブッシュ大統領は連邦軍を派遣して鎮静化に乗り出した。

5 月 の メ モ

- 4日 ○ロシア・サハリン州人民代議員会議(州議会)の代表団が来道 自民党道連の招きで4日夜、来道。同州議会のアクション・ノフ議長ら議員6人と議長補佐官1人で、8日まで滞在し道庁、道議会などを訪問したほか、自民党所属の国會議員、道議、道内経済界代表らと懇談した。
- 7日 ○細川氏が新党結成を発表 細川護熙前熊本県知事(元自民党参議院議員)が新党を結成すると発表。
- 11日 ○日本からのビザなし渡航第1陣が出発 4月の北方領土からのビザなし訪問団に続き、日本からの初のビザなし渡航となる「北方四島北海道訪問団」の一行45人が根室・花咲港から出発した。一行は国後島、色丹島、択捉島を訪問、現地住民と交流した。
- 20日 ○室蘭特殊鋼の新工場起工式 新日鉄と三菱製鋼が出資する新会社、室蘭特殊鋼(本社・東京、築比地時夫社長)の新工場起工式が新日鉄室蘭製鉄所構内で行われた。総工費は550億円。94年4月から本格操業を始め、自動車向けなどの特殊鋼材を年間約50万トン生産する。
- 22日 ○千歳川放水路の知事ヒアリング終る 1521、22の3日間、横路知事は千歳川流域市町の首長や関係団体の代表計14人から千歳川放水路計画に対する意見を聴いた。知事は最終意見を6月中旬にまとめる予定。

6 月 の メ モ

- 3日 ○道新幹線の誘致方針をスーパー特急方式に転換 道新幹線建設促進期成会（会長・横路知事）の幹事会が決めた。8日の総会に提案される。スーパー特急方式は、時速160—200km/hの高速の特急車両を運行でき、在来線との接続も可能。
- 地球サミットが開幕 各国首脳らが一堂に会して地球環境再生の方策を採る国連環境開発会議が、ブラジル・リオデジャネイロで12日間の日程で開幕した。150カ国の政府代表、非政府組織（NGO）など約3万人が参加する国連史上最大規模の会議となった。
- 10日 ○農水省が新農政プランを発表 21世紀に向けた「新しい食料・農業・農村政策」（新農政プラン）は今後10年間で、大規模農家15万戸と組織経営体2万集団を育成し、コメ生産量の8割を担わせる一など、経営規模拡大や経営効率化の目標を打ち出した。
- 13日 ○横路知事らがサハリン州との討論集會に出席 道とロシア・サハリン州共催の討論集會「対話'92」が、ユジノサハリンスクで開かれた。横路知事ら本道一行は11日、チャーター機で現地入り。集會では領土問題を含む両地域の諸問題を話し合い、13日帰国した。
- 15日 ○PKO法が成立 自衛隊の本格的な海外派遣に道を開く国連平和維持活動（PKO）協力法が、衆院本会議で自民党、公明、民社3党の賛成で可決、成立した。
- 16日 ◎第2回定例道議会開会
- 25日 ○苫東にトヨタ関連3社進出 今年秋に操業を開始するトヨタ自動車北海道の協力企業として、愛知県の設備製造メーカー3社の苫東進出が決まった。名古屋特殊鋼、鬼頭工業、三栄組で取得用地は計2.7㌥。

7 月 の メ モ

- 1日 ○新千歳空港の旅客ビル開業 国内では成田空港に次ぐ規模を誇る新千歳空港の新しい旅客ターミナルビルが開業した。ターミナルに乗り入れるJR北海道の新千歳空港駅も同時に開業し、本道の空の玄関としての機能が一段と充実した。
- 3日 ◎第2回定例道議会開会
- 9日 ○竜巻、道都を襲う 昼前、札幌白石区北郷地区一帯で20—30分間にわたり、茶色の砂ぼこりを巻き上げ迷走。負傷者4人、電話回線の一時不通、住宅22戸の屋根が吹き飛ぶなどの猛威をふるった。道内の内陸で起きるのは珍しいという。
- 15日 ○派遣にゴーサイン 国連平和維持活動（PKO）協力法成立を受けてカンボジアに派遣されていた政府調査団は、パリ和平協定の枠組みは維持されており、自衛隊を流遣できる条件も満たしているとの報告書を宮沢首相に提出した。
- 26日 参院選で自民勝利 第16回参院選は3年前の前回参院選で惨敗した自民党が改選過半数の64議席を上回る69議席（追加公認を含む）を獲得する一方、連合が選挙区選挙で全敗したほか、社会党も改選時議席の22にとどまった。
- 27日 ○道が完全週休2制実施へ 8月15日の土曜日から実施することを決めた。対象は知事部局の約2万1千人をはじめ、道議会事務局、道教委、各種委員会事務局、道警の職員を合わせて約3万3千人。都道府県では33番目。
- 31日 ○新千歳空港の24時間運用問題で苫小牧市地域協議会 道、苫小牧市、航路直下の住民による協議会が発足から2年4カ月ぶりに同市内で開かれ、横路知事は騒音対策の対象区域を拡大する意向を表明した。

北海道議会時報 第44巻第2号
平成4年9月28日発行

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第44巻第2号(平成4年第2回定例会)